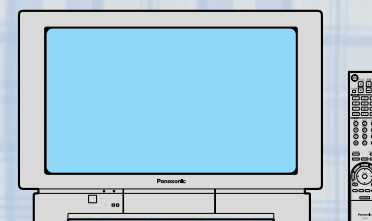
索　引

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部
〒567−0026　大阪府茨木市松下町1番1号

S0202-1023B

Panasonic　BSデジタルハイビジョンテレビ　取扱説明書　（衛星デジタルの応用／機器操作）

BSデジタルハイビジョンテレビ

取扱説明書

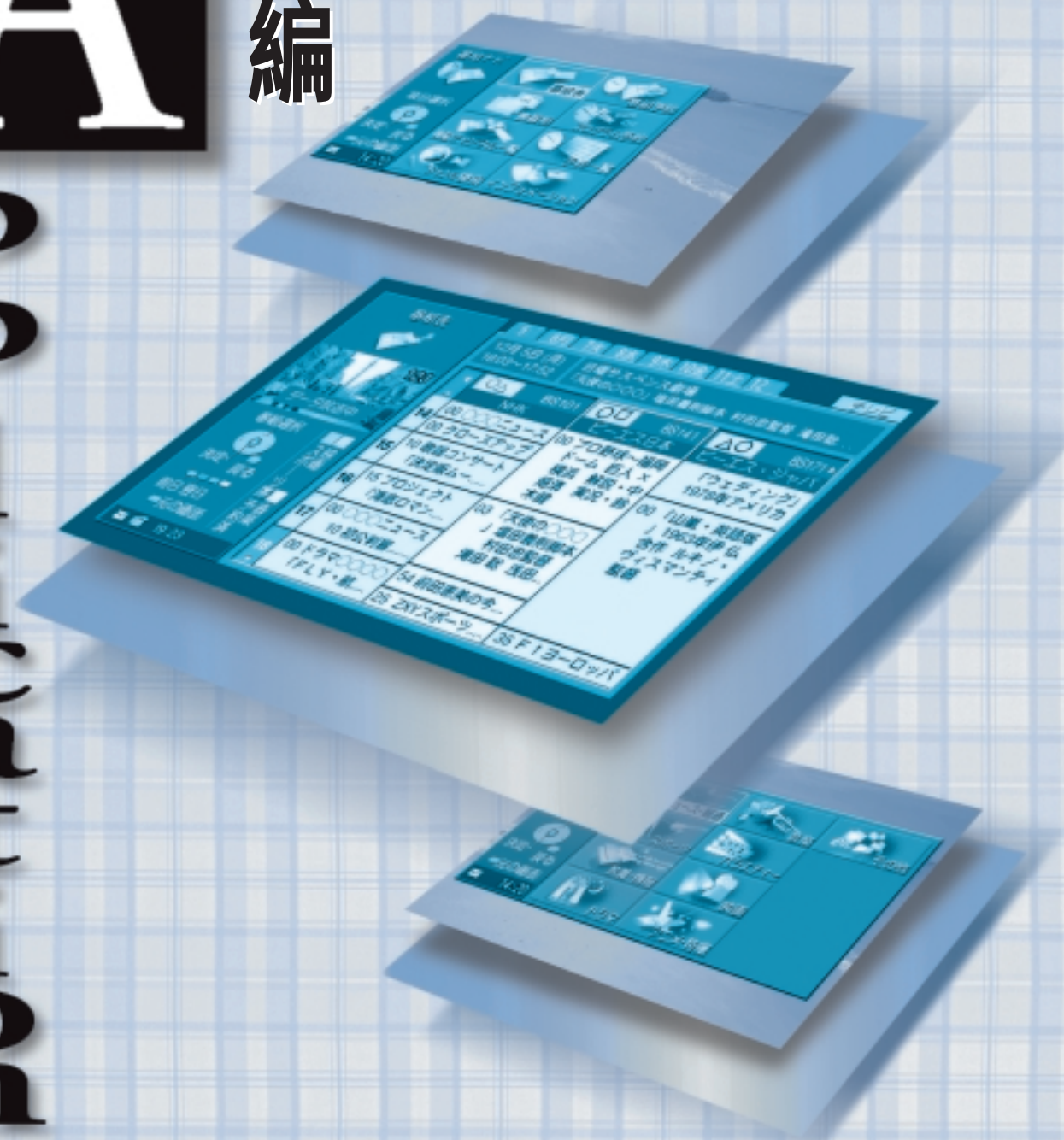
品番 TH-36D20（36型）
TH-32D20（32型）
TH-28D20（28型）

110度CSデジタル対応

A編

衛星デジタルの

応用／機器操作

番組表など衛星デジタルの応用操作や接続した機器の操作はこの冊子

Application

まずお読みください
表示機能について
選局機能について
検索機能について
有料番組について
予約する
視聴条件の設定
放送コンテンツについて
インフォメーションの確認
i・LINKやSDカードについて

● この取扱説明書は、36型（TH-36D20）と32型（TH-32D20）と28型（TH-28D20）共用です。

TQBA0283

もくじ

●この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「テレビの使い方」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用のまえに、「テレビの使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
●説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。

衛星デジタルの応用／機器操作（A編）

Applicationの「A」です
読む順番を意味するものではありません。

■番組表を見たい
■番組を予約したい
■番組を検索したい
■有料番組が見たい
■視聴条件の設定について
■i.LINKについて
■SDメモリーカードについて

テレビの使い方（B編）

Basicの「B」です
読む順番を意味するものではありません。

■ふつうのテレビとして使いたい
■画質や音質を調整したい
■タイマーで電源を切りたい
■2画面の機能を使いたい
■ワイド画面の使い方が知りたい
■思い通りにならないとき
／故障かな？と思うとき

設置／接続と設定（C編）

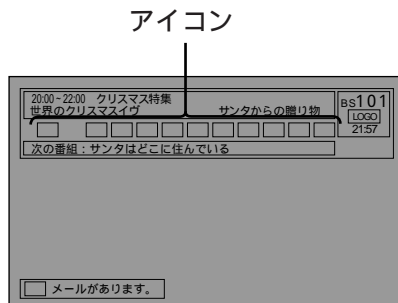
Connectionの「C」です
読む順番を意味するものではありません。

■はじめて本機を設置するとき
■外部機器を接続したい
■設置場所を変えたい
■各種の設定を変更したい

画面表示の意味について

本機はテレビの画面上に操作が必要な情報を表示します。
画面の表示を見ながらご活用ください。

アイコン表示は

（例）BSデジタル放送のとき

アイコン

画面表示 ボタンを押したときや各種一覧画面を出したときなど、画面上部にシンボルマークによる情報表示としてアイコンが表示されます。
アイコンの種類と意味はB編：52ページをご覧ください。

操作ボタンの絵表示が出ているときは

操作ボタンの絵表示

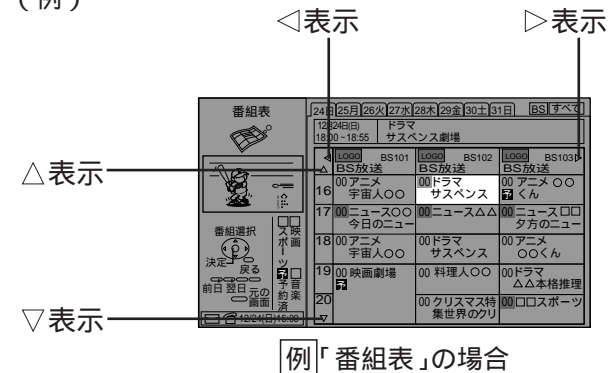
例「番組ナビ」画面の場合

表示されている画面で操作するボタンを示しています。

各種一覧画面内の▲▼◀▶表示は

（例）

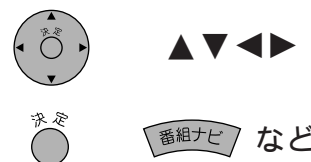
◁表示　**▷表示**　**△表示**　**▽表示**

例「番組表」の場合

一覧画面の中に上下または左右に表示される△▽◁▷表示が黄色表示のときは選べる情報がまだあることを示します。
表示と同じ向きの▲▼◀▶ボタンを押して操作できます。

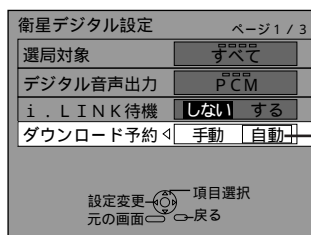
説明書に記載している各種イラストおよびマークの意味は

ボタンイラストについて

 ▲▼◀▶

 番組ナビ など

この説明書に記載しているボタンのイラストは、操作に使用するボタンを示しています。

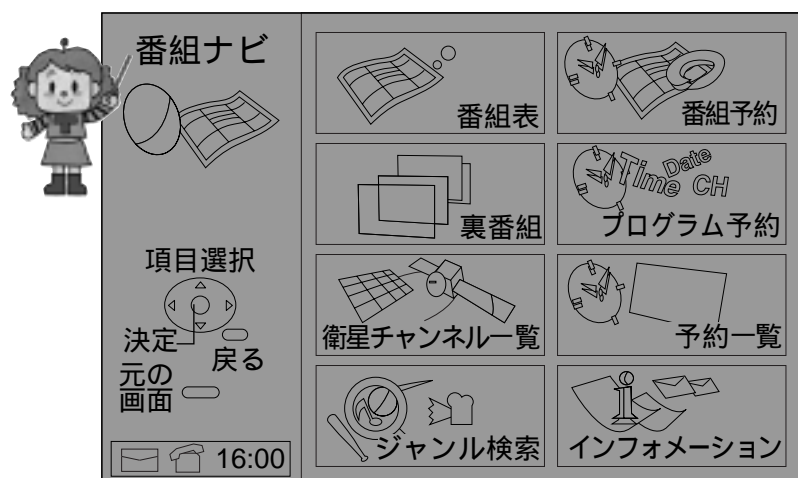
カーソルについて

カーソル

例「衛星デジタル設定」画面の場合

この説明書に記載しているカーソルとは、▲▼または◀▶ボタンを押したときに、画面上でどの項目が選ばれているかを示すものです。

番組ナビ画面について

番組ナビ画面は、衛星デジタルの各機能を操作する入り口です。
（番組表はリモコンボタンでも直接呼び出せます）

衛星デジタル放送のとき押すと表示します

「番組ナビ画面」

■番組表（☞10ページ）
衛星デジタル放送の番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。

■裏番組（☞17ページ）
現在視聴している衛星デジタル番組の画面上に、放送中の衛星チャンネルの番組タイトルが一覧表示されます。

■衛星チャンネル一覧（☞16ページ）
衛星デジタル放送のチャンネルを一覧にして表示します。

■ジャンル検索（☞18ページ）
お好きな番組をジャンル別に検索して選局や予約ができます。

■番組予約（☞22ページ）
番組の一覧を出して、選局や予約ができます。

■プログラム予約（☞32ページ）
日時を指定して予約ができます。

■予約一覧（☞36ページ）
予約した番組の確認、変更、取り消しができます。

■インフォメーション（☞7ページ）

お知らせ

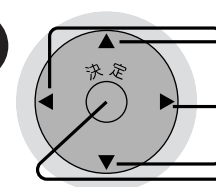
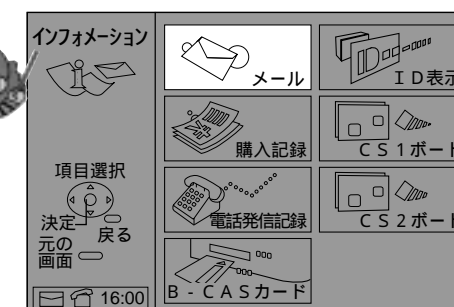
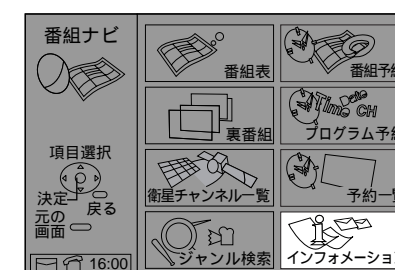
● 番組ナビの各項目はBSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2のときはCS2の各画面を表示します。（ただし、予約一覧はBS、CS1、CS2共通）

インフォメーション画面について

衛星デジタル放送では、電話回線や、B-CASカードによる有料番組の購入など、情報の管理が必要です。インフォメーション画面は、これらの情報を管理する機能の入り口です。

❶

衛星デジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にし、

❷

押して、「インフォメーション」を選び、
中央の決定ボタンを押す

「インフォメーション」画面

■メール（☞47ページ）
衛星デジタル放送受信者（お客様）へ送られてきたメッセージを見ることができます。

■購入記録（☞21ページ）
購入した有料番組の金額の履歴を確認することができます。

■電話発信記録（☞46ページ）
本機からセンターへの発信記録を確認することができます。

■B-CASカード
B-CASカードの情報が表示されます。

■ID表示
本機の情報が表示されます。
（デコーダID、ステータス）

■CS1ボード（☞48ページ）
110度CSデジタル放送のプラット・ワンから送られてきたメッセージを見ることができます。

■CS2ボード（☞48ページ）
110度CSデジタル放送のスカイパーフェクTV！2（予定：2002年1月現在）から送られてきたメッセージを見ることができます。

衛星デジタル番組の楽しみかた

例 BSデジタルの放送局を選局する場合

❶

押して、本機の電源を入れる

❷ 押して、放送を「BS」に切換える

押すごとに切換わります。

❸ 番組を選ぶ

あらかじめ設定されているチャンネルを選局する場合

プリセット選局

本機では、あらかじめ ①～ ⓪ ボタンに下記のBSデジタル放送チャンネルが設定されています。（CS1、CS2はB編23ページ参照）

例：NHK1 を選局する場合

① … NHK1（NHK BS1）
② … NHK2（NHK BS2）
③ … NHKh（NHK ハイビジョン）
④ … BS日テレ
⑤ … BS朝日
⑥ … BS-i
⑦ … BSJ（BSジャパン）
⑧ … BSフジ
⑨ … WOW（WOWOW）
⓪ … スター（スターチャンネル）

※放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

チャンネルのその他の選びかた

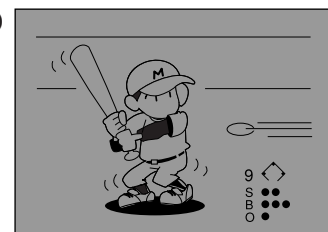
■番号入力選局（☞B編：24ページ）
（チャンネル番号を入力して選局できます。）

■アップダウン選局（☞B編：23ページ）
（チャンネルを順送りして選局できます。）

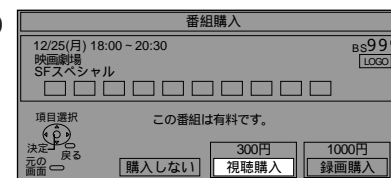
■お好み選局（☞14ページ）
（画面上に「お好み選局」画面を出して選局できます。）

❸ 番組を楽しむ（視聴する）

無料の番組や**契約済み**の番組（追加料金のかからないもの）を選んだとき

（例）

……………そのまま楽しむことができます。

ペイ・パー・ビュー※などの**有料番組**や**追加料金**が必要な番組を選んだとき

（例）

……………購入の画面が表示されます。
番組の購入については20ページをご覧ください。

予約しておきたい番組を選んだとき

（例）

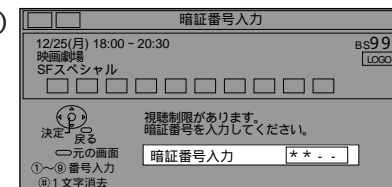
……………予約の画面が表示されます。
予約の方法については22ページをご覧ください。

予約の内容を**変更**したい番組を選んだとき（現在時刻以降の予約済み番組）

（例）

……………予約変更の画面が表示されます。
予約の変更については24ページの「予約済みの番組を選んだ場合」をご覧ください。

視聴制限対象になる番組を選んだとき

（例）

……………暗証番号の入力画面が表示されます。
暗証番号を入力しないと、この番組は視聴できません。視聴制限の解除方法は37ページ、視聴制限の設定は38～41ページをご覧ください。

お知らせ

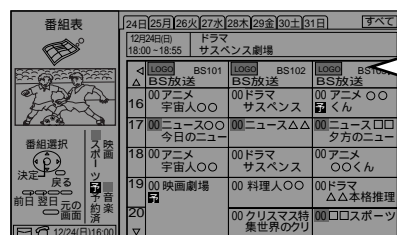
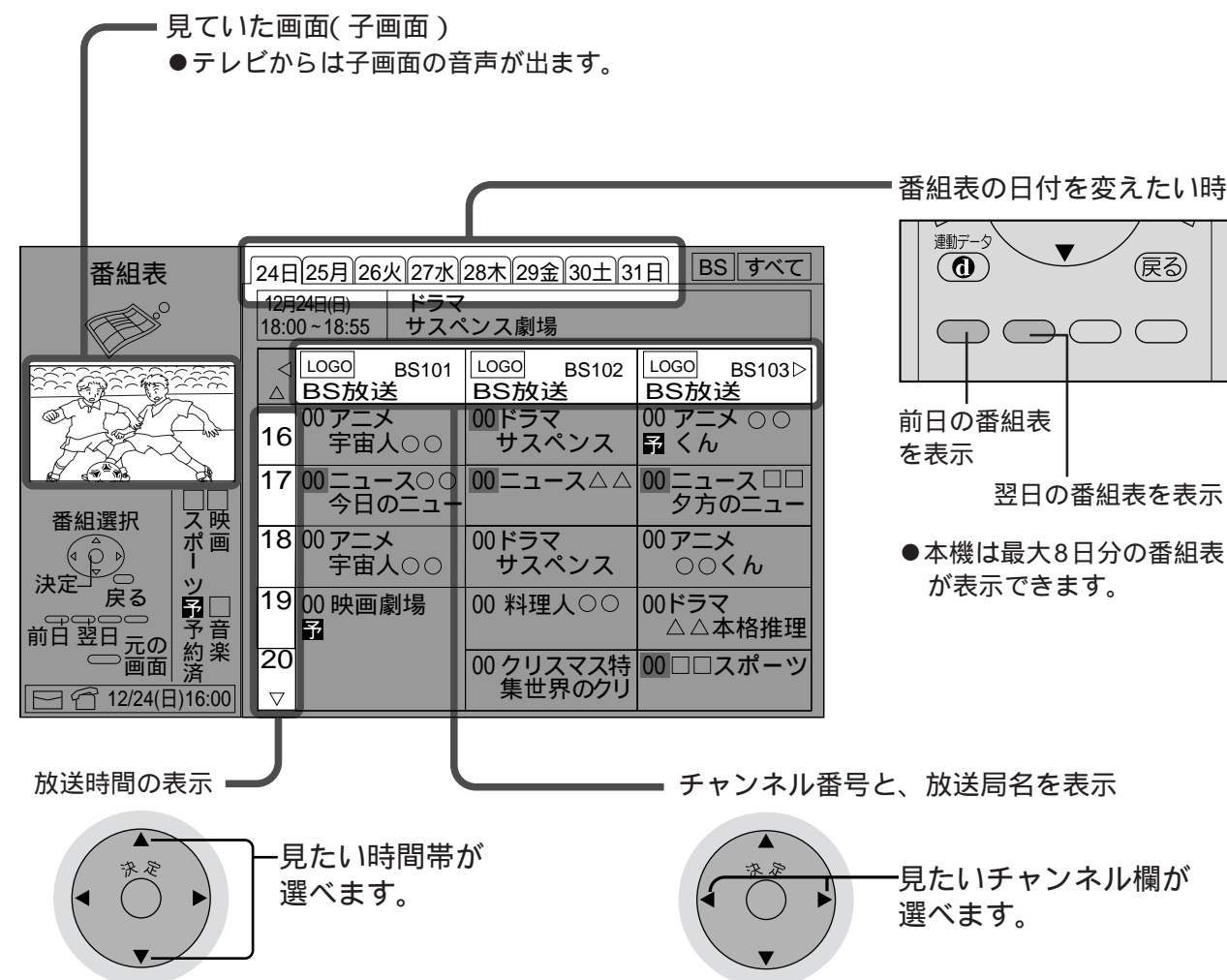
- 番組表は、衛星デジタル放送を選局しているとき（2画面時は左画面に衛星デジタル放送を選局しているとき）に表示できます。
- お好み設定（☞15ページ）や衛星チャンネル設定（☞C編：42ページ）で、プリセット設定を変更することもできます。

お知らせ

- チャンネルにより契約しないと視聴できないものがあります。また番組により無料で視聴できる番組と有料番組があります。

※ペイ・パー・ビューとは……ご覧になった番組の分だけ料金を支払うシステムです。

番組表を表示する

本機は衛星デジタル各放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。

お知らせ

- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 110度CSデジタル放送の番組表は110度CSデジタル放送を受信してから番組表ボタンを押します。

お知らせ

- 番組間の区切りが赤線のところには、画面上に表示しきれない放送時間の短い番組が存在します。赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
- 衛星デジタルの ① ～ ⓪ ボタンを押したり、お好み入力でチャンネルを選ぶと、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、チャンネル番号入力ボタンを押して ① ～ ⓪ ボタンでチャンネル番号を入力すると、指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
- 「選局対象」の設定により、表示される内容が変わります。（☞42ページ）
- 番組表を表示中にリモコンの「テレビ」「ラジオ」「独立データ」ボタンを押すと、その選局対象だけの番組表を表示することができます。

見ている番組のタイトルなどを表示する

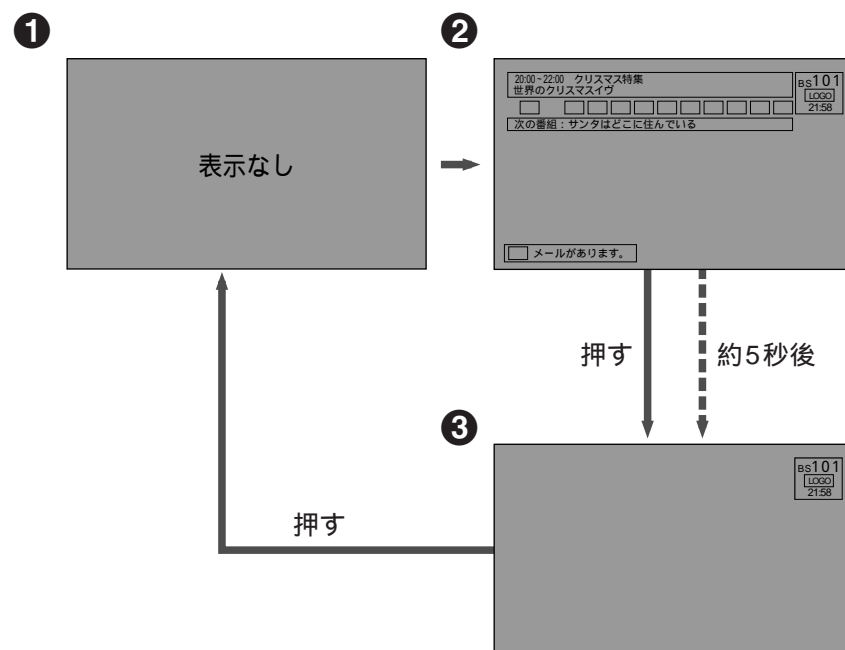
本機は衛星デジタル各放送局の番組データを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。

画面表示

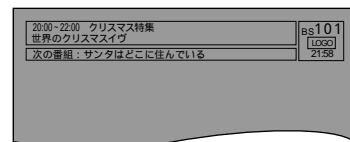
衛星デジタル放送のとき
押すごとに
切換わります。
(❷の画面は約5秒間表示後、自動的に❸の画面になります。)

押す　約5秒後

❸
BS101

押す

■チャンネル切換えをすると

チャンネルを切換えたときは下の画面が表示されます。

20:00~22:00 クリスマス特集
世界のクリスマスイヴ
次の番組：サンタはどこに住んでいる
BS101

番組の詳細内容を表示する

選局中の番組や番組表、各種検索結果一覧などで選んでいる番組の詳しい内容を知ることができます。

❶ 次のいずれかの状態にする。

■衛星デジタル放送の視聴中

■番組表表示中

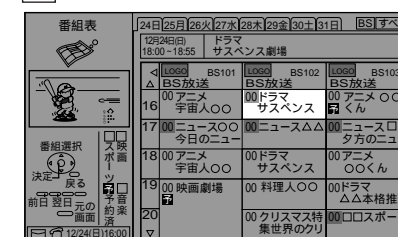
■裏番組一覧表示中

■各検索結果一覧表示中

**■予約一覧表示中
(プログラム予約は除く)**

■番組予約表示中

例 番組表表示中の場合

❷ 押す

スクロールバー

番組の詳細情報が表示されます

■戻りかた
元の画面 **押すと**
テレビ画面に戻る

便利機能 **マークは、** 便利機能 **ボタンが使用できる画面です。**
(☞B編13ページ)

お知らせ

- **現在時刻の表示は衛星電波で送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。**
- **「次の番組：」の表示は、番組開始の3分前に表示されます。**

お知らせ

- **「視聴可能年齢」に設定した視聴制限の対象になる番組を選んだときは暗証番号の入力が必要です。(☞37ページ)暗証番号入力後は、再度 番組内容 ボタンを押してください。**
- **スクロールバーについて**
  「番組内容」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は▲▼で字送り(スクロール)してご覧になれます。
- **2画面時は左画面の番組内容を表示します。(右画面で衛星デジタル放送を見ているときは、B編：31ページの「右画面のチャンネルを変える」の操作で「操作中」のマークがある間に 番組内容 を押すと右画面の番組内容を表示します。)**

お好み選局

出荷時にあらかじめ設定されているプリセットチャンネル（☞B編：23ページ）や、15ページで設定したチャンネルを簡単に呼び出せます。

お好み設定

今、見ているチャンネルを画面上に表示させた選局ボタンに登録（お好み設定）して、簡単に呼び出す（お好み選局する）ことができます。

お知らせ

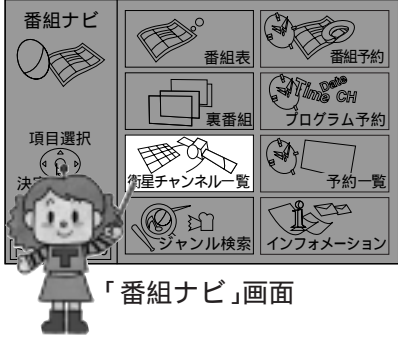
●「お好み選局」画面は、BSを見ているときはBS、CS1を見ているときはCS1、CS2のときはCS2の「お好み選局」画面が表示されます。

お知らせ

●「お好み設定」画面ではBS、CS1、CS2、それぞれ30チャンネルずつ設定できます。
●「お好み設定」画面に設定したチャンネルを削除するときは、上記1、2の手順で削除したいチャンネルを選んでから、#ボタンを1秒以上押してください。

衛星チャンネル一覧から選局する

❶

衛星デジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

「番組ナビ」画面

押して、「衛星チャンネル一覧」を選び中央の決定ボタンを押す

BSの「衛星チャンネル一覧」画面

便利機能

❷

押して、見たい番組を選び中央の決定ボタンを押す

便利機能

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき（☞20ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（☞37ページ）

■戻りかた

押すとテレビ画面に戻る

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（☞B編13ページ）

お知らせ

- 基本的な選局方法についてはB編：22ページをご覧ください。

裏番組一覧表から選局する

❶

衛星デジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

「番組ナビ」画面

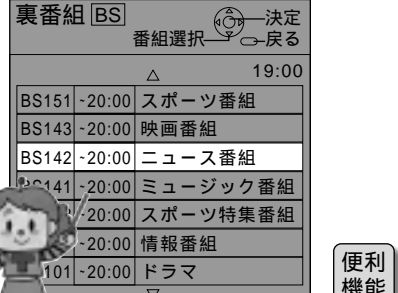
押して、「裏番組」を選び中央の決定ボタンを押す

BSの「裏番組」一覧画面

見ている番組の画面上に、現在放送されている各衛星チャンネルの番組名を一覧表示します。

便利機能

❷

押して、見たい番組を選び中央の決定ボタンを押す

便利機能

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき（☞20ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（☞37ページ）

■戻りかた

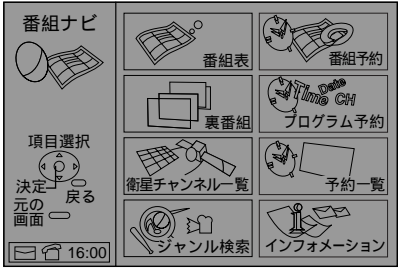
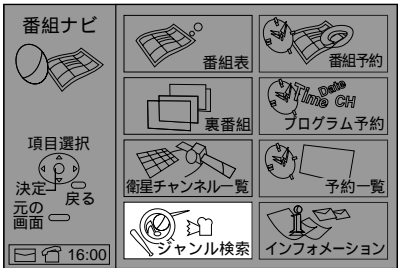
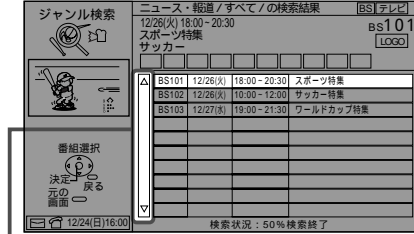
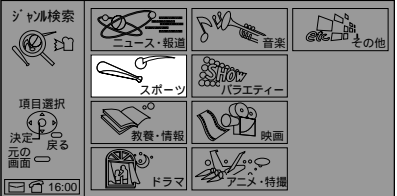
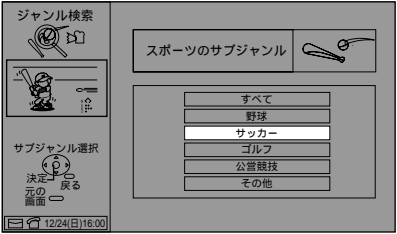
元の画面 押すとテレビ画面に戻る

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（☞B編13ページ）

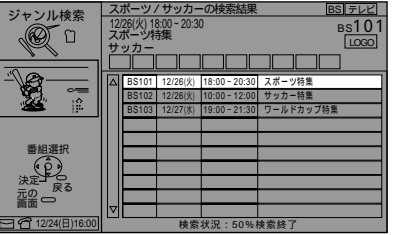
お知らせ

- BSを見ているときはBS、CS1はCS1、CS2はCS2の裏番組を表示します。
- 基本的な選局方法についてはB編：22ページをご覧ください。

番組をジャンル別に検索する

番組のジャンル別情報を、一覧表として画面表示します。
このジャンル検索結果一覧からお好みの番組を検索し、選局や予約ができます。

手順❷で「スポーツ」「教養・情報」「映画」「その他」を選んだときは、さらに細かいサブジャンル一覧が出ます。

例 スポーツを選んだとき

「サブジャンル」画面

さらに、押して「サブジャンル」から、お好みのスポーツを選び 中央の決定ボタンを押す

❸ 押して、見たい番組を選び
中央の決定ボタンを押す

「ジャンル検索結果」一覧画面

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 現在放送中の番組を選んだとき →その放送に切換わります。
- 将来の番組を選んだとき （☞22ページ 手順❹より）
- 有料番組を選んだとき （☞20ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき （☞37ページ）

■戻りかた

- 戻る 押すと1つ前の画面に戻る
- 元の画面 押すとテレビ画面に戻る

お知らせ

- BSを見ているときはBS、CS1はCS1、CS2はCS2の番組のみが検索できます。
- スクロールバーについて
  「検索結果」の件数が多く、1ページを超えているときに表示します。
  隠れている内容は で字送り（スクロール）してご覧になれます。

お知らせ

- 「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合は、「すべて」を選んで決定ボタンを押してください。
- 検索が終了すると、「検索状況：100%検索完了」と表示されます。
  ジャンルによっては検索に時間がかかる場合があります。
  （検索途中でも、既に表示されている番組の選局や予約は可能です。）
- ジャンル検索結果の一覧画面で、リモコンの「テレビ」「ラジオ」「独立データ」ボタンを押すと、その選局対象だけで再検索することができます。

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（☞B編13ページ）

有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する

衛星デジタル放送には無料と有料のものがあります。無料チャンネルと契約済みチャンネルについては選局操作をするだけで視聴できます。
またペイ・パー・ビュー（番組単位で購入できる）の番組を視聴や録画したいときには、表示画面上での購入操作が必要です。

❶ ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

● 番組によってはプレビュー（選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービスのこと）が表示されます。
● プレビュー中のときは 決定 を押すと購入画面が表示されます。

❷ 購入する、視聴購入、録画購入、購入しない の項目を選び
中央の決定ボタンを押す

購 入 す る
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画機器で録画できません。

購入しない
番組を購入しません。他のチャンネルを選局してください。

追加料金を支払うと、視聴できる場合や録画機器で録画できる場合に次の項目が表示されます。

視 聴 購 入
番組を購入したことになり、視聴できますが、コピーガードがかかっているため録画機器では録画できません。

録 画 購 入
番組を購入したことになり、視聴できます。録画機器で録画したいときに選択してください。

コピーガードについて
衛星デジタル放送の中には、ビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。
コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。
コピーガードを解除できない番組の場合は 録画購入 の選択項目が表示されません。

お知らせ
● 画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
●「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、購入金額です。
● 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし、有料番組は購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
● 視聴制限の対象になる番組を選局したときは、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の設定や解除の方法は37ページをご覧ください。
● 購入した番組を録画する場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
● 番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。

購入記録を確認する

お客様が購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴（最新のもの25番組まで）を確認することができます。また購入した累計金額の確認や、累計金額のリセット（0円に戻す）もできます。累計金額がリセットされた項目はうすい文字で表示されます。

❶ 番組ナビ 押す

インフォメーション を選び、
中央の決定ボタンを押す

❷ 購入記録 を選び、
中央の決定ボタンを押す

● BS、CS1、CS2合わせて、最大25番組までの購入記録を表示します。

❸ 元の画面 押す（確認終了）

●「購入記録」画面が消えます。

お願い
累計金額をリセットしたいときには、＃ ボタンを押しリセット確認画面を表示させてください。リセット確認画面では◀▶ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押すと、累計金額を0円に戻すことができます。0円に戻した時点から新しく購入される分より累計金額として加算されていきます。(購入した有料番組の履歴は消すことができません。)

お知らせ
● 表示されている金額は途中で改定される場合もあり参考金額です。実際に請求される金額とは異なる場合があります。

番組の録画や予約をする（番組予約）

番組予約、ジャンル検索結果一覧表から現在放送中の番組を選んで録画したり現在時刻以降に放送開始の番組を選んで予約することができます。また、Irシステムやi.LINK接続をしたビデオデッキなどに録画予約の設定も行えます。（☞26ページ）

予約操作の流れ

「番組予約」画面から予約する場合

❶

例
BSデジタル放送のときに押す

❷ 番組予約を選び、中央の決定ボタンを押す

❸ 予約したい番組を選び、中央の 便利機能 決定ボタンを押す

❹ 予約方式を選び、録画、視聴を切換える（例）

詳細な設定も行えます。

❺ 予約するを選び、中央の決定ボタンを押す（例）

「予約完了」画面が数秒間表示されます。

■予約を中止したいときは
手順❺で「予約しない」を選び 決定 を押す。（❸の画面に戻ります。）

■終了するときは
元の画面 ボタンで視聴していた画面に戻ります。

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（☞B編13ページ）

予約の状況によっては

番組を予約しようとしたとき、状況によって別の画面が表示されます。

- 予約済みの番組を選んだ場合（☞24ページ）
- 予約ができない場合（☞25ページ）
- 予約がいっぱいの場合（☞25ページ）

録画 について

- 放送中の番組の録画や将来の番組を予約録画したいときは、「録画」を選択してください。また、必要に応じて下記の「録画機器」などの詳細な設定を行ってください。ただし、コピーガードが解除できない番組の場合は正しく録画することができません。
- 有料番組の場合、お客様がビデオデッキなどに録画されていなくても料金が請求されます。

視聴 について

- 本機の電源をオン（受像）にしておけば予約開始時刻の約30秒前に予約実行の予告画面が表示され、5秒前に番組が切換わります。予約開始時刻前には電源をオン（受像）にしておいてください。

詳細な設定を行う場合

予約設定では、次の詳細な設定ができます。

- 録画機器…予約録画する場合にどの録画機器で録画するかを設定します。（☞26ページ）
- 録画モード…標準、3倍などの録画機器側の録画時間を設定します。（☞27ページ）
- 時間変更追従…番組の時間変更に追従して予約を実行するかを設定します。（☞27ページ）
- 信号設定…予約実行時の「マルチビュー」、「映像」、「音声」、「二重音声」、「データ」の信号設定を行います。「信号設定」を選び 決定 を押すと、設定画面が表示されます。（☞28ページ）
- その他の設定…上記の他に設定できる項目があります。「その他の設定」を選び 決定 を押すと、設定画面が表示されます。（☞29ページ）
- プログラム予約へ…日時を指定して予約を設定するプログラム予約を行います。「プログラム予約へ」を選び、決定 を押すと設定画面が表示されます。（☞32ページ）

予約したあとは（☞30ページ）

- 予約が重なっている場合（☞25ページ）

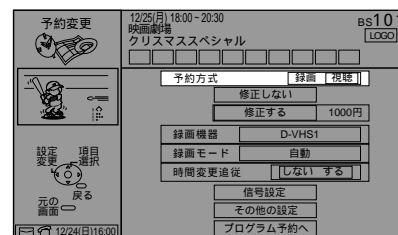
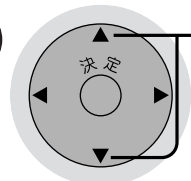
お知らせ
- 「予約設定」画面に表示される金額は、購入合計金額です。無料の場合は表示されません。
- 予約設定中は 戻る ボタンで予約操作を中止し、前の画面に戻ることができます。
- 視聴制限の対象になる番組を選んだときには暗証番号の入力が必要となります。視聴制限の解除の方法は37ページをご覧ください。

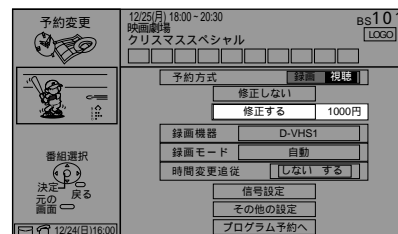
お願い
- 「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー予約）」「DVDレコーダー（タイマー予約）」にした場合、手順❺で「予約する」を選ぶとリモコン信号の送信確認の画面が表示されます。画面の説明に従って操作してください。
- 番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、番組の開始時刻から予約が実行できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される30秒前には予約設定を終了してください。

番組を予約する（つづき）

予約済みの番組を選んだ場合

すでに予約した番組を選んだ場合、予約の設定内容を変更できる「予約変更」画面が表示されます。

変更したい項目を選び、設定を変更する

- 設定変更については、26～29ページの「予約の詳細な設定」をご覧ください。

修正する、または修正しないを選び、中央の決定ボタンを押す

元の画面に戻ります。

修正する を選ぶと

- すでに予約している番組の音声や字幕などの設定を変更された状態で予約します。ただし、本機からはIrシステムを使用したタイマー予約で、録画機器に設定した予約の変更はできません。録画機器側で変更操作をしてください。

修正しない を選ぶと

- 予約の修正を行わずに前の画面に戻ります。

予約ができない場合

契約されていないチャンネルの番組を予約操作した場合に右のような画面が表示され、番組の予約はできません。
また、番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。ビデオデッキの場合は予約が実行される15秒前、IrシステムをDVDレコーダーの場合は予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。

予約できません。

予約がいっぱいの場合

予約がいっぱい（最大24個）の場合、さらに番組を予約しようとすると右のような画面が表示されます。

予約がいっぱいです。
予約を削除してから
やり直してください。

- 「予約一覧」画面で予約を削除してから、もう一度予約してください。（☞36ページ）

予約が重なっている場合

すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約したときは、右のような画面が表示されます。

予約が完了しました。
予約が重複しています。予約が
実行されない場合があります。

- 重なった予約を削除したい場合は、「予約一覧」画面で予約を削除してください。（☞36ページ）

お願い

- 予約実行開始の約2分前からは、予約の設定を変更しないでください。
  予約が正しく実行されない場合があります。

お知らせ

- 予約を取消したい場合は、「予約一覧」画面で予約の取消しができます。（☞36ページ）

お知らせ

- 予約が重なった場合の予約実行には、優先順位があります。31ページをご覧ください。

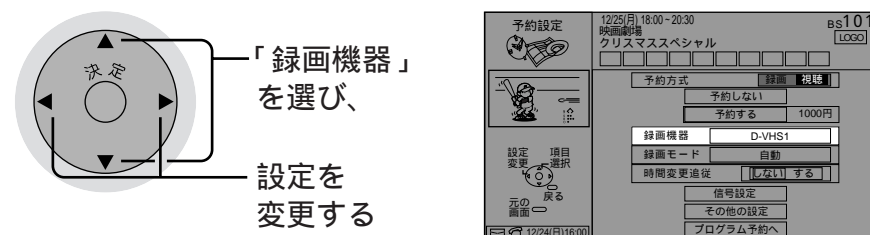
番組を予約する（つづき）

予約の詳細な設定

録画機器について

録画予約する場合に、どの録画機器で録画するかを設定します。

「録画機器」を選び、

設定を変更する

D-VHS＊ ……i.LINK接続のD-VHSビデオデッキで録画する場合に設定します。（末尾の＊印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。）

HDR＊ ……i.LINK接続のハードディスクビデオレコーダーで録画する場合に設定します。（末尾の＊印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。）

ビデオ（タイマー予約） …Irシステムを使用してビデオデッキに、タイマー予約で録画する場合に設定します。

ビデオ（連動予約） ……Irシステムを使用してビデオデッキに、連動予約で録画する場合に設定します。

DVDレコーダー（タイマー予約） …Irシステムを使用してDVDレコーダーに、タイマー予約で録画する場合に設定します。

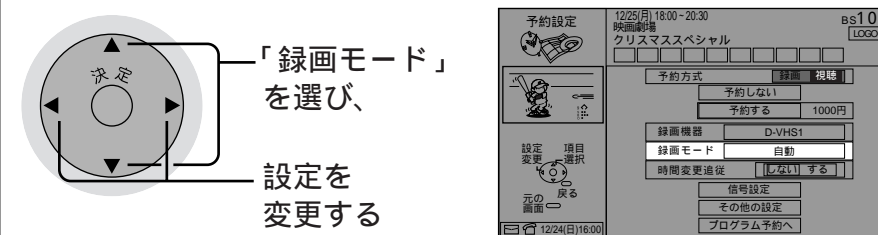
DVDレコーダー（連動予約） …Irシステムを使用してDVDレコーダーに、連動予約で録画する場合に設定します。

－－ ……Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器の場合に設定します。
録画機器の録画予約の設定は、録画機器側で設定してください。

録画モードについて

Irシステムやi.LINK接続機器を使用して録画予約する場合に設定します。

「録画モード」を選び、

設定を変更する

自動 ……録画機器が D-VHS＊ HDR＊ のときに選べます。
衛星デジタル放送の画質にあわせて各録画機器で自動的にデジタル記録します。ただし、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。（ HDR＊ の場合は、ハードディスクビデオレコーダー側で設定している録画モードでエンコード録画します。）

標準 3倍 5倍 ……録画機器が D-VHS＊ ビデオ（タイマー予約） HDR＊ のときに選べます。
衛星デジタル放送を、設定した各録画モードでアナログ録画します。
（本機背面のモニター出力からの映像・音声を録画します。）
※ HDR＊ の場合、標準はSP、3倍はLP、5倍はEPでエンコード録画します。（NV-HDR1000）

標3 ……録画機器が ビデオ（タイマー予約） のときに選べます。
衛星デジタル放送を「標準」でアナログ録画し、テープ残量が少なくなると自動的に「3倍」に切換わります。

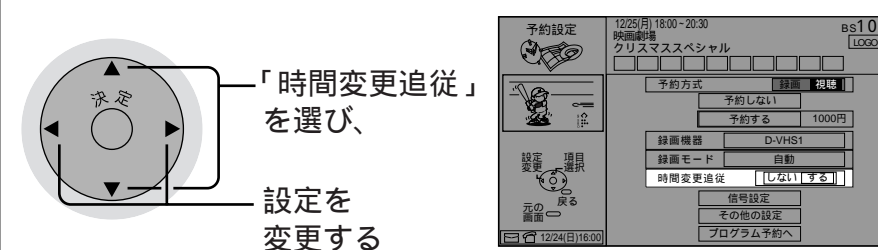
XP SP LP EP FR …録画機器が DVDレコーダー（タイマー予約） のときに選べます。
設定した録画モードでエンコード録画します。

－－ ……設定できません。（録画機器側で設定してください。）

時間変更追従について

番組の時間変更に追従して予約を実行するかしないかを設定します。（☞35ページ）

「時間変更追従」を選び、

設定を変更する

する …番組の時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、ビデオ（タイマー予約） DVDレコーダー（タイマー予約） のときは対応しません。（機器側で時間変更操作をしてください。）

しない … 予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間で予約を実行します。
ただし、放送の開始時刻が予約設定の終了時刻より後の場合は予約が実行されません。

お知らせ

- 「連動予約」、「タイマー予約」については31ページをご覧ください。
- ビデオ（タイマー予約）、ビデオ（連動予約）、DVDレコーダー（タイマー予約） DVDレコーダー（連動予約） の項目は、Irシステムの設定を行わなければ表示されません。（☞C編：58ページ）
  また、ビデオ（タイマー予約） DVDレコーダー（タイマー予約） はIrシステムの設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」「DVDレコーダー1～3」に設定したときのみ表示されます。（☞C編：58、59ページ）
- ハードディスクビデオレコーダーをi.LINK接続して録画される場合は HDR＊ での使用をお勧めします。
- D-VHS＊ HDR＊ の項目は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定しなければ表示されません。（☞54、55ページ）

お知らせ

- 設定した録画モードの機能のない録画機器の場合は、録画機器に設定されている録画モードでアナログ録画されます。ただし、ビデオ（タイマー予約） で「5倍」に対応していない録画機器の場合は「標準」でアナログ録画されます。

番組を予約する（つづき）

予約の詳細な設定（つづき）

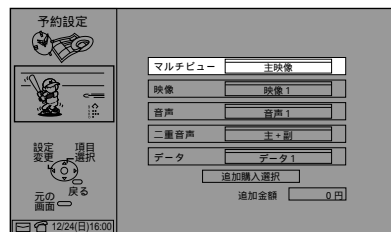
信号設定について

予約実行時の「マルチビュー」「映像」「音声」「二重音声」「データ」の状態を設定します。また、追加購入が必要な信号の選択もできます。

1 まず、22ページの❶〜❹の手順で「信号設定」を選び 決定 を押す

2

項目を選び

設定を変更する

マルチビュー…番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。

映像………映像が複数ある場合に映像を設定します。

音声………音声が複数ある場合に音声を設定します。

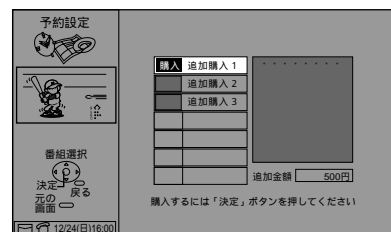
二重音声…二重音声の場合に「自動」、「主」、「副」、「主＋副」を設定します。「自動」に設定すると予約方式が「視聴」の場合、予約時に設定されている二重音声の設定になり、「録画」の場合、「主＋副」の設定になります。

データ……データが複数ある場合にデータを設定します。「−−」に設定すると、予約実行時に、データ放送の指示にしたがいデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は、「−−」以外を選択してください。

追加購入選択について

番組の中に購入が必要な信号がある場合、▲▼ボタンで「追加購入選択」を選び、決定 ボタンを押すと表示される「追加購入選択」画面で信号を購入設定できます。

購入したい信号を選び、

中央の決定ボタンを押す

- 購入選択した信号には 購入 アイコンが表示されます。
- 購入を取消したいときは、再度 決定 ボタンを押してください。
- 購入選択を終る場合は 戻る ボタンを押してください。

3 押す（設定終了）

- 「予約設定」画面に戻ります。

お知らせ

- i.LINK接続を使用してD-VHSビデオデッキやHDRでデジタル録画する場合は、複数の信号があるときに優先して録画する信号の設定になります。（信号によっては、自動的に複数の信号を録画する場合もあります。）
- 「プログラム予約」からは「信号設定」は「二重音声」のみ設定できます。

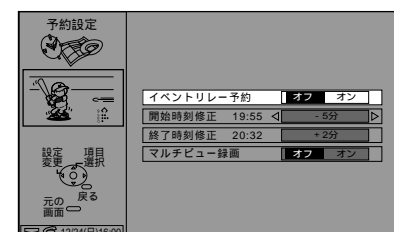
その他の設定について

信号設定などの他にも設定できる内容があります。

1 まず、22ページの❶〜❹の手順で「その他の設定」を選び 決定 を押す

2

項目を選び

設定を変更する

イベントリレー予約…予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に続けて予約を実行したいときは「オン」に設定します。

開始時刻修正……番組の一部分だけを録画したい（余分な放送部分をカットしたい）ときに設定します。録画を実行する時間を番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

終了時刻修正……番組の一部分だけを録画したい（余分な放送部分をカットしたい）ときに設定します。録画を終了する時間を録画開始時刻の6分後から番組の終了時刻の1分後まで修正できます。

マルチビュー録画…予約した番組がマルチビュー放送の場合に、副番組も同時に録画したいときは「オン」に設定します。本機やi.LINK接続の機器にデジタル録画予約する場合に設定できます。

3

押す（設定終了）

- 「予約設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 「プログラム予約」から「その他の設定」画面を表示させた場合、「イベントリレー予約」、「開始時刻修正」、「終了時刻修正」の項目は表示されません。
- 番組時間が6分以内の番組は「開始時刻修正」「終了時刻修正」は設定できません。

番組を予約する（つづき）

予約後の注意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。
- 有料番組を予約した場合は、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画をされていなくても料金が請求されます。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。「時間変更追従」の設定を「する」にすると、最大3時間までに確定した時間変更に対応できます。（☞27、35ページ参照）
- 「衛星アンテナ設定」画面と「受信設定」画面を表示中に予約が始まると予約が無効になります。

録画 を選んだ場合

- 衛星デジタル放送を録画予約した場合、予約の実行中は録画優先のため衛星チャンネルが固定（ロック）され、他の衛星チャンネルは見られません。
  ※実行中の録画予約を解除する（録画を途中で止める）ときは…
  番組表ボタンや番組ナビボタンを押すと、画面に予約録画を中止してもよいかの確認画面が表示されます。予約録画を中止する場合は画面の説明に従って操作してください。
- 「録画」で予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。また、D-VHSビデオデッキでは、デジタルコピーガードによってi.LINKでのデータ出力がされない番組の場合、アナログ録画になります。
- Irシステムを使用して録画機器に予約録画（連動予約、タイマー予約）する場合は下記の点にご留意ください。（連動予約、タイマー予約については31ページ参照）
  1. 連動予約の場合、録画機器の電源は「切」にし、予約録画の待機状態にはしないでください。タイマー予約の場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
  2. 連動予約を設定している場合は、録画機器の入力を本機に接続した入力に切換えてください。また、録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。
  3. 連動予約実行中は、録画機器の操作は行わないでください。録画が中止されるなどにより、正常に録画できません。
- i.LINK接続を使用して録画機器に予約録画を設定した場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器で録画する場合は、録画機器側で録画予約の設定を行ってください。
- 予約録画実行中にi.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。予約が終了してもi.LINK接続を使用した録画機器の録画停止ができません。

視聴 を選んだ場合

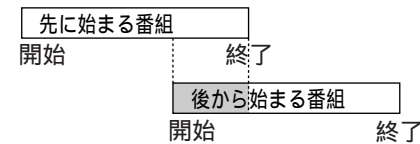
- 予約した番組が始まる20〜30秒前には本機の電源をオン（受像）にしておいてください。電源をオフ（機能待機）にしていると予約が無効になります。

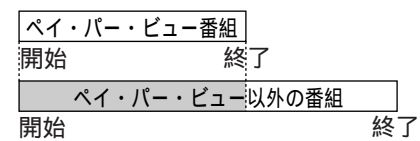
予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時間が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約の優先順位

❶ 放送開始時間の早い番組を優先
□部分：録画しません

先に始まる番組
開始 終了
後から始まる番組
開始 終了

❷ 開始時刻が同じ場合
ペイ・パー・ビュー番組を優先
□部分：録画しません

ペイ・パー・ビュー番組
開始 終了
ペイ・パー・ビュー以外の番組
開始 終了

※ペイ・パー・ビュー番組同士、またはペイ・パー・ビュー以外の番組同士の場合はチャンネル番号の小さい番組を優先します。

お知らせ
- 録画機器側で別の予約を設定されて予約が重なった場合などは、ご希望の番組が録画できない場合があります。
- 一度開始した予約動作を中止して他の予約を実行することはありません。
- チャンネルが異なる番組を時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了します。

連動予約とタイマー予約について

Irシステムを使用した録画機器への録画予約の設定には次の2種類があります。

連動予約

予約した番組の開始時と終了時に、本機と接続した録画機器へ録画開始と終了のリモコン信号を自動的に送信して番組を録画する方式です。予約実行前には録画機器の入力を本機に接続した入力に切換え、録画機器側で録画モードの設定を行ったうえ、録画機器の電源を「切」にしておいてください。（予約録画の待機状態にはしないでください。）
- 「時間変更追従」の設定を「する」にすると番組の開始時間が変更になっても最初の予約開始時刻から最大3時間まで追従できます。また、録画機器への連動予約も自動的に変更されます。

タイマー予約

本機で番組を予約した時点で、本機と接続した録画機器にタイマー予約のリモコン信号を自動的に送信する方式で、録画機器は予約録画の待機状態になります。予約実行時には、自動的に録画機器は設定した外部入力、録画モードで録画を行います。（連動予約と違い、予約実行前に録画機器側の入力切換えやテープ速度を都度設定する必要はありません。）
- タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付録画機器で、「Irシステム設定」（☞C編：58ページ）の「メーカー」の設定が「松下」のとき、「リモコン種別」が「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」のものに対応できます。（「ビデオ4」「ビデオ5」には対応できません。）
- 「時間変更追従」の設定を「する」にしている場合、予約の時間変更があったときは、本機からビデオデッキ側のタイマー予約の変更はできません。ビデオデッキ側で変更してください。（☞27、35ページ）
- 深夜放送の番組や24時間番組などで日付が変わっても放送される番組は、タイマー予約を行っても録画機器側の機能として、正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- 予約実行前には、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- タイマー予約後の録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をよくお読みください。

日時を指定して予約する（プログラム予約）

本機は番組ごとに予約する機能の他に、日時を指定して予約できるプログラム予約機能があります。また、毎週放送される連続ドラマなど曜日を指定して毎週予約を実行することもできます。

予約操作の流れ

（例）BSの103チャンネルの1月1日12：00～14：00に予約設定する場合

❶
BSデジタル放送を選局してから押す
（CS1を予約するときはCS1、CS2を予約するときはCS2を選局してから番組ナビボタンを押します。）

❷
プログラム予約を選び、押す

❸
予約チャンネルを選び、予約したいチャンネルを選ぶ

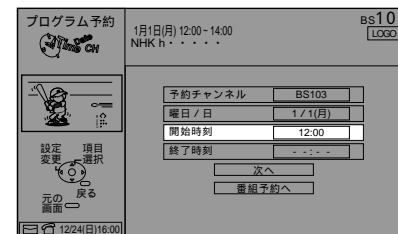
103チャンネルの場合

● 決定ボタンを押せば、①～⓪ボタンでチャンネルを設定することもできます。
（#ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

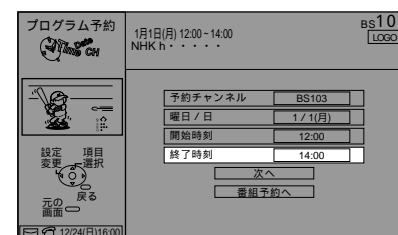
❹
曜日/日を選び、予約する日を選ぶ

1/1（月）の場合

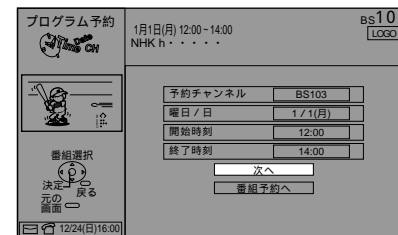
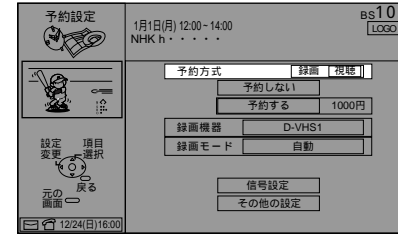
下記のように設定が切換わります。

❺
開始時刻を選び、予約を開始する時間を選ぶ

12：00の場合

● 決定ボタンを押せば、①～⓪ボタンで設定することもできます。
（#ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

❻
終了時刻を選び、予約を終了する時間を選ぶ

14：00の場合

● 決定ボタンを押せば、①～⓪ボタンで設定することもできます。
（#ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

❼
次へを選び、中央の決定ボタンを押す

「予約設定」画面が表示されますので、続けて22ページ手順❹から予約設定を行ってください。

22ページの手順❹へ

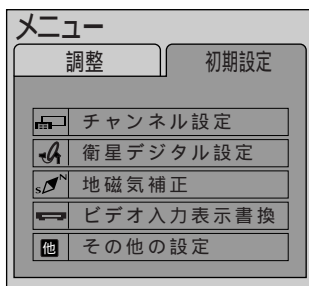
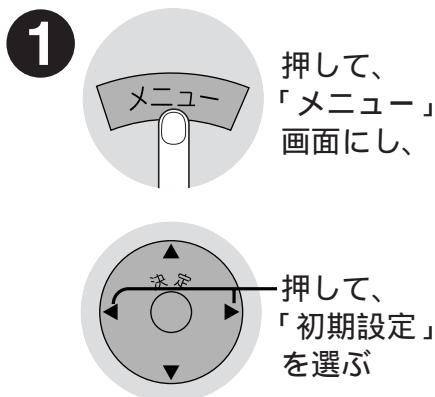
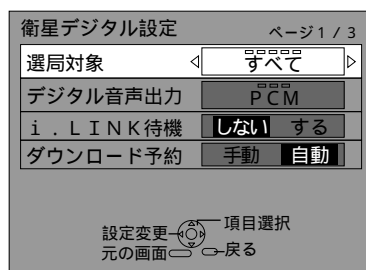
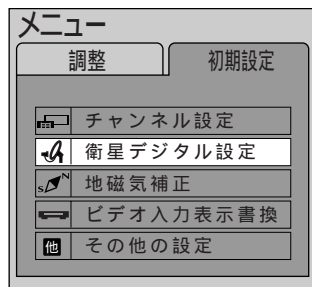
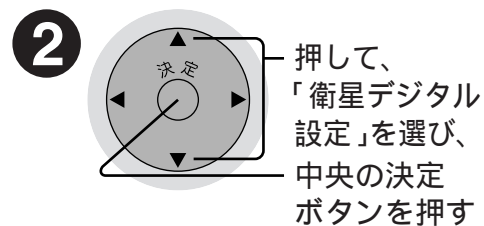
お知らせ

●「曜日/日」の設定は赤ボタンと青ボタンで「日付指定」「毎日」、「毎週（日）」の設定値へ移動できます。
「プログラム予約」を選ぶと…
● 暗証番号が未登録の場合、暗証番号の登録画面が表示されます。
● 視聴年齢制限を設定している場合、暗証番号の入力画面が表示されます。
● 暗証番号については（☞37～41ページ）。
● 暗証番号を入力せずに、数秒経過すると暗証番号登録画面または暗証番号入力画面が消えます。この場合に続けてプログラム予約を設定すると予約実行時に視聴制限のある番組は視聴、録画ができなくなります。

お知らせ

● 番組を選んで予約を設定したい場合は、▲▼ボタンで「番組予約へ」を選び、決定ボタンを押してください。22ページの手順❸の「番組予約」画面が表示されます。
● 設定した時間内に視聴制限対象となる番組がある場合、その番組の予約は実行されません。

予約の事前設定

「録画・視聴設定」画面では、Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合の事前設定ができます。

❶

押して、「メニュー」画面にし、

押して、「初期設定」を選ぶ

「メニュー」画面

❷

押して、「衛星デジタル設定」を選び、中央の決定ボタンを押す

「衛星デジタル設定」画面

●「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。

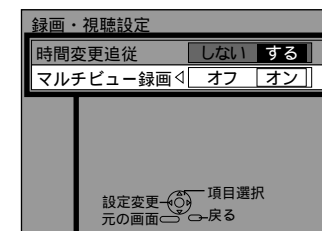
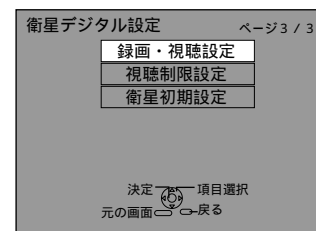
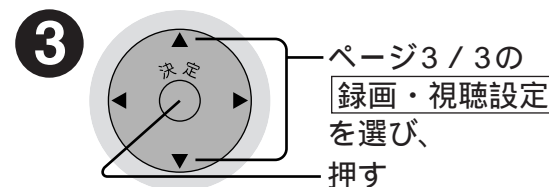
で項目を送ると自動的にページが変わります。

❸

ページ3／3の 録画・視聴設定 を選び、押す

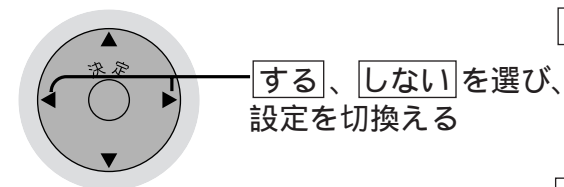
● 各項目の設定を行ってください。

❹

押す（設定終了）

●「録画・視聴設定」画面が消えます。

時間変更追従

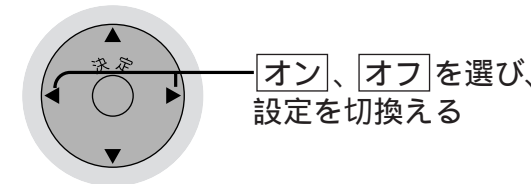
予約した番組で放送時間の変更が確定した場合に、時間変更に合わせて予約を実行する設定ができます。予約開始設定時刻から最大で3時間の遅れまで対応します。

する、しない を選び、設定を切換える

する …時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ（タイマー予約）」「DVDレコーダー（タイマー予約）」にしたタイマー予約の時間変更はできません。ビデオデッキ側で時間変更の操作を行ってください。

しない …予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、予約設定時間内に番組が始まらない場合は予約は実行されません。

マルチビュー録画

i.LINK接続機器でデジタル録画する場合、予約した番組がマルチビュー放送の番組のときに、副番組も同時に録画する設定ができます。

オン、オフ を選び、設定を切換える

オン …予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画します。ただし、i.LINK接続機器で録画の場合に有効です。

オフ …予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

お知らせ

●「録画・視聴設定」の各設定は電源を「切」「入」しても記憶しています。
●「連動予約」「タイマー予約」については、31ページをご覧ください。
● IrシステムについてはC編：54、58ページ、i.LINK接続については50、54ページ、C編：56ページをご覧ください。

予約の確認、変更、取消しをする

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、変更、取消しや、予約が実行された番組の確認ができます。

1

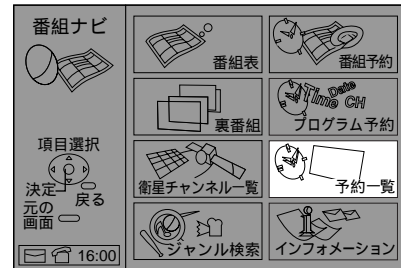
衛星デジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする

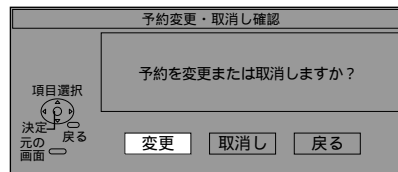
予約一覧 を選び、

中央の決定ボタンを押す

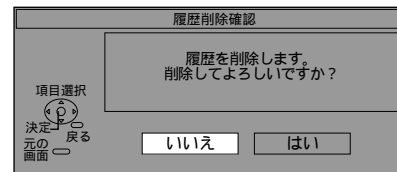
2

一覧内に黄色表示の△▽マークがあれば、表示送りをして、予約番組の確認をする

（例）

予約の変更、取消しをしたいとき

▲▼ボタンで変更または取消したい予約を選び、決定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

- 予約を変更したい場合は、「変更」を選んで決定してください。「予約変更」画面（☞24ページ）または「プログラム予約」画面（☞32ページ）が表示されます。
- 予約を取消したい場合は、「取消し」を選んで決定してください。
- 「戻る」を選び決定すると、「予約一覧」画面に戻ります。

実行済みの予約の履歴を消したいとき

▲▼ボタンで予約実行済みの予約を選び、決定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

- 予約の履歴を消したいときは「はい」を選んで決定してください。
- 「いいえ」を選び決定すると、「予約一覧」画面に戻ります。

3

元の画面 押す（確認終了）

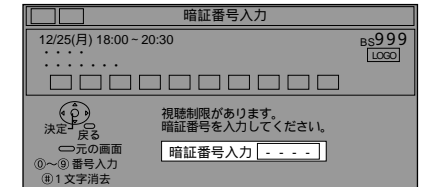
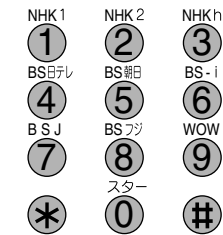
- 「予約一覧」画面が消えます。

お知らせ

- 8件を超える予約内容は▲▼ボタンで表示送りをして確認できます。
- 「予約一覧」画面でグレー表示されている内容は、実行済の予約履歴です。

視聴制限を一時的に解除したいとき

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

選局した番組がお客様の設定された制約（視聴可能年齢／一番組限度額）の対象になる場合には、「暗証番号入力」画面が表示されます。

リモコンの⓪～⑨ボタンで暗証番号（4桁）を入力すると、視聴制限が一時解除できます。

視聴制限を一時解除すると、本機の電源をオフ（または機能待機）にするまで解除状態が続きます。
ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだ場合は、視聴制限を解除しても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

お願い

- 暗証番号を間違えると再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認のうえ入力してください。

お知らせ

- ＃ボタンを押すと最後の桁を取消すことができます。
- 視聴制限の設定は（☞38～41ページ）。
- 暗証番号が未登録の場合は（☞38～41ページ）。

暗証番号の登録と、「視聴制限設定」画面の出し方

❶ 押して、「メニュー」画面にし、

押して、「初期設定」を選ぶ

メニュー

調整	初期設定

- チャンネル設定
- 衛星デジタル設定
- 地磁気補正
- ビデオ入力表示書換
- その他の設定

❷ 押して、「衛星デジタル設定」を選び 中央の決定ボタンを押す

メニュー

調整	初期設定

- チャンネル設定
- 衛星デジタル設定
- 地磁気補正
- ビデオ入力表示書換
- その他の設定

衛星デジタル設定 ページ1／3

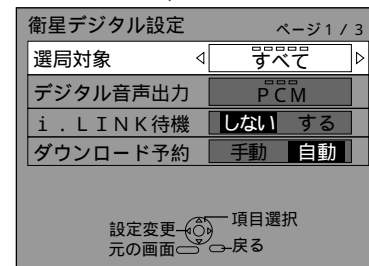
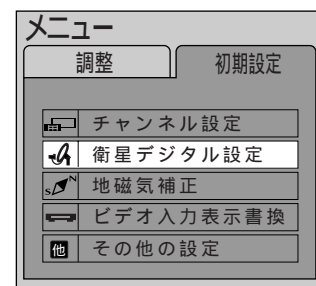
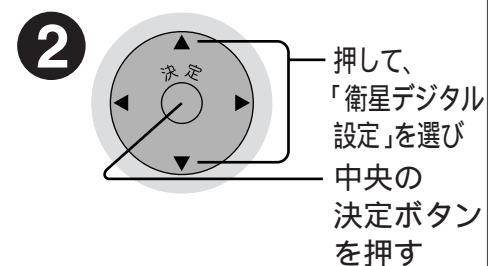
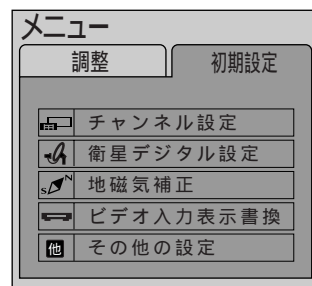
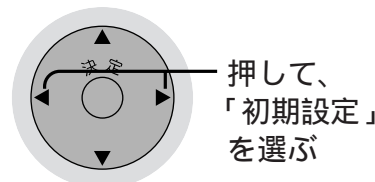
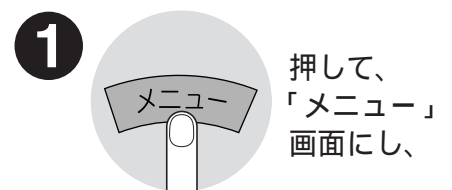
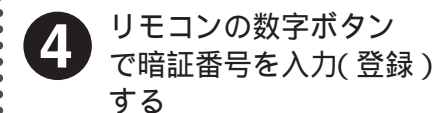
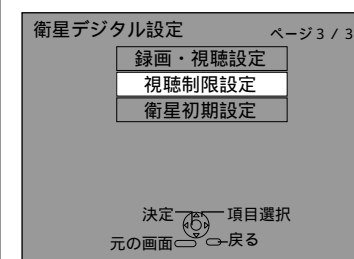
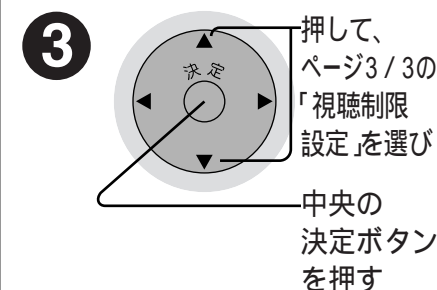
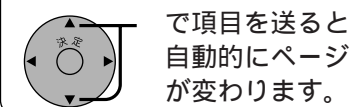
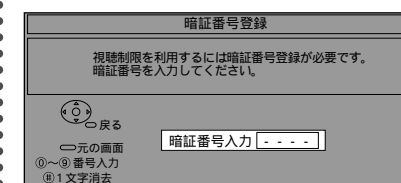
選局対象	すべて
デジタル音声出力	PCM
i．LINK待機	しない する
ダウンロード予約	手動 自動

設定変更 項目選択 元の画面 戻る

「衛星デジタル設定」画面

●「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

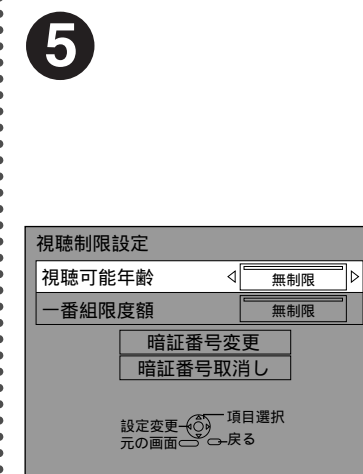
❸ 押して、ページ3／3の「視聴制限設定」を選び 中央の決定ボタンを押す

❹ リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力（登録）する

初めて暗証番号を登録する場合

「暗証番号登録」画面

- 画面の説明に従って、同じ暗証番号（4桁）を2回入力してください。
- 暗証番号は忘れないようにメモをしておいてください。

すでに暗証番号が登録されている場合

- 暗証番号を登録している場合は、「暗証番号入力」画面が表示されます。
  暗証番号（4桁）を入力してください。

❺

「視聴制限設定」画面

■番組により視聴可能年齢を制限する設定ができます。（☞40ページ）

■有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入するとき、一番組あたりの購入限度額を制限する設定ができます。（☞40ページ）

■必要により暗証番号の変更が可能です。（☞41ページ）

■暗証番号を取消しすることで、視聴制限の設定が無効になります。（☞41ページ）

お知らせ

番組が視聴年齢制限の対象になるときは番組名が「●●●」表示され、暗証番号の入力をしない限り番組を視聴したり、詳細情報も見ることができません。

お知らせ

- ＃ ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。
- 暗証番号の数字は、画面上には表示されません。（＊＊＊＊と表示されます。）
- 暗証番号入力（登録）画面で暗証番号を入力せずに数秒経過すると暗証番号入力（登録）画面は消えます。

視聴可能年齢／一番組限度額

暗証番号変更／暗証番号取消し

まず、 38、39ページの操作で「視聴制限設定」画面にする。

視聴可能年齢の設定

番組によっては視聴できる対象年齢を制限しているものがあります。
設定年齢より高い視聴年齢制限の番組は、各一覧表などで番組名が
「● ● ●」表示されます。
工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

視聴可能年齢 を選び、

年齢を設定する

視聴可能年齢　無制限

一番組限度額の設定

一番組限度額とは、有料番組や有料信号を購入する際に、料金が設定している一番組限度額より高額であれば、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できないようにする機能です。
工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

一番組限度額 を選び、

金額を設定する

一番組限度額　無制限

お知らせ

視聴可能年齢の設定は…

- 「4才」から「19才」までの1才単位の設定と「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると番組の対象年齢に関係なく番組が視聴できます。
- 「視聴可能年齢」で設定した年齢より、視聴年齢制限の高い番組を視聴したいときには、視聴制限が一時解除されていない限り、暗証番号の入力が必要となります。

一番組限度額の設定は…

- 「100円」、「500円」、「1000円」、「1500円」、「2000円」、「2500円」、「3000円」、「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると、一番組の料金に関係なく番組を購入することができます。
- 「一番組限度額」で設定した金額より高額の番組を視聴したいときには、暗証番号の入力が必要となります。

暗証番号変更

暗証番号の変更を必要とする場合のみ、次の手順で新しい暗証番号を入力してください。

暗証番号変更 を選び、

中央の決定ボタンを押す

❷ **リモコンの数字ボタンで暗証番号（4桁）を変更する**

（# ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

- 画面の説明に従って、変更操作をしてください。
- 暗証番号の登録が終わると、「暗証番号変更」画面が消え、約10秒後、「視聴制限設定」画面に戻ります。

お願い

- 暗証番号は変更された時点で忘れないように、メモをしておいてください。

暗証番号取消し

暗証番号の取消しをすると、再度暗証番号を登録するまで視聴制限の設定が無効になります。

暗証番号取消し を選び、

中央の決定ボタンを押す

- 暗証番号取消しの確認画面が表示されます。画面の説明に従って暗証番号を削除してください。
- 暗証番号の取消しが終わると、約10秒後、「衛星デジタル設定」画面に戻ります。

暗証番号変更は…

- 暗証番号を入力しても画面上では＊＊＊＊と表示されます。

暗証番号取消しは…

- もう一度、視聴制限を有効にするときは、暗証番号の登録が必要です。再度、「視聴制限設定」を選んで暗証番号を登録してください。

選局対象を指定したいとき

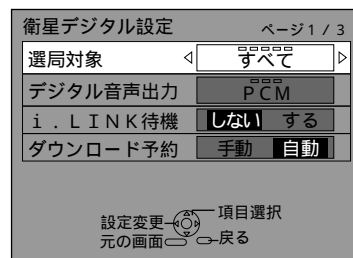
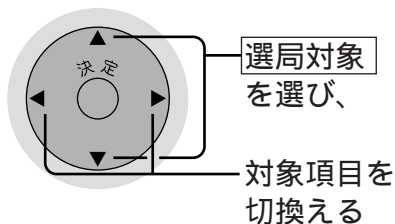
チャンネル ∧ ∨ ボタンによる順送り選局や「裏番組」、「番組表」などで表示させる衛星チャンネルを指定する設定です。

まず、34ページの手順①、②の操作で「衛星デジタル設定」画面にする。

選局対象を選び、

対象項目を切換える

衛星デジタル設定	ページ1／3
選局対象	すべて
デジタル音声出力	PCM
i．LINK待機	しない　する
ダウンロード予約	手動　自動

設定変更　項目選択　元の画面　戻る

「衛星デジタル設定」画面

お好み … リモコンのBS／110度CSデジタル数字ボタンに設定しているプリセットチャンネルと、「衛星チャンネル設定」で設定した11～30までのチャンネルを選局したり、表示させることができます。

テレビ … テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

ラジオ … ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

データ … データ放送のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

すべて … 現在放送されているすべてのチャンネルを順送り選局したり表示させることができます。

■設定を終了するときは

元の画面 **ボタンを押す**

- 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

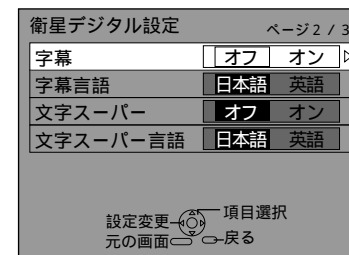
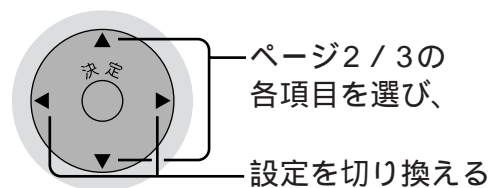
- 設定した項目に該当するチャンネルが1つしかない場合はチャンネル ∧ ∨ ボタンで切換えできません。
- 「プリセット」については、8ページをご覧ください。
- 工場出荷時は「すべて」に設定されています。

字幕や文字スーパーを見たいとき

字幕のある番組、文字スーパーのある番組での表示設定ができます。

まず、34ページの手順①、②の操作で「衛星デジタル設定」画面にする。

衛星デジタル設定	ページ2／3
字幕	オフ　オン
字幕言語	日本語　英語
文字スーパー	オフ　オン
文字スーパー言語	日本語　英語

設定変更　項目選択　元の画面　戻る

「衛星デジタル設定」画面

字幕

オン … 字幕を表示します。

オフ … 字幕を表示しません。ただし、放送により強制的に表示される字幕の場合は、この設定は無効になります。

字幕言語

日本語 … 日本語の字幕を表示します。

英語 … 英語の字幕を表示します。

文字スーパー

オン … 文字スーパーを表示します。

オフ … 文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示される文字スーパーの場合は、この設定は無効になります。

文字スーパー言語

日本語 … 日本語の文字スーパーを表示します。

英語 … 英語の文字スーパーを表示します。

※文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。

■設定を終了するときは

元の画面 **ボタンを押す**

- 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

- 設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。

衛星データ放送を見たいとき

衛星データ放送の番組では、画面に表示される説明に従い操作することでご希望の情報を引き出すことができます。衛星データ放送番組は次のものがあります。

- テレビ放送やラジオ放送に連動して衛星データ放送が行われるもの
- 番組自体が衛星データ放送のもの（選局すると衛星データ放送画面が表示されます）

衛星データ放送の確認のしかた

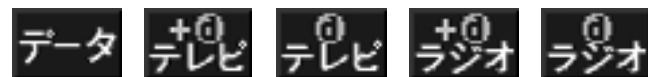
画面表示

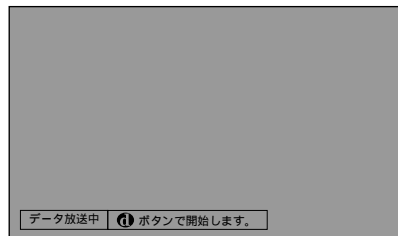
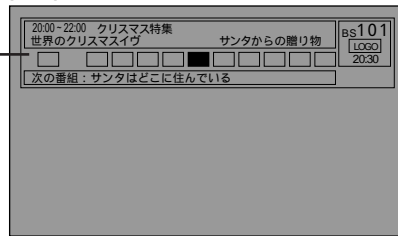
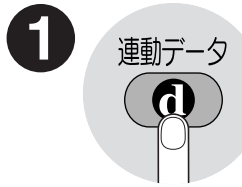
例
BSデジタル放送のとき
押す

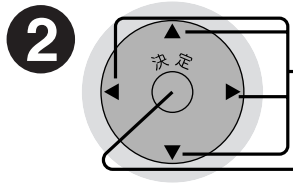
（例）

番組の内容が表示されます。

下記いずれかのアイコンが表示されているときはデータ放送の番組です。

データ   ＋ⓓラジオ ⓓラジオ

- 番組の途中で衛星データ放送が始まる場合は、右のような画面が表示されます。

データ放送中 ⓓボタンで開始します。

操作のしかた

押す

- 衛星データ放送画面が表示されます。（選局すると自動的にデータ放送画面になる番組もあります。）

項目を選び、

中央の決定ボタンを押す

お願い

衛星データ放送の番組によって画面に専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。また、本機のボタン機能は衛星データ放送の番組で使用するときのみ機能が変わる場合があります。それらの場合の操作は、画面に表示される説明に従ってください。

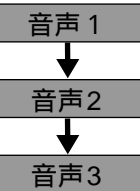
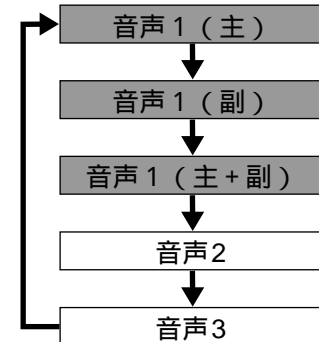
■衛星データ放送を終了したい場合は、元の画面 ボタンを押す

お知らせ

- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- 情報の多いデータ放送の場合、連動データⓓボタンを押してもすぐにデータ放送画面が表示されない場合があります。
- 衛星データ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。
- 衛星データ放送の番組では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合もあるため、通信中は（電源）ボタン、テレビ操作用ボタン以外は本機の操作ができなくなる場合があります。

同一チャンネルの複数コンテンツを切換える

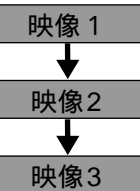
番組により、映像や音声などの信号を切換えて楽しむことができます。
切換え可能な信号の内容は番組により異なります。また切換えた信号が有料な場合もあります。

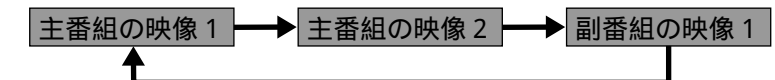
音声信号を切換える場合

- 番組に複数の音声があるとき、切換えができます。
- 切換えた音声が二重音声の場合は下図のように切換わります。
  （例）音声1が二重音声の場合

音声1（主） → 音声1（副） → 音声1（主＋副） → 音声2 → 音声3

二重音声について

二重音声には2種類あります。

- 二ヵ国語放送
  主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。）
- 音声多重放送
  主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

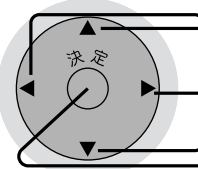
映像信号を切換える場合

- 番組に複数の映像があるとき、切換えができます。
- マルチビュー放送の場合は主番組、副番組の切換えができます。副番組は最大で２つあります。また、主番組、副番組に複数の映像がある場合も映像の切換えができます。
  （例）主番組に2つの映像、副番組に1つの映像がある場合

主番組の映像1 → 主番組の映像2 → 副番組の映像1

お知らせ

- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- 衛星データ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。

電話発信記録を見る

電話発信記録では、「衛星データ放送の番組から発信した最近の発信履歴内容」と「まだセンターへ送っていない番組購入記録の有無」が確認できます。もし未発信の番組購入記録がある場合は、手動ですぐに発信することもできます。（通常は定期的に自動的に発信されます）

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

電話発信記録 を選び、

中央の決定ボタンを押す

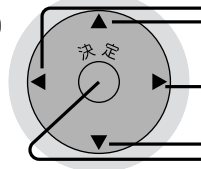
- 購入記録が送信できる場合は▲▼ボタンで「発信」を選んで 決定 ボタンを押すと、電話回線を通してセンターへ番組の購入記録などを発信できます。
- i.LINKに接続したD-VHSビデオデッキから本機を通じて電話発信を行ったとき、区分表示に i.LINK のアイコンが表示されます。

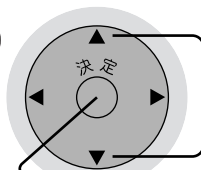
■確認を終了するときは

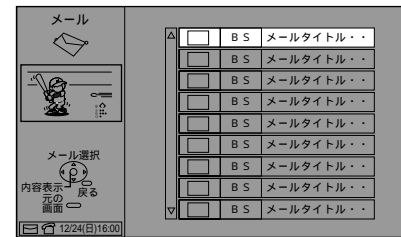
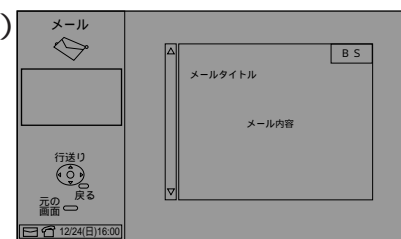
元の画面 ボタンを押す

メールを見る

メールとは衛星デジタル放送受信者（お客様）に送られるメッセージです。メールの内容には電話回線の通信異常や、予約番組の無効内容、機能向上のためのダウンロード情報などもありますので、下記の手順で届いたメールの内容を必ず確認してください。（このメールはインターネットのメールではありません。）

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

❶ **メール** を選び、

中央の決定ボタンを押す

❷ 確認したいメール項目を選び、

中央の決定ボタンを押す

❸ 内容を確認する　（例）

- 他のメールを読みたいときは 戻る ボタンを押し、手順❷から操作してください。

■確認を終了するときは

元の画面 ボタンを押す

お願い

B-CASカードが挿入されていないとメールを受信することができません。
B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。

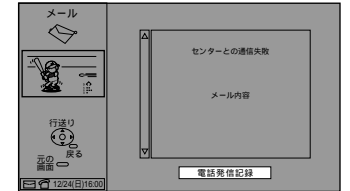
お知らせ

- メールの未読、既読についてはアイコンで表示されています。

未読メール　既読メール

- メールは24通（1つの放送局には最大13通）まで保存できます。合計で24通（または1つの放送局で13通）を超えるメールは古い順から自動的に削除されます。

電話回線の通信異常通知

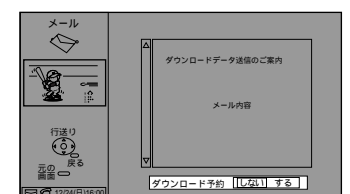
電話回線を使用した通信で異常があった場合に次のメールが届きます。

- 通信異常のメールが届いた場合は、電話回線の接続（☞C編：53ページ）、電話設定（☞C編：36～39ページ）を確認のうえ、正しく接続や設定を行ってください。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV（ペイ・パー・ビュー）の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 決定 ボタンを押すと「電話発信記録」画面が表示されます。（☞46ページ）

予約の警告、失敗の通知

予約が失敗した場合に次のメールが届きます。

- 決定 ボタンを押すと「予約一覧」画面が表示されます。（☞36ページ）

ダウンロードの通知

ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについてはC編：48ページをご覧ください。

ボードを見る

ボードとは110度CSデジタル放送のプラット・ワンとスカイパーフェクTV！2（予定：2002年1月現在）から送られるお知らせです。掲示板のようなものと考えて、定期的に確認するようにしてください。

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

i.LINKについて

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100 Mbps／200 Mbps／400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大200 Mbpsの転送が可能なため、S200と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続していくことができます。高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

■i.LINKの接続方法

- i.LINK対応機器の接続はi.LINKケーブルで接続します。最大17台まで接続することができます。ただし、本機で確認できるi.LINK対応機器は15台までです。

データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。
操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が
接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

- i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大63台まで接続することができます。

■本機で操作できるi.LINK対応機器は
本機では、当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーのうち同時に2台まで接続して、基本的な操作のみができます。
当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーでは、本機を使用してデジタル録画した衛星デジタル放送を再生し、本機で視聴することができます。
■i.LINK接続上のお願い

- 本機は最大転送速度が200 Mbpsのため、S200対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください。（☞C編：56ページ）
- i.LINK対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器のi.LINKケーブルを外したり、接続したり、電源のオン／オフは行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
- 接続が輪（ループ接続）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
- i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で電源オフ時のi.LINK制御の設定を切換えてきます。（☞C編：63ページ）
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。

i.LINK対応機器を操作する

本機のリモコンを利用してi.LINKに対応した当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作が行えます。
C編：56ページに記載のi.LINKの接続を行い、54ページ記載のi.LINK接続設定を確認のうえ、次の操作を行ってください。

操作画面の表示のさせかた

本機でi.LINK対応機器を操作するには、操作画面を表示させます。
表示された操作画面で▲▼◀▶ボタンと（決定）ボタンで操作できます。

リモコンの機器操作ボタンで操作画面を表示させる場合

❶ 何回か押して、操作したい機器のパネルを表示させる

例 D-VHSビデオデッキの場合

操作方法は52ページ参照ください

「機器操作」画面から操作画面を表示させる場合

❶ 押し、

機器操作 を選び、
中央の決定ボタンを押す

❷ 操作画面を表示させたい機器を選び、
中央の決定ボタンを押す

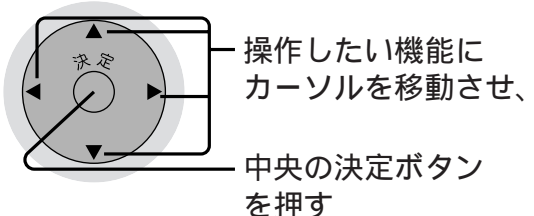
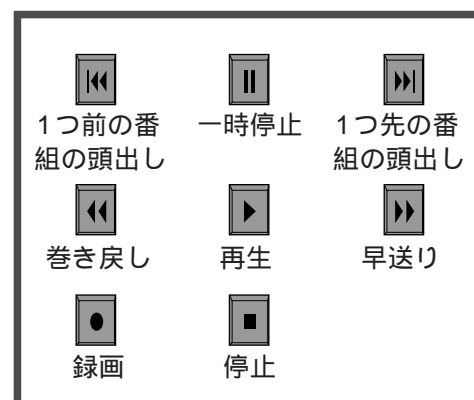
操作方法は52ページ参照ください

お知らせ

- i. LINK接続設定されていないと、i. LINK端子に接続されていても操作画面は表示されません。（☞54ページ）

D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー（HDR）を操作する

「D-VHS操作パネル」画面ではD-VHSビデオデッキ、「HDR操作パネル」画面ではハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作が行えます。

まず、 51ページの操作で操作画面を表示する。

衛星デジタル放送を録画するには

❶ 録画したい衛星デジタル放送画面にする

❷ 操作画面を表示させる

- 機器操作ボタンまたは機器ナビボタンで操作画面を表示させます。（☞51ページ）

❸ 録画する

- [●]（録画）を選んで、（決定）ボタンを押すと、録画が開始されます。

お知らせ

- 予約中の機器は操作パネルが表示できません。
- 1台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーが録画中の場合、もう1台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーの操作画面は表示できません。
- 操作する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 操作中は、本機の機能（チャンネル一覧など）が一部使用できなくなります。

お願い

- 大切な番組を録画する場合は、予約設定で録画予約をしてください。操作画面から録画を行うと、操作した画面が録画される場合があります。予約設定については、22ページをご覧ください。

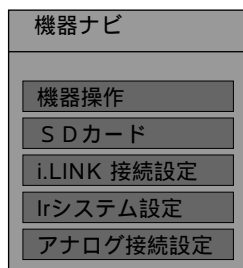
お知らせ

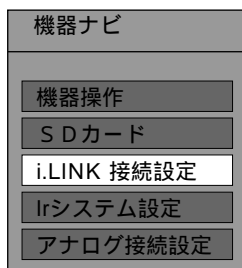
- 選択した録画モードの機能がないD-VHSビデオデッキの場合は、D-VHSビデオデッキに設定されている録画モードで録画されます。

i.LINK対応機器の確認、設定

本機でi.LINK対応機器の操作や予約録画を行うには、「i.LINK接続設定」で設定されている必要があります。本機で設定できるi.LINK対応機器はD-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー合わせて2台です。

❶ 機器ナビ 押し、「機器ナビ」画面を出す

機器ナビ
- 機器操作
- ＳＤカード
- i.LINK 接続設定
- Irシステム設定
- アナログ接続設定

❷ i.LINK接続設定 を選び、中央の決定ボタンを押す

機器ナビ
- 機器操作
- ＳＤカード
- i.LINK 接続設定
- Irシステム設定
- アナログ接続設定

❸ 接続しているi.LINK機器を確認する

機器名
i.LINK接続されている機器の名称を表示
D-VHSビデオデッキを接続している場合はD-VHS＋番号（接続した順番）が表示されます。ハードディスクビデオレコーダーを接続している場合はHDR＋番号（接続した順番）が表示されます。

メーカー名
i.LINK接続されている機器のメーカー名を表示
（本機で認識できない場合は「不明」と表示されます）

機種名
i.LINK接続されている機器の機種名を表示
（本機で認識できない場合は「不明」と表示されます）

接続状態
「オン」…… 電源オンの状態で接続されている
「オフ」…… i.LINKで制御できる電源オフの状態で接続されている
「未接続」… i.LINKで制御できない電源オフの状態で接続されている
または、一度接続されたが現在は接続されていない状態
「予約」…… 予約録画の待機状態で接続されている
「不明」…… 制御できない機器、または「使用」の項目が「しない」に設定されている機器

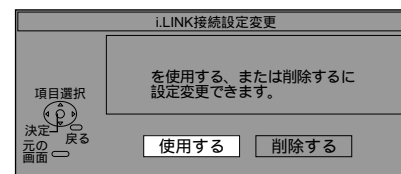
使用
「する」…… 本機で制御する設定
「しない」… 本機で制御しない設定
「不可」…… 本機で制御できない機器

■確認のみで終了するときは

元の画面 **ボタンを押す**

❹ 使用するi.LINK対応機器を設定または変更する場合

設定または変更したい機器を選び
中央の決定ボタンを押す

項目を選び
中央の決定ボタンを押す

使用する
本機で使用する設定に変更します。「使用しない」に設定されている場合にのみ表示されます。すでに合わせて2台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーが設定されている場合はさらに他の機器を「使用する」に設定変更することはできません。別の「使用する」に設定されている機器を「使用しない」に設定すると「使用する」に設定できます。

使用しない
本機で使用しない設定に変更します。「使用する」に設定されている場合にのみ表示されます。

削除する
この機器を「i.LINK接続設定」画面から削除できます。接続状態が「未接続」の場合にのみ表示されます。

● 戻る ボタンを押すと設定せずに「i.LINK接続一覧」画面に戻せます。

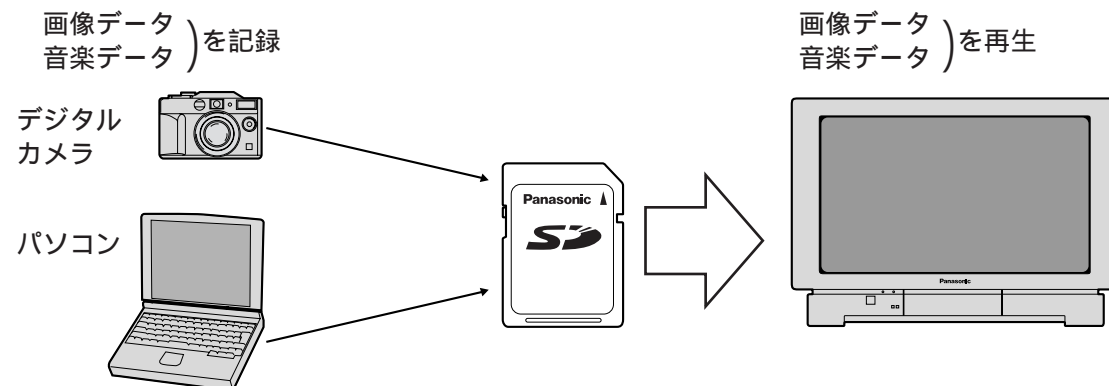
■確認のみで終了するときは

元の画面 **ボタンを押す**

● 「i.LINK接続設定」画面が消えます。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードは、「Secure Digital」の頭文字をとった名前で著作権保護機能を内蔵したメモリーカードです。24mm×32mm×2.1mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD（ミニディスク）やCD（コンパクトディスク）、カセットテープに替わる次世代の記録媒体です。

本機では、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで用意した画像データや、パソコンで編集した音楽データを再生することができます。（本機ではテレビの映像や音声を記録することはできません。）

■本機で再生できる画像データ、音楽データについて

再生できる画像データ
- ・DCF規格の画像データ
- ・SDメモリーカード対応の機器間データ転送用フォルダ「IMEXPORT」のExif2.1以上の画像データ
  ただし、ファイル名が日本語の場合は、表示できません。

再生できる音楽データ
- ・AAC方式の音楽データ
  ただし、サンプリング周波数がハーフレート（24kHz、22.05kHz、16kHz）のデータは再生できません。

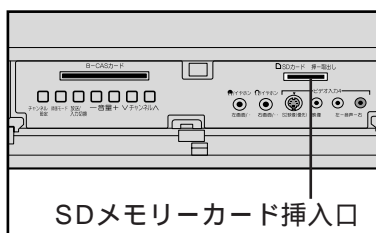
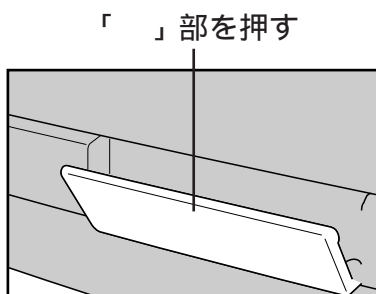
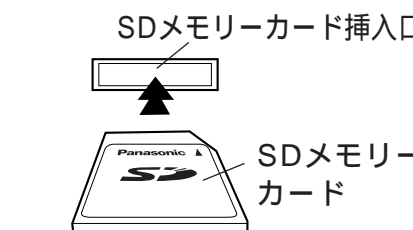
■SDメモリーカードの使用上のお願い

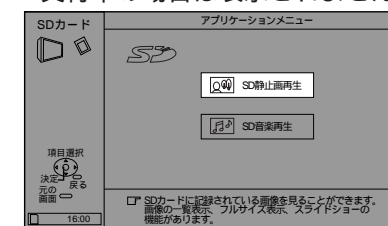
SDメモリーカード使用中（「SDカード」画面での操作中）は電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードのデータが破壊されることがあります。

DCF（Design rule for Camera File system）
デジタルカメラの統一フォーマットとしてJEITA（電子情報技術産業協会）によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。

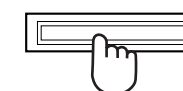
AAC（Advanced Audio Coding）
音声符号化の規格の一つです。
CD（コンパクトディスク）並みの音質の音楽データを約1／12にまで圧縮できます。

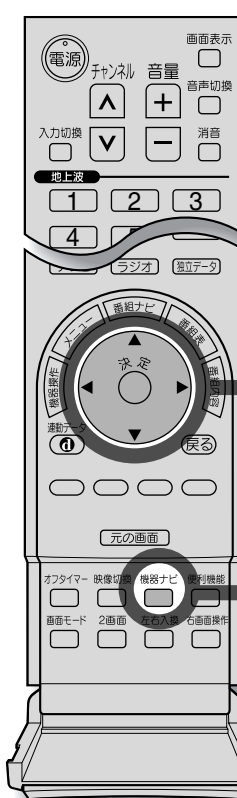
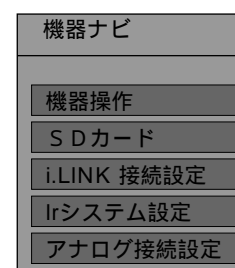
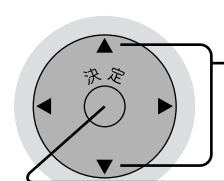
SDメモリーカードの入れかた

❶ 本機前面の扉を開ける

❷ SDメモリーカードを挿入する

- ● カードの表面を上にして、奥まで押し込んでください。
- ● 電源を入れたままSDメモリーカードを挿入すると「SDカード」画面が表示されます。ただし、予約実行中の場合は表示されません。

❸ 本機の前面扉を閉める

SDメモリーカードの抜きかた

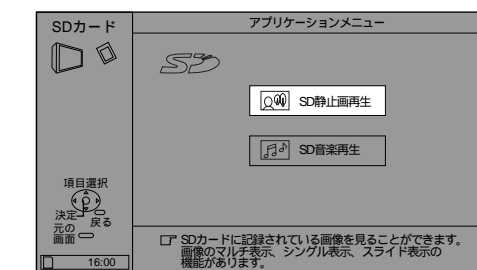
- ● 挿入されているSDメモリーカードを奥に押して指をはなせば出てきます

※必ず「SDカード」画面を消してから抜いてください。
読み込み中に抜くとデータが破壊されることがあります。

「機器ナビ」画面から「SDカード」画面を表示させる

❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷ 押して、「SDカード」を選び、中央の決定ボタンを押す

SDメモリーカードの

画像を見る

まず、57ページの操作で「SDカード」画面にする。

押して、
「SD静止画再生」
を選び、
決定する

「SDカード」画面

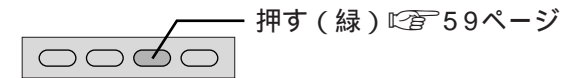
「SD静止画再生（マルチ表示）」画面

画像を見るには、3つの方法があります

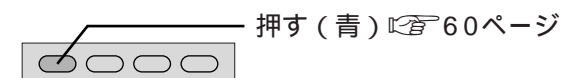
「SD静止画再生」画面を表示させた状態で、操作します。

マルチ表示

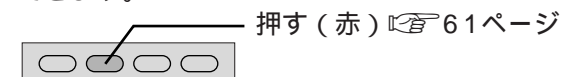
画面に最大9個の縮小画像を表示させて見ることができます。

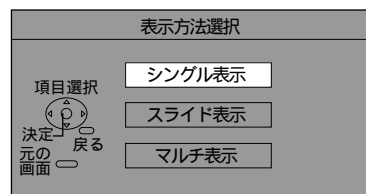
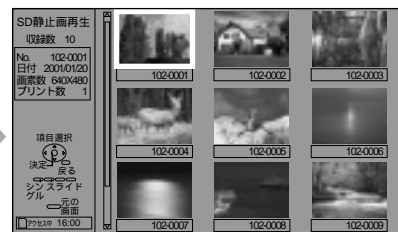
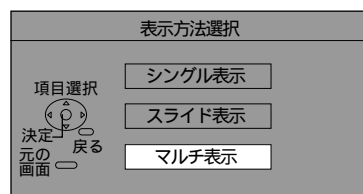
押す（緑）☞59ページ

シングル表示

1つの画像ずつ、画面に大きく表示させて見ることができます。

押す（青）☞60ページ

スライド表示

連続して画像を表示させて見ることができます。

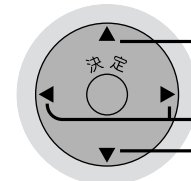
押す（赤）☞61ページ

「マルチ表示」「シングル表示」「スライド表示」は、「表示方法選択」画面からも切換えできます。

❶ 「SD静止画再生」画面を表示中に 決定 ボタンを押す

❷ ▲▼ボタンで項目を選び、決定 ボタンを押す

お知らせ

- 緑、青、赤ボタンは、「マルチ表示」画面、「シングル表示」画面、「スライド表示」画面で使用できます。
  「番組表」画面など別の画面では、ボタン機能が変わります。

SDメモリーカードの

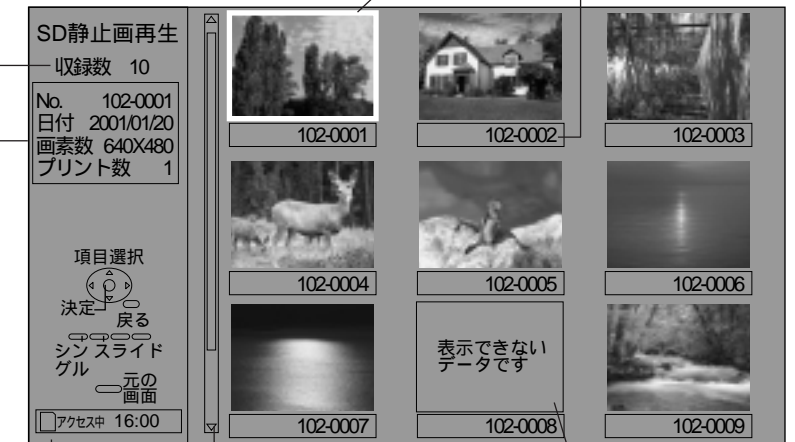
画像を見る（マルチ表示）

SDメモリーカードに入っている画像データを一度に最大9個の縮小画像で表示させることができます。
また各画像の日付や画素数などの確認も行うことができます。

カーソルを移動させて、
画像を確認する

収録数
SDメモリーカードに記録されている画像の総枚数表示

カーソル　画像番号

SD静止画再生
収録数 10
No. 102-0001
日付 2001/01/20
画素数 640X480
プリント数 1
項目選択
決定
戻る
シングル スライド
元の画面
アクセス中 16:00
表示できないデータです

黄色の△▽マークを表示します。10枚以上の画像があるとき、▲▼ボタンで表示送りをして確認してください。

エラー表示
画像データが読み込めないなど小画像が表示できない場合に表示されます。

アクセス中表示
SDメモリーカードの読み込み中は「□ アクセス中」が表示されます。このときにSDメモリーカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

画像情報（カーソル位置の画像）

- No.……………………画像番号（ファイル名）
- 日付 ……………画像がSDメモリーカードに書き込まれた日付
- 画素数 …………画像の実際の画素数（横×縦）
- プリント枚数 …「ラボ・プリントサービス」などにプリントしてもらう枚数表示。本機では枚数の変更はできません。すでに設定されている枚数を表示します。

※画像データが読み込めないなど主画像が表示できない場合は、エラー表示されます。

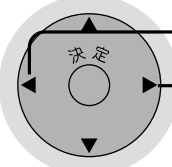
お知らせ

- 元の画面 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。
- サムネイル（小画像データ）のない場合は、マルチ表示できません。

SDメモリーカードの
画像を見る（シングル表示）

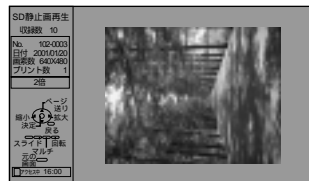
SDメモリーカードに入っている画像を1つずつ大きく表示させて見ることができます。横に向いた画像や上下反転した画像を回転させたり、拡大、縮小させることができます。

まず、57、58ページの操作で「シングル表示」画面にする。

「SD静止画再生（シングル表示）」画面

画像を拡大、縮小させる

●「2倍」、「原寸」、「1／2倍」の切換えができます。

画像を回転させる

黄色ボタンを押す

●黄色ボタンを押すごとに、時計回りに90度ずつ回転します。

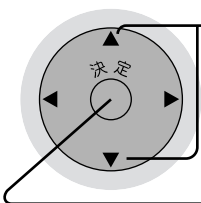
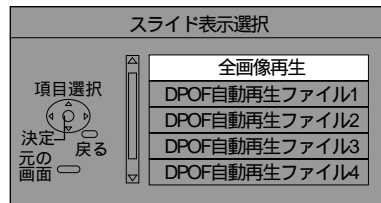
お知らせ

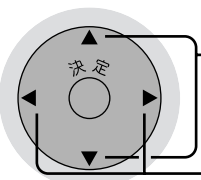
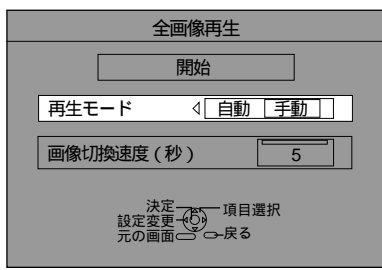
元の画面 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。

SDメモリーカードの
画像を見る（スライド表示）

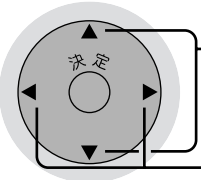
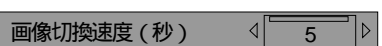
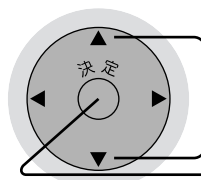
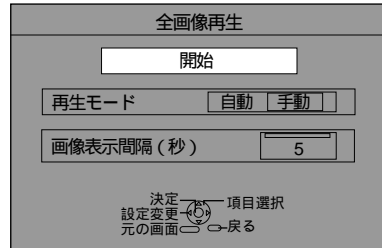
SDメモリーカードに入っている画像を連続して見ることができます。

まず、57、58ページの操作で「スライド表示」画面にする。

1 SDメモリーカードに「DPOF自動再生ファイル*」が入っていない場合は、下記の画面は表示されません。手順**2**を行ってください。

●「全画像再生」を選ぶとすべての画像を「マルチ表示」画面の順番に表示されます。
●「DPOF自動再生ファイル」が5個以上あるとき、黄色の△▽マークを表示します。▲▼ボタンで表示送りをしてください。

2

押して、「再生モード」を選び、切換える

手動 …リモコンの▲▼ボタンを押すごとに画像が切換わる設定になります。

自動 …設定した時間間隔で自動的に画像が切換わります。画像表示間隔を下記の手順で変更することができます。

3

スライド表示が始まります

●「再生モード」を「手動」に設定した場合は、▲▼ボタンで画像を切換えてください。

スライド表示を止めるには

● 決定ボタンを押して、「表示方法選択」画面を表示させます。
（☞58ページ）
この場合、「スライド表示」を選ぶか、戻るボタンで、スライド表示の再開ができます。

＊DPOF自動再生ファイルとは
●スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。

お知らせ
●横に向いた画像は、「シングル」画面で、画像を回転させると、正常に表示させることができ、その設定でスライド表示されます。
● 元の画面 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。

SDメモリーカードの
音楽を聴く
SDメモリーカードに入っている音楽を再生することができます。

まず、57ページの操作で「SDカード」画面にする。

聴きたい曲を選んで再生する

❸

再生が始まり、手順❶の画面が表示されます。

プレイリストファイルとは
- 再生する曲と順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。

お知らせ
- 戻る ボタンで1つ前の画面に戻すことができます。また、元の画面 ボタンで「SD音楽再生」画面を消すことができます。
- 画面上に表示しきれない曲やファイルがあるとき、黄色の△▽マークを表示します。
▲▼ボタンで表示送りをして確認してください。

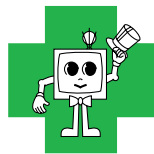
付属品

設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。（　）は個数です。

□リモコン ……………………（1）	□単4形乾電池 ………………（2）	□アンテナプラグ ……………（1）
□転倒防止部品 ………………（1）	□Irシステムケーブル ………（1） 両面テープ ……………………（1）	□B-CAS（ビーキャス）カード……………（1）
□モジュラーケーブル ………（1） （10m）	□モジュラー分配器 …………（1） （2分配用）	

愛情点検 長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

このような症状はありませんか	ご使用中止
●電源スイッチをいれても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品　番	TH-
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　　）　－

ID番号	
A編：7ページに記載の「インフォメーション」画面の「B-CASカード」、「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号） デコーダーID

廃棄時にご注意願います！ 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管方式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に引き渡すことが求められています。

S0202-0A

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部

〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

Panasonic　BSデジタルハイビジョンテレビ　取扱説明書（テレビの使い方）

Panasonic

BSデジタルハイビジョンテレビ 取扱説明書

品番 TH-36D20（36型）
TH-32D20（32型）
TH-28D20（28型）

110度CSデジタル対応

B編 Basic

テレビの使い方

ふだんテレビをご覧になるときの説明です

上手に使って上手に節電

保証書別添付

- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- この取扱説明書は、36型（TH-36D20）と32型（TH-32D20）と28型（TH-28D20）共用です。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

TQBA0282

もくじ

●このたびは、パナソニック BSデジタルハイビジョンテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「衛星デジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用のまえに、4～7ページの安全上のご注意を必ずお読みください。
●説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。

テレビの使い方（B編）

Basicの「B」です
読む順番を意味するものではありません。

■ふつうのテレビとして使いたい
■画質や音質を調整したい
■タイマーで電源を切りたい
■2画面の機能を使いたい
■ワイド画面の使い方が知りたい
■思い通りにならないとき／故障かな？と思うとき

設置／接続と設定（C編）

Connectionの「C」です
読む順番を意味するものではありません。

■はじめて本機を設置するとき
■外部機器を接続したい
■設置場所を変えたい
■各種の設定を変更したい

衛星デジタルの応用／機器操作（A編）

Applicationの「A」です
読む順番を意味するものではありません。

■番組表を見たい
■番組を予約したい
■番組を検索したい
■有料番組が見たい
■視聴条件の設定について
■i.LINKについて
■D-VHSビデオデッキを使いたい

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	説明
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	説明
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！

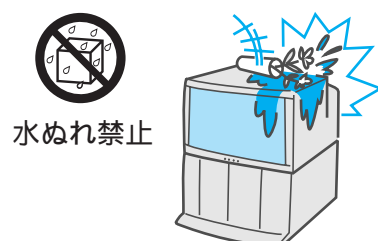
電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などが入ったり、テレビを落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

■上に水などの入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

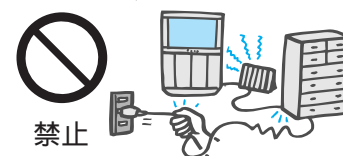
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器。）

● 表紙および4ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

警告

電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

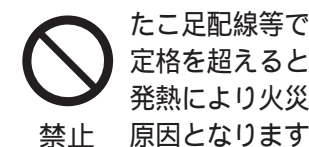
禁止

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたりねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

●電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■電源プラグにほこりが付着しないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

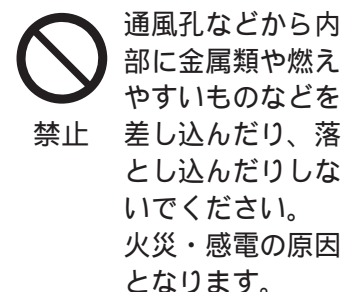
■異物を入れないでください

禁止

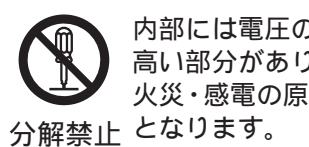
通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビには触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造しないでください

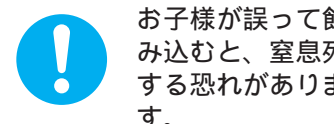
分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

高圧注意
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■デジタル音声出力（光）端子のカバーは幼児の手の届かないところへ保管してください

お子様が誤って飲み込むと、窒息死する恐れがあります。

●万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
●特に小さなお子様はご注意ください。

■ぬらしたりしないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

■不安定な場所に置かないでください

禁止

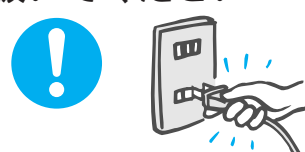
ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱったり、はさみやペンチで切ったりしないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■テレビの通風孔をふさがないでください

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。
- 壁から10cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

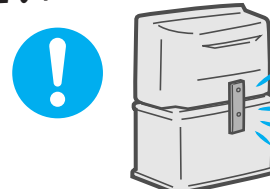
禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■テレビに付属している転倒防止具を利用し、テレビを固定してください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。
- 転倒防止はC編：5ページを参照。

■キャスター(車)付テレビ台に設置する場合は、キャスター(車)止めをしてください

動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

⚠注意

■上に重い物を置かないでください

禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■移動させる場合は、接続線をはずしてください

コードやテレビが損傷し、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグやアンテナ線、電話線、機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 開梱や持ち運びは２人以上で行ってください。
- テレビに衝撃を与えないでください。

■テレビに乗らないでください

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■設置場所を変えるためにテレビを運ぶ際は、前面の底面部を持たないでください

指に注意

指づめの原因となることがあります。

■電池を入れるときには、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。
- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS・CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

ふつうのテレビとして楽しむ

操作方法はこの冊子をご覧ください

- 今までお使い慣れたテレビと同様の操作で、地上波放送がご覧になれます。
- 衛星デジタル放送をふつうにご覧になりたいときも、今までのテレビに近い感覚でご覧になれます。
- 目的に応じた2画面機能でご覧になれます。

＜視聴可能な2画面の組み合わせ一覧表＞

		右画面			
		地上放送	ビデオ入力（1～4）	色差入力（1、2）	BSデジタルまたはi.LINK接続機器
左画面	地上放送	○※1	○	○	○
	ビデオ入力（1～4）	○	○※2	○	○
	色差入力（1、2）	○	○	○※3	○
	BSデジタルまたはi.LINK接続機器	○	○	○	×

※1　右・左共、同じチャンネルは見られません。
※2　右・左共、同じビデオ入力は見られません。
※3　右・左共、同じ色差入力は見られません。

- 一般的な画質調整機能に加え、さらに細かな調整が可能です。
- 豊富な音声調整機能により、音楽好きな方からちょっと聞きづらいと思われるお年寄りの方まで、お好みの調整が可能です。
- むだな明るさをおさえることで消費電力をひかえめにする機能や、「オフタイマー」、「無操作自動オフ」、「無信号自動オフ」などの省エネに役立つ設定ができます。

最新のデジタル端子対応機器を接続して楽しむ

接続方法はこの冊子をご覧ください
※接続機器の取扱説明書もご覧ください

■ D端子を装備

本機は、D4映像入力端子を装備しています。コンポーネントビデオ出力端子付きの機器を接続すると、高画質な映像をお楽しみいただけます。

D端子の種類と対応できる映像信号

端子＼信号	525i（480i）	525p（480p）	1125i（1080i）	750p（720p）
D1	○	×	×	×
D2	○	○	×	×
D3	○	○	○	×
D4	○	○	○	○

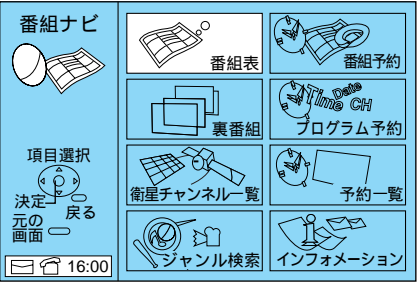
■ i.LINK端子を装備

i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーを接続すると、本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
また、D-VHSビデオデッキなどへの録画予約が簡単に行えます。

■ AAC5.1チャンネル出力可能な光デジタル音声出力端子を装備

光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器と接続して、高品位の音声がお楽しみいただけます。また本機は衛星デジタル放送の音声（AACフォーマット）をそのまま出力することもできます。
さらに、本機はAACデコーダーを内蔵しているため、マルチステレオ放送の番組では、5.1チャンネル音声入力端子付きAVアンプに接続するだけでも臨場感のある音声をお楽しみいただけます。

衛星デジタル放送や番組録画、i.LINK対応機器、SDメモリーカードに関連する色々な機能を楽しむ

操作方法はこの冊子をご覧ください

各選択画面（番組ナビや番組表など）では、▲▼◀▶ボタンで項目を選び、決定ボタンを押すことにより、ご希望の画面に切換わります。

■ 衛星デジタルハイビジョン放送に対応

本機は、衛星デジタルハイビジョン放送に対応しています。また、衛星デジタル放送で放送される衛星テレビ放送や、衛星データ放送、衛星ラジオ放送などのサービスにも対応しています。

■ EPG（電子番組ガイド）機能

衛星デジタル放送の番組表を新聞のテレビ欄のように最大8日間まで表示できます。また、チャンネル一覧やジャンル別に表示できる機能もあり簡単に選局できます。

■ 視聴制限設定機能

視聴年齢制限付き番組に対する視聴可能年齢の設定とPPV（ペイ・パー・ビュー）などで一度に購入できる上限金額の設定ができます。

■ 字幕表示機能

字幕付きの番組を選局した場合は、字幕の表示ができます。

■ i.LINK

当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーを接続すれば、本機のリモコンで基本的な操作ができます。

■ アイコン情報（シンボルマークによる情報）表示

番組の視聴制限や信号の種類、予約内容、メールの有無など各画面において有効なアイコンが表示されます。

■ Irシステム

付属のIrシステムケーブルを使用すると、ビデオデッキなどへの録画予約が簡単にできます。Irシステムに対応できる機器についてはC編：54ページをご覧ください。

■ ダウンロード機能

衛星から送られてくるダウンロードデータを本機に取り込む機能があります。

■ SDメモリーカード

SDメモリーカードにあらかじめ入っている画像データを見たり、音楽データを聞くことができます。

リモコン各部のはたらき

リモコン操作表示ランプ
リモコンボタンを押すと点滅します。
電池が消耗すると暗くなります。（電池交換の目安に）

地上波放送のチャンネルを直接選ぶ

衛星デジタル放送の「プリセット選局」や「番号入力選局」などの数字入力に使用します。

お好み選局の画面を呼び出したり「暗証番号」や「郵便番号設定」で入力した数字の最後の桁を1つずつ消すことができます。

衛星デジタル放送を「番号入力選局」するとき

衛星デジタルのデータ放送で、画面に指示がある場合に使用します。

メニュー画面を出す

衛星デジタル放送のとき、各機能の操作用

衛星デジタル放送のとき、番組表を表示する

現在選局中または選択中の衛星デジタル放送の「番組内容」画面を表示

各種選択や調整項目を決定する

各種の選択や調整・設定などで、1つ前の画面に戻りたいとき

画面で確認しながら、各種の選択や調整・設定に使う

衛星テレビ放送や衛星ラジオ放送に付加して放送されるデータ放送画面を表示する

i.LINK接続した当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーの操作パネルを表示する

テレビ本体の電源が「入」状態で、
電源を「入」・「切」する

受信チャンネルや番組の情報、各種設定内容などを確かめる

2ヵ国語（二重）放送の副音声を聞きたいとき

音を消す

音量を調整する

チャンネルを順々に選ぶ

ビデオなどを見るとき

地上波、BSデジタル、110度CSデジタル1、110度CSデジタル2の切換えに使用します。

衛星デジタル放送のサービスを切り換えるときに使用します。
（選局チャンネルは各サービスごとに記憶します。）

緑色ボタン
黄色ボタン
赤色ボタン
青色ボタン

「番組表」画面などで番組表を表示させる日付の切換えや、衛星データ放送時、画面に各色ボタンが使用できる表示があるときなどに使用できます。

地上波放送のとき（または、2画面で左画面が地上波放送のとき）
- 2画面やメニュー表示などの状態から、地上波放送の1画面に戻ります。

衛星デジタル放送のとき（または、2画面で左画面が衛星デジタル放送のとき）
- 2画面やメニュー表示、番組表などの状態から、衛星デジタル放送の1画面に戻ります。

タイマーで自動的に電源を切る

衛星デジタル放送で複数の映像がある番組や、マルチビュー放送の場合に、他の映像に切換えることができます。

本機に接続した機器の操作や設定をする

オフタイマー　映像切換　機器ナビ　便利機能
画面モード　2画面　左右入換　右画面操作

便利機能が使える画面で押せば、画面に関連した便利なメニューが表示されます。（☞13ページ）

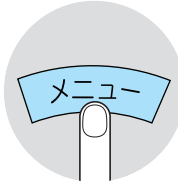
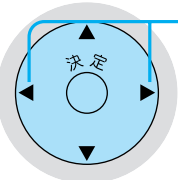
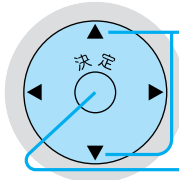
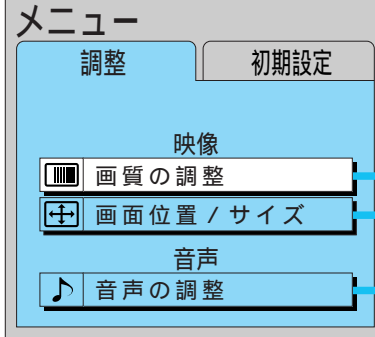
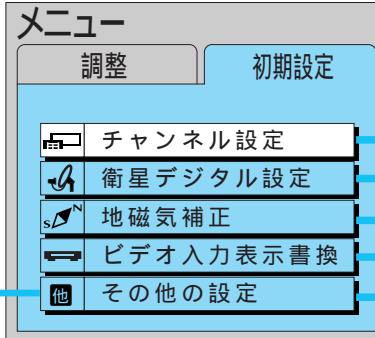
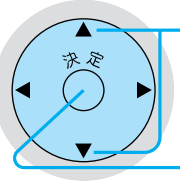
2画面の右画面操作のとき

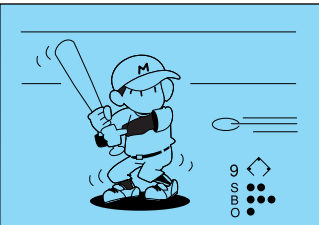
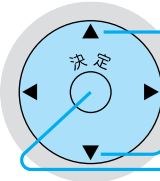
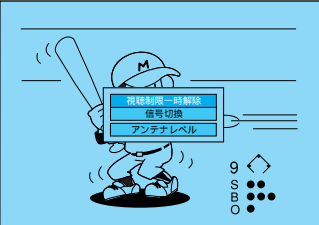
2画面を左右入れ換える（チャンネルや音量など）

2画面で見る

拡大画面の種類を選ぶ

メニューボタンについて

本機の各種調整や設定機能は全てメニューボタンで操作できます。メニュー画面は「調整」メニュー、「初期設定」メニューの2枚構成です。

便利機能マーク（便利機能）について

この説明書で 便利機能 マークを付けている所は、この画面で 便利機能 ボタンを押せば、便利機能メニューが表示されます。
便利機能メニューはボタンを押した画面から便利なメニューが表示されます。

番組視聴中の場合

● 便利機能メニューの中には◀▶ボタンで切換える項目もあります。

お知らせ

● 便利機能メニューを消したいときは、再度 便利機能 ボタンを押します。

お願い

● 便利機能メニューはさまざまな画面から利用できますが、この説明書に記載の操作方法を十分に習得してから便利機能メニューを活用してください。

本体操作部・前面端子部について

前面扉の開けかた

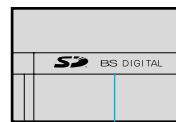
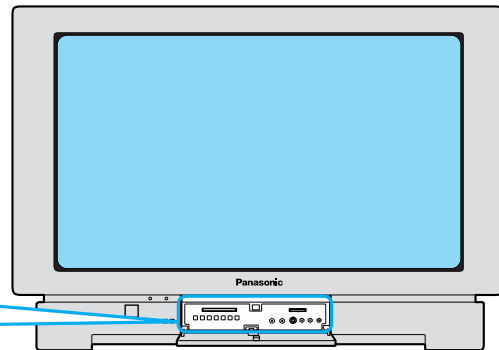
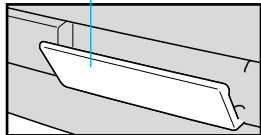
開けかた

「△」部を押します。

操作部

■電源ランプについて
リモコンで電源を切る ……赤色
- 予約録画が実行されているとき（☞A編：22、30ページ）
- i.LINK待機を「する」にしているとき（☞C編：63ページ） ……橙色

リモコンで電源を入れる ……緑色

■回線使用中ランプについて
電話回線に接続時 ……赤色
（本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。）

BSデジタル受信表示
- BS放送受信中に点灯します。点灯させたくないときは設定で消すこともできます。（☞C編：31ページ）

電源‐赤／機能待機‐橙／○受像‐緑 ○回線使用中

電源を「入」・「切」する
（「入」でリモコンが操作できます。）

リモコン受光部

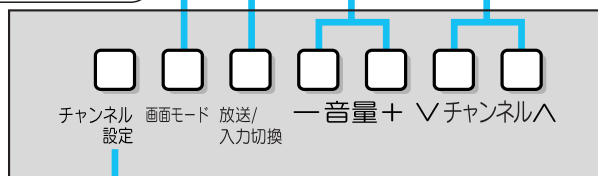
明るさセンサー（受光部）
（映像メニュー（オート）にしたとき、まわりの明るさに応じて見やすい映像に自動調整するための受光部）

拡大画面で楽しむ（☞33ページ）

接続した機器の映像を見る（☞20ページ）

音量を調整する

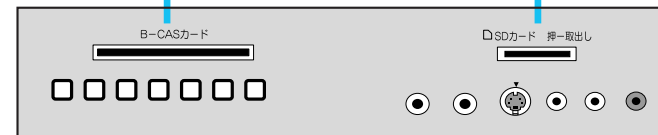
チャンネルを順々に選ぶ

チャンネル設定　画面モード　放送/入力切換　－音量＋　∨チャンネル∧

次の各設定ができます。
- 地上放送のチャンネル設定（☞C編：8ページ）
- 衛星アンテナ電源設定（☞C編：44ページ）
- 地磁気補正（☞C編：21ページ）
- ビデオ入力表示書換（☞C編：26ページ）
- 「その他の設定」メニューの各種設定

カード挿入部

B-CASカード挿入口
付属のB-CASカードを挿入します。

ご注意
- B-CASカードを挿入前に必ず本機の電源を「切」にし、C編：52ページをよくお読みのうえお取り扱いください。
- カードの挿入前に、この取扱説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。

SDメモリーカード挿入口
別売のSDメモリーカード挿入口です。
（☞26ページ、A編：57ページ）

前面端子部

スピーカーの音が消えます。

スピーカーの音も出ます。

M3プラグ専用

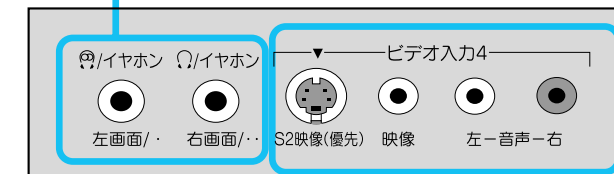
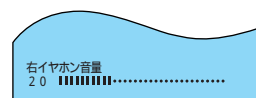
ヘッドホン（ステレオ）　または　イヤホン（モノラル）

イヤホンの場合は2ヵ国語（二重）放送で、「主＋副」を選ぶと「主」音声が聞こえます。
（右画面／●●は合成された音声が聞こえます。）

※接続するヘッドホン／イヤホンにより音量・音質に差があります。

「右画面／●●」側の端子について
- 1画面のときは単独で音量調整ができます。
- 2画面のときは右画面の音声になり、単独で音量調整ができます。

1.「右画面操作」を押して、すぐに

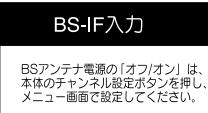
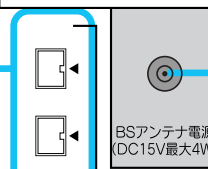
2.音量を調整します。

ビデオカメラやテレビゲーム機を接続（ビデオ入力4）
（☞19、20ページ）

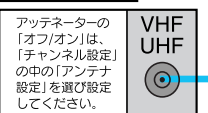
お知らせ
- 電源を「切」・「入」しても音量は記憶します。
- 電源ランプが赤色のときでも、自動的に衛星デジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信も行います。（通常、深夜から早朝）この場合は一時的に電源ランプが橙色に点灯します。

お知らせ
- 操作できなくなった場合は…
  受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、本体の電源ボタンで、一度電源を切り、再度入れてください。

本体背面端子部について

背面端子部

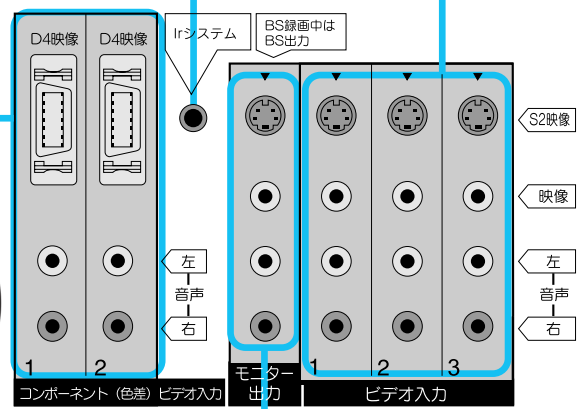
デジタル音声出力（光）端子
（☞C編：57ページ）
デジタル音声の光出力端子です。
（使用する場合はカバーを外して光角型端子用ケーブル（別売）を接続してください。）

回線接続端子（☞C編：53ページ）
電話回線を接続する端子です。

衛星アンテナ線を接続
（☞C編：50、51ページ）

i.LINK端子
i.LINK対応機器を接続する端子です。
本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキとハードディスクビデオレコーダーです。
S200は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約200Mbpsのデータ転送が行えます。（☞A編：50ページ）

VHFまたはUHFアンテナ線を接続
（☞C編：50、51ページ）

接続端子の形状
- M3ジャック ………ヘッドホン／イヤホン、Irシステムの各端子
- ピンジャック ……モニター出力、ビデオ入力の各映像、音声端子とコンポーネント（色差）ビデオ入力の音声端子
- S映像 …………………モニター出力、ビデオ入力のS2映像の端子
- F型接栓 ……………BS-IF入力、VHF／UHF入力の各端子
- D4映像 ……………コンポーネント（色差）ビデオ入力1・2の各端子

Irシステム端子
付属のIrシステムケーブルユニットを接続するとビデオデッキに対し、録画するためのリモコン信号が出力できる端子です。使用できるビデオデッキメーカーについてはC編：54ページをご覧ください。

ビデオなどの映像機器を接続
（☞C編：55ページ）

D4映像端子について
D1映像、D2映像、D3映像、D4映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
（D4映像端子は750p（720p）、1125i（1080i）、525p（480p）、525i（480i）の各信号に対応しています。）

本機で受信できるテレビ放送と、ビデオ入力1～4やi.LINK端子に接続した各機器の映像と音声およびコンポーネント（色差）ビデオ入力1～2の音声の信号を出力します。ただしご希望の入力をモニター出力させない設定ができます。（☞C編：22ページ）

- コンポーネント（色差）ビデオ入力1～2の映像信号は出力しません。
- 予約録画中は、その予約録画のチャンネルの映像・音声を出力します。
- 「S2映像」端子はビデオ入力1～4の「S2映像」に入力した信号や、衛星デジタル放送の信号を出力します。

●コンポーネント（色差）ビデオ入力の接続について

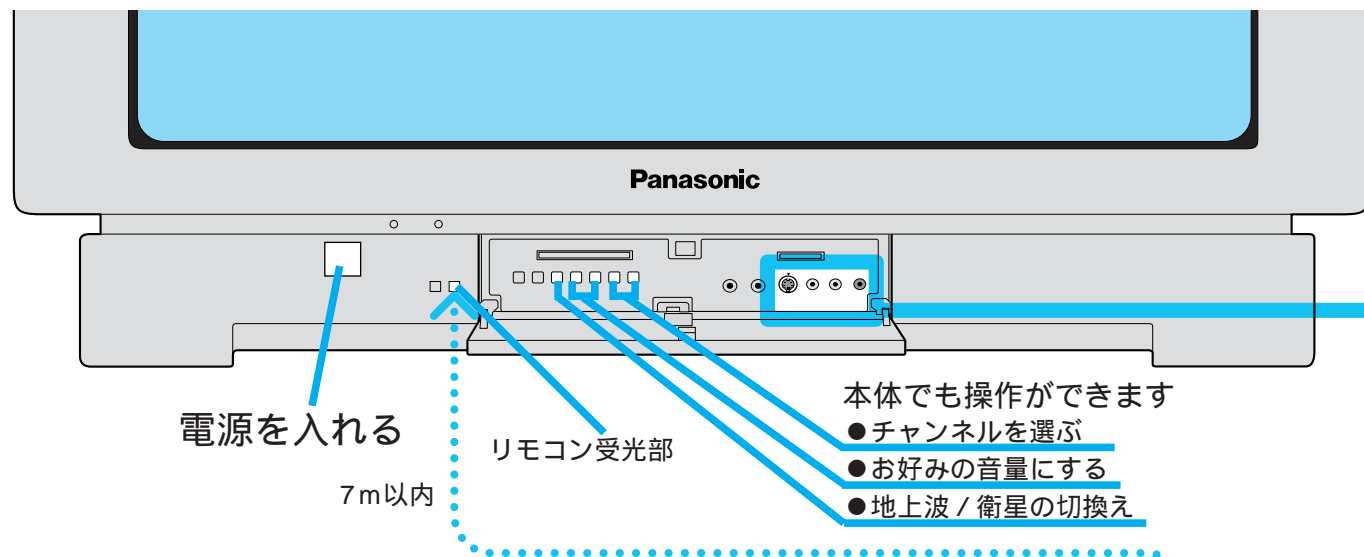
色同士の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号（緑系は3つの信号から自動算出）に分け、それぞれの専用回路で信号処理後、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみになれます。

お知らせ

コンポーネント（色差）ビデオ入力について
- 入力信号は750p（720p）、1125i（1080i）、525p（480p）、525i（480i）の各信号に対応しています。
- 525i（480i）信号は、機器によって、「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」、「Y、B-Y、R-Y」と表示されています。
- 接続する各機器の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

- **S2映像端子の機能について**
  S映像、S1映像にも対応します。（音声コードは同時に接続してください。）
  （S映像……良い画質を得るため映像信号を輝度信号と色信号に分離したもの。
  S1映像 …S映像の機能に加え、ワイドテレビ対応ビデオなどからの縦長映像は「フル」画面になります。
  S2映像 …S映像とS1映像機能に加え、ワイドクリアビジョン映像の場合は「ワイド」画面になります。）
- **接続端子の優先について**
  「S2映像」と「映像」端子は「S2映像」が優先します。（同時接続時）
- **ID-1検出機能について**
  ビデオ入力1～4の「映像」端子やS2映像端子、およびコンポーネント（色差）ビデオ入力（525i又は525p信号）にID-1対応機器を接続したとき、ID-1検出が働くと、縦長映像は「フル」画面に、横長映像は「ワイド」画面になります。

地上放送（VHF／UHF）を楽しむ

1
押して、
テレビをつける

2 見たいチャンネルを選ぶ

3 押して、
お好みの音量にする

お知らせ

- ●電源を切っても…
  チャンネルや音量などは記憶されます。
- ●音量を下げると…
  消費電力や音のひずみが少なくなります。
- ●地上波受信中にチャンネル ∧ ∨ ボタンを押すと…
  地上波チャンネルを順送り選局します。

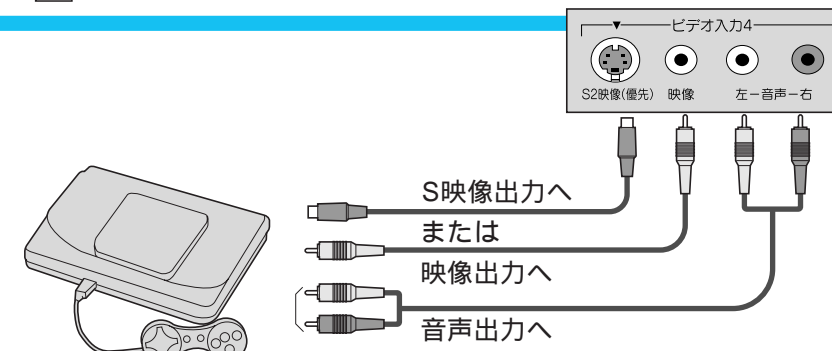
ゲーム機はゲームモードで楽しもう

まず、お確かめください

1 ゲーム機を接続する

例 テレビゲームを前面の ビデオ入力4 端子で使う場合

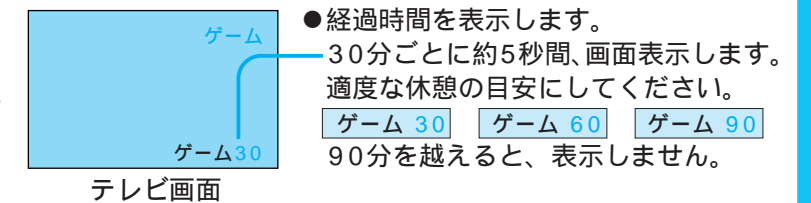
2 ビデオ入力の表示を書換える

C編

この冊子（C編）の
26ページの手順で
設定してください。

ゲーム機を楽しむ

1
押して、
「ゲーム」にする

テレビ画面

●経過時間を表示します。
30分ごとに約5秒間、画面表示します。
適度な休憩の目安にしてください。
ゲーム 30 → ゲーム 60 → ゲーム 90
90分を越えると、表示しません。

2 ゲーム機を操作する

■ ゲームを終了するときは
入力切換やチャンネルを切換えるとゲームモードが終了します。

お知らせ

- ●ゲームモードは電源を「切」「入」しても記憶します。
- ●ゲーム画面にすると…
  映像は「映像メニュー（ゲーム）」に、音声も「音声メニュー（ゲーム）」になります。
- ●映像や音声を変えられます。
  お好みの状態に変えたいときは37、43ページを参照してください。

参考（工場出荷時の状態）

項目	内容
映像メニュー	ゲーム
サラウンド	ワイド
画面モード	フル

ビデオなどの外部機器を楽しむ

まず、接続を確認する

背面 端子へ接続できます。詳しくは、C編を参照ください。

ビデオカメラは前面の ビデオ入力4 端子をおすすめします。

1 テレビをつける

2 押すごとに切換わります。

テレビ放送 → D-VHS※ または HDR※ → D-VHS※ または HDR※ → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → 色差ビデオ1 → 色差ビデオ2 → テレビ放送

接続していない入力先には切換わりません。（入力スキップ機能）
● 接続していない入力先も切換えるときは（☞C編：29ページ）

3 接続機器を操作します。

※は、現在選択されているi.LINK接続機器の番号が表示されます。（☞A編：54ページ）

お知らせ

- S映像をS2端子に入力した場合は、「S-ビデオ」の表示をします。
- 接続に合わせてビデオ入力やコンポーネント（色差）ビデオ入力の表示を書換えることができます。（☞C編：26ページ）
- 本体の放送／入力切換ボタン操作時は テレビ放送 が「地上波」→「BS」→「CS1」→「CS2」の順に切換わります。

D-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を楽しむ

画面上に操作パネルを表示し、本機のリモコンで、D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作ができます。（当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーのみ）

D-VHSビデオデッキなど

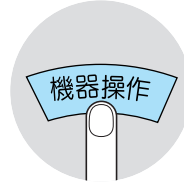
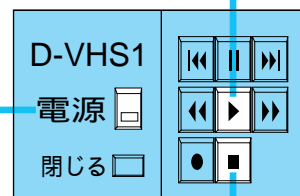
背面 端子へ接続できます。詳しくは、C編を参照ください。

1 押して、テレビをつける

2 何回か押して、操作したい機器のパネルを表示させる

再生する

D-VHSの電源を「入」「切」する

D-VHS1	
電源	
閉じる	

停止する

例 D-VHSビデオデッキの場合

■機器操作パネルを消したいときは

パネル内の「閉じる」ボタンを押す

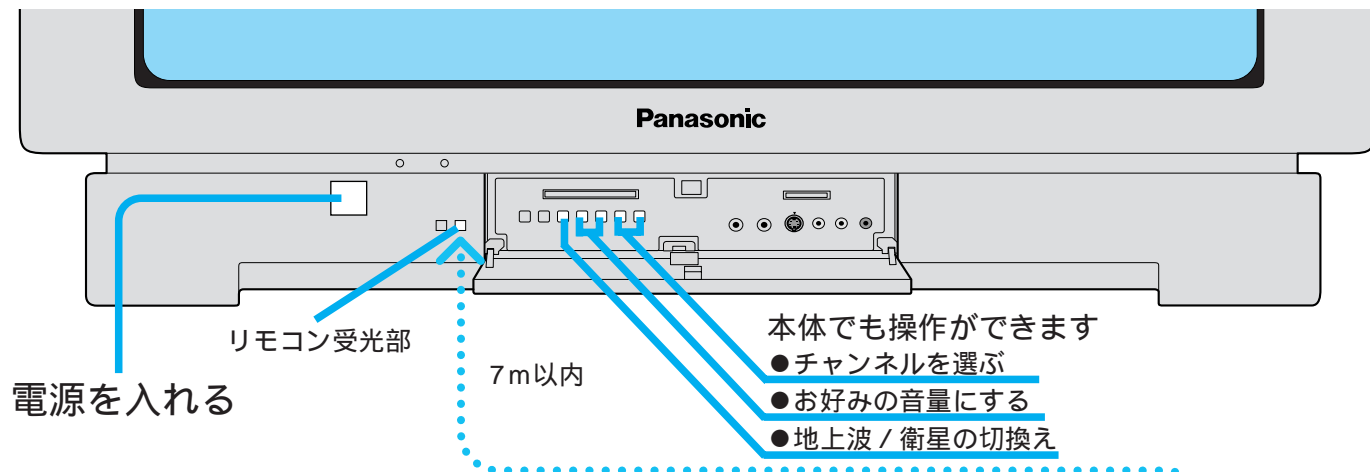
機器操作パネルのさらに詳しい説明は

A編

この冊子（A編）の52ページをご覧ください。

お知らせ

- D-VHSビデオデッキやハードディスクレコーダーを、機器操作パネルで操作する場合、i.LINK端子への接続と（☞C編：56ページ）、i.LINK接続設定（☞A編：54ページ）が必要です。

衛星(BS/110度CS)デジタル放送を楽しむ

プリセット選局

本機では、あらかじめ ① ～ ⓪ ボタンにチャンネルを設定(プリセット)しています。
直接 ① ～ ⓪ ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

例 ① に設定されているBSデジタルのNHK(BS1)を選局する場合

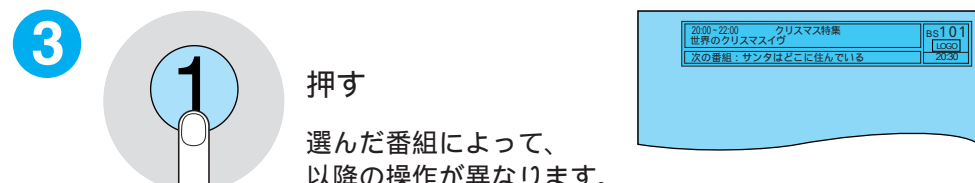
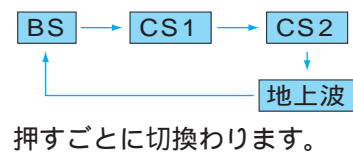
押して、
テレビをつける

押して、
放送を「BS」に
切換える

押すごとに切換わります。

押す

選んだ番組によって、
以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき(☞A編:20ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき
(☞A編:37ページ参照)

押して、
お好みの音量にする

お知らせ
- プリセットされているチャンネルは変更ができます。(☞C編:42ページ参照)

110度CSデジタル放送について

通信衛星(Communication Satellite)を使って行う放送で、ニュース・映画・スポーツ・音楽などの専門チャンネルをメインにした放送です。

<お問い合わせ先>

プラットワン・カスタマーセンター
0570−001−012(ナビダイヤル)
(携帯電話・PHSからはご利用になれません。)
受付時間 10:00～20:00(年中無休)

スカイパーフェクTV!2(予定)カスタマーセンター
(2002年4月1日より)
0570−088−222(ナビダイヤル)
(または、045−339−0002)
受付時間 10:00～20:00(年中無休)

順送りして選ぶ(アップダウン選局)

衛星デジタル受信中にチャンネル∧∨ボタンを押すと衛星チャンネルを順送りします。
(BSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2はCS2だけで順送りします。)

選んだチャンネルで放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき(☞A編:20ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき(☞A編:37ページ)

工場出荷時のプリセット設定(放送局名は実際の表示と異なる場合があります。)

BSデジタル放送		
①	101チャンネル	NHK1 (NHK BS1)
②	102チャンネル	NHK2 (NHK BS2)
③	103チャンネル	NHKh (NHK ハイビジョン)
④	141チャンネル	BS日テレ
⑤	151チャンネル	BS朝日
⑥	161チャンネル	BS-i
⑦	171チャンネル	BSJ (BSジャパン)
⑧	181チャンネル	BSフジ
⑨	191チャンネル	WOW (WOWOW)
⓪	200チャンネル	スター (スター・チャンネル)

CS1デジタル放送		
①	001チャンネル	スペーステリア (プロモCH)
②	999チャンネル	日本ビーエス放送
③	963チャンネル	日本メディアーク
④	011チャンネル	シーエス日本
⑤	055チャンネル	イーピー放送
⑥	900チャンネル	メガポート放送
⑦	700チャンネル	スペーステリア
⑧	チャンネル	
⑨	090チャンネル	CS-WOWOW
⓪	チャンネル	

CS2デジタル放送		
①	100チャンネル	マルチチャンネルエンターテイメント
②	110チャンネル	シーエス・ワンテン
③	123チャンネル	シーエス映画放送
④	128チャンネル	ハリウッドムービーズ
⑤	250チャンネル	アクティブ・スポーツ・ブロードキャスティング
⑥	160チャンネル	シー・ティ・ビー・エス
⑦	170チャンネル	インタラクティーヴィ
⑧	182チャンネル	サテライト・サービス
⑨	194チャンネル	シーエス九州
⓪	190チャンネル	阪急電鉄

(予定:2002年2月現在)

お知らせ

アップダウン選局は…
- 「衛星デジタル設定」画面の選局対象の設定により順送りするチャンネルが異なります。なお、順送りするチャンネルがない場合は選局できません。選局対象の設定についてはA編:42ページをご覧ください。

衛星デジタル放送を録画されるときは…
- 録画予約をしてください。(☞A編:22ページ)
- ご覧中の番組を予約する場合も録画予約をしてください。録画予約の操作をしませんと違ったチャンネルの番組が録画される場合があります。

衛星（BS／110度CS）デジタル放送を楽しむ

電源を入れる

リモコン受光部

7m以内

本体でも操作ができます
●チャンネルを選ぶ
●お好みの音量にする
●地上波／衛星の切換え

番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめわかっている場合、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

例 BSデジタルチャンネル番号101を選局する場合

1 放送切換 押して、放送を「BS」に切換える

BS → CS1 → CS2 → 地上波
押すごとに切換わります。

2 チャンネル番号入力 押す

「チャンネル番号入力」画面が表示されます。

3 見たいチャンネルの番号を押す

1 → 約5秒以内に押す → 0 → 約5秒以内に押す → 1

お好み選局

出荷時にあらかじめ設定されているプリセットチャンネル（☞23ページ）や、A編15ページで設定したチャンネルを簡単に呼び出せます。

例 BSデジタルチャンネル番号181を選局する場合

1 放送切換 押して、放送を「BS」に切換える

BS → CS1 → CS2 → 地上波
押すごとに切換わります。

2 押して、「お好み選局」画面を出す

押すごとにページが切換わります。（全3ページ）

（ページを戻すときは㊟ボタンを押す）

放送表示

「お好み選局」画面

3 チャンネルを選び 中央の決定ボタンを押す

●⓪～⑨ボタンで直接選ぶこともできます。

例 ⑧「181」を選ぶ

■戻りかた
●1ページ目で㊟押すと「お好み選局」画面が消える
●元の画面 押すとテレビ画面に戻る

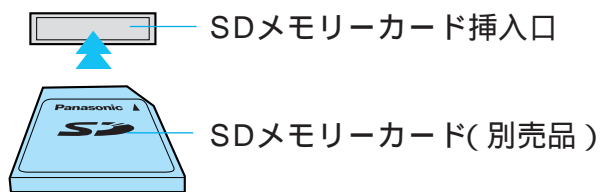
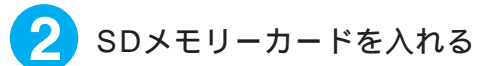
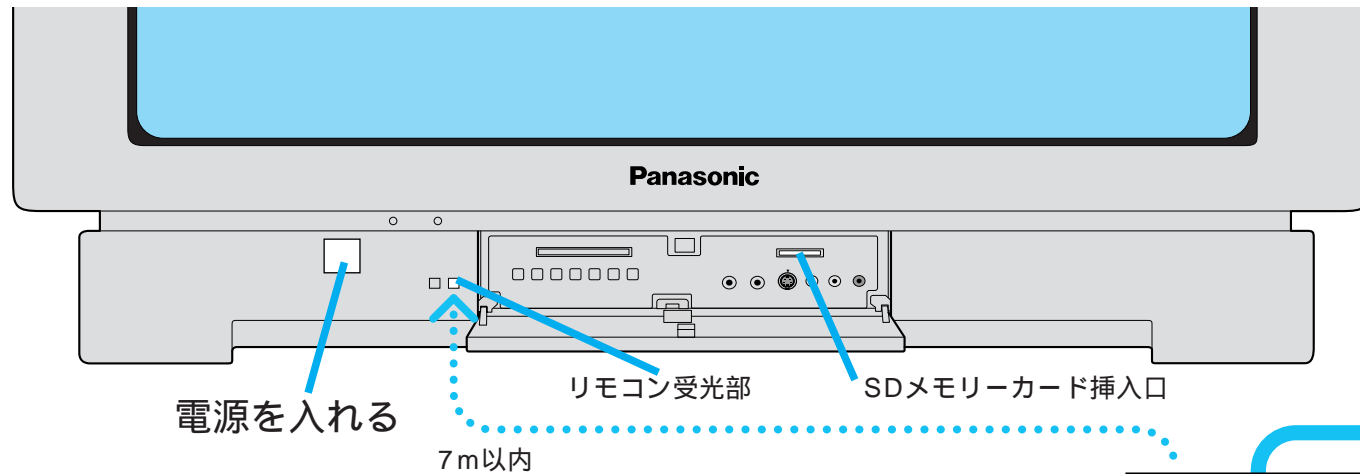
お知らせ
●チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内につづきの番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

お知らせ
●「お好み選局」画面は、BSを見ているときはBS、CS1を見ているときはCS1、CS2のときはCS2の「お好み選局」画面が表示されます。

SDメモリーカードで画像や音楽を楽しむ

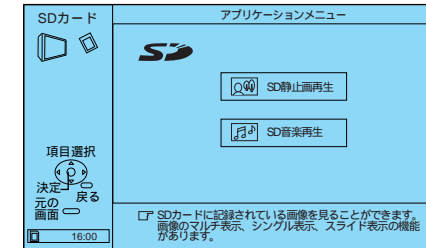
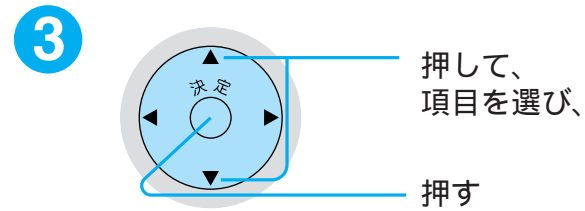
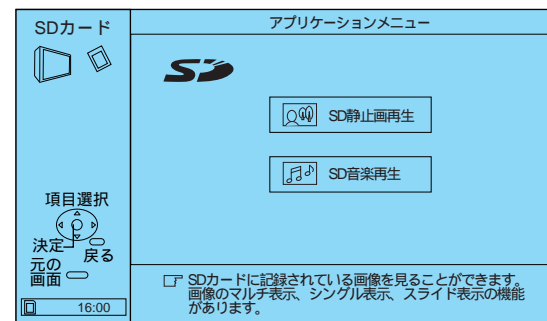
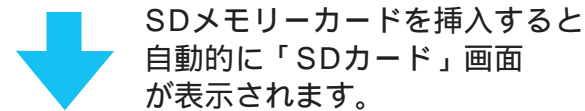
1 押して、テレビをつける

2 SDメモリーカードを入れる

SDメモリーカード挿入口

SDメモリーカード（別売品）

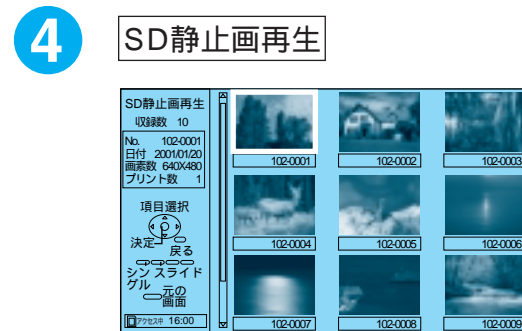
カードの表面（ラベル面）を上にして、挿入してください。

SDメモリーカードを挿入すると自動的に「SDカード」画面が表示されます。

3 押して、項目を選び、押す

画像を見る場合は SD静止画再生 を選ぶ

音楽を聞く場合は SD音楽再生 を選ぶ

●SDメモリーカードに画像データや音楽データが記録されていない場合は選択できません。

4 SD静止画再生

「マルチ表示」画面

●画像の表示方法には、他に2つあります。
「シングル表示」… 青ボタンを押す
「スライド表示」… 赤ボタンを押す

SD音楽再生

●▲▼◀▶ボタンで ▶ を選び、決定ボタンを押せば音楽の再生が始まります。

■画面を消したいときは

元の画面 ボタンを押す

■SDメモリーカードの抜きかた

SDメモリーカードを奥に押して指をはなす。
※必ず「SDカード」画面を消してから抜いてください。
読み込み中に抜くとデータが破壊されることがあります。

SDメモリーカードのさらに詳しい説明は

A編

この冊子（A編）の56～63ページをご覧ください。

お願い

●SDメモリーカードからデータを読み込み中は、画面左下に「アクセス中」が表示されます。このときにSDメモリーカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

「画面表示」「消音」「オフタイマー」について

放送内容などを知りたいとき「画面表示」

画面表示

押すとチャンネル番号やオフタイマー残り時間、画面モードの状態などの表示をします。最後はチャンネル番号が残り、表示を消すときもこのボタンを押します。

チャンネル表示と放送内容
- ●モノラル放送のとき…緑色
- ●ステレオ放送のとき…黄色
- ●2ヵ国語放送のとき …赤色

画面モード（☞33ページ）

ジャスト
GR　オン
2
ステレオ
消費電力　標準　29

GRの「オン」「オフ」（☞C編：17ページ）

音声切換（☞44ページ）

消費電力の「標準」「減」（☞41ページ）

オフタイマーセット残り時間（☞本ページ）

■衛星デジタル放送のときは
- ●番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示できます。（☞A編：12ページ）

一時的に音を消したいとき「消音」

電話応対や来客などのときに便利です。

消音

押すと画面に「消音」の文字が出て音が消えます。もう一度押すと解除されます。

- ●電源の「切」「入」や、音量を変えても解除されます。

タイマーで自動的に電源を切る「オフタイマー」

オフタイマー

押すごとに設定時間（分）が選べます。

- ●「0」表示にするとオフタイマーが解除されます。
- ●電源が切れる3分前になると3、2、1と点滅表示の後、自動的に電源が切れます。
- ●オフタイマーの残り時間を知りたいときは 画面表示 ボタンを押します。

お知らせ
- ●オフタイマーをセット中に停電などで電源が切れると…停電が回復後オフタイマーは解除され、リモコンで電源を切った状態になります。

自動的に電源を切りたいとき

「無信号自動オフ」
- ●「入」にすると、テレビ放送が終了して電波が来なくなったときなど、約10分後自動的に電源を「切」にします。

「無操作自動オフ」
- ●「入」にすると最後の操作から約3時間以上、リモコンや本体操作部で操作をしなかったとき、自動的に電源を「切」にします。

まず、12ページの手順で「その他の設定」画面にする。

例「無操作自動オフ」の設定をする場合

1 押して、「無操作自動オフ」を選び

無操作自動オフ　切　入

2 押して、設定する

無操作自動オフ　切　入

押して、終了する（メニュー）

- ●「その他の設定」画面は4ページ構成です。
  で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ
- ●無操作自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無操作自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
- ●無信号自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無信号自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
- ●ビデオ入力やコンポーネント（色差）ビデオ入力時も、映像がなくなると無信号自動オフが働きます。ただし、衛星デジタル放送受信時や、ビデオなどがブルーバック画面のときは働きません。

2画面で楽しむ

2画面にすると右画面で他のチャンネルの検索をしたり、
ビデオの録画状態をチェックしたりとても便利。

メモ　画面のなまえ

2画面フル　2画面ノーマル　PoutP

まず 2画面にする

2画面

押す

(前回選んでいた画面になります)

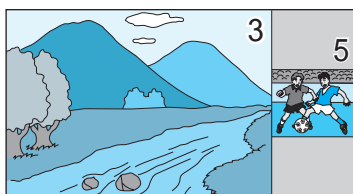
例 2画面ノーマルのとき

■1画面に戻すとき
2画面
を押す

2画面にしたあと

画面モードを選ぼう

画面モード

押すごとに切換わる

2画面フル

2画面ノーマル

PoutP

画面の左右を入換えるときは

「2画面フル」「2画面ノーマル」
「PoutP」のとき

左右入換

押すごとに
入換わる

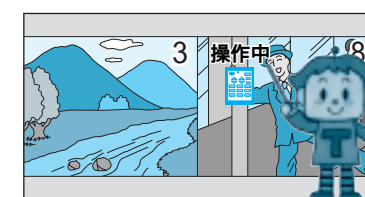
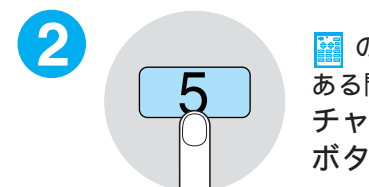
例 2画面ノーマルのとき

「2画面フル」「2画面ノーマル」
「PoutP」のとき

右画面のチャンネルを変える

1　右画面操作　押す

例 2画面ノーマルのとき

2

の表示がある間（約10秒間）にチャンネルボタンを押す

例 5チャンネルにする

ビデオなどを見るときは

入力切換

の表示がある間に押して、切換える

■左画面のチャンネルは
1画面のときと同様にチャンネルボタンで直接選べます。

お知らせ

- 2画面のとき、本機背面の「モニター出力」からは左画面が出力されます。
- 2画面が左右別々の回路で処理を行うため、音質や映像の鮮明さに若干の差があります。
- 電源を「切」、「入」すると、2画面は取り消されます。
- 「2画面フル」、「2画面ノーマル」、「PoutP」の右画面の音声は右側のイヤホンをご利用ください。
- 左右同じ映像は映せません。
- 衛星デジタル放送同士、i.LINK接続機器同士、または衛星デジタル放送とi.LINK接続機器を組み合わせての2画面は見られません。
- テレビゲームを2画面で見るときは、テレビゲームを右画面にしてください。（映像の乱れを防ぐため）

お知らせ

- 右画面操作中に10秒以上、右画面の操作が無くても右画面操作モードを抜けないようにすることもできます。
（☞C編：32ページ）

映像に合わせた拡大画面にする

メモ

■映像の横縦比（アスペクト比）
放送や映像ソフトの映像比率（画面の横と縦の比）には、次のような種類があります。

- 4：3 ●VHF/UHF放送 ●一部の衛星デジタル放送
- 16：9 ●ハイビジョン放送 ●ワイドクリアビジョン放送 ●ビスタビジョンサイズⅠソフト ●一部の衛星デジタル放送
- 5：3 ●ビスタビジョンサイズⅡソフト
- 2.35：1 ●シネマビジョンサイズソフト

自動で拡大画面にする場合

画面モード

1回押すと「セルフワイド」になり自動的に拡大画面になります。
●本体のボタンでも操作できます。

横に長い映像のとき → セルフワイド 画面いっぱいに拡大。

普通の映像（4：3）のとき → C編：20ページで設定した「ジャスト」画面か、「ノーマル」画面に。

「ワイドクリアビジョン」の放送と映像ソフトも楽しめます。

ワイド

ED2信号を検出すると自動的に「ワイド」画面になります。（☞C編：25ページ）
現行のテレビ放送（横縦比4：3）と画面のワイド化（横縦比16：9）の両立性を確保しつつ、映像の高画質化を目的としたものです。本機は自動的に画面を拡大する回路を内蔵しています。

■「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると「ワイド」にはなりません。（再度「ワイド」にするときは、画面モードボタンを1回押す。）

映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合

画面モード

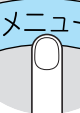
押すごとに画面モードが切換わります。
セルフワイド → ノーマル → ジャスト → ズーム1 → ズーム2字 → フル →（セルフワイドへ戻る）

●本体のボタンでも操作できます。

映像	画面モード	拡大画面
ノーマル	ノーマルに切換える	普通の映像（4：3）そのまま
	ジャストに切換える	横に広がり、違和感の少ない映像に
横長	ズーム1に切換える	画面いっぱいに映像を拡大
字幕入り	ズーム2字に切換える	下部が圧縮される
縦長	フルに切換える	横に広がり、正常な映像に

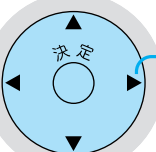
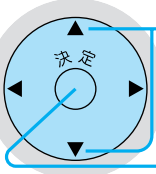
お知らせ

■コマーシャルのときなど画面サイズが変わって見づらく思われるとき（映像の比率が短い時間で変わるため）
●画面モードボタンでご希望の拡大画面をお選びください。
■ゲームソフトで画面が欠けるとき
●画面モードボタンで「フル」か「ノーマル」に。（☞33ページ）
■接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
●ID-1検出をしたときも、画面サイズが切換わります。（☞C編：24ページ）

お知らせ

●画面モードは地上波放送、衛星デジタル放送（またはD-VHS）、ビデオ1～4・色差ビデオ1～2・ゲームごとに記憶します。
●525p（480p）信号のときは「ノーマル」、「ジャスト」、「ズーム1」、「ズーム2字」、「フル」の切換えになります。
●750p（720p）信号、1125i（1080i）信号のときは「フル」に固定されます。
●接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
●ID-1検出をしたときも、画面サイズが切換わります。（☞C編：24ページ）

拡大画面の使い方

画面の位置やサイズを調整する

まず、調整画面にする

1 押して、調整したい画面モードにする

2 押して、「メニュー画面」を出し

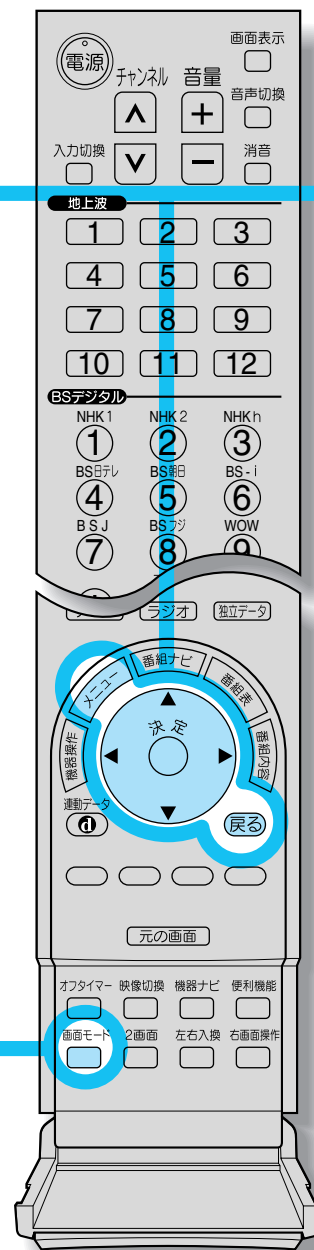
▼

押して、「調整」メニューにし、

3 押して、「画面位置／サイズ」を選び、

決定を押す

例「ズーム」画面の場合

画面位置／サイズ　標準
標準
サイズ 1
戻る
画面位置

画面の幅を切換える

ノーマル 画面のとき（サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。）

押すと、広がります。（サイズ「1」）

押すと、狭まります。（サイズ「2」）

ジャスト 画面のとき（サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。）

押すと映像を左右縮小します。（サイズ「1」）

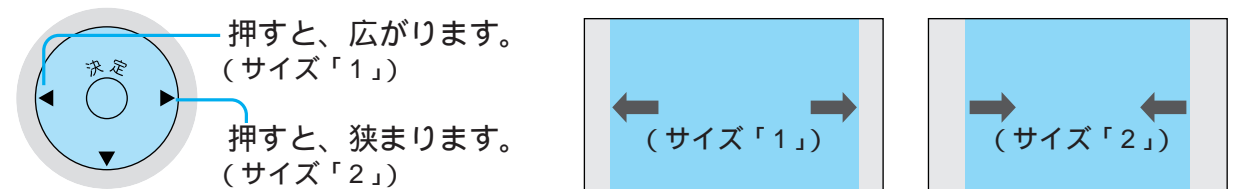
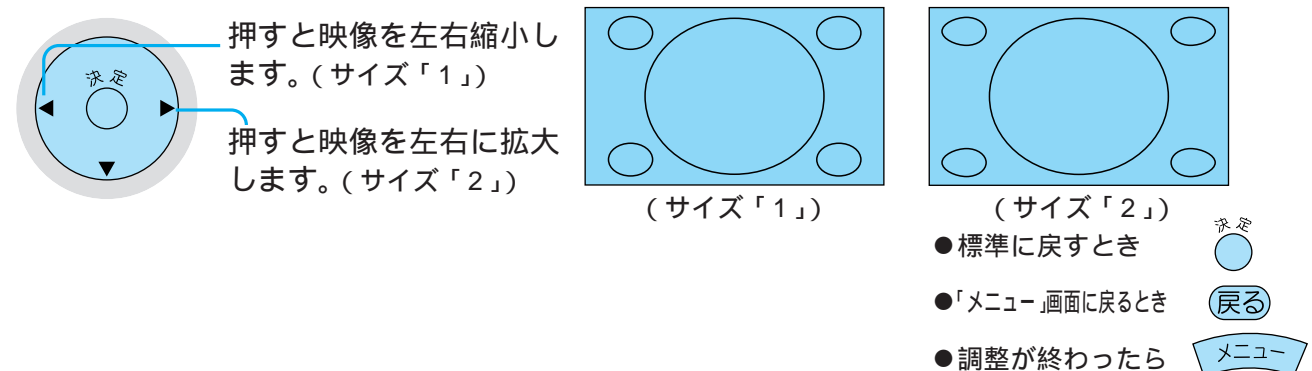
押すと映像を左右に拡大します。（サイズ「2」）

（サイズ「1」）

（サイズ「2」）

●標準に戻すとき→

●「メニュー」画面に戻るとき→

●調整が終わったら→

画面の縦サイズを変える

ズーム1・ズーム2字 画面または1080i（1035i）映像のとき

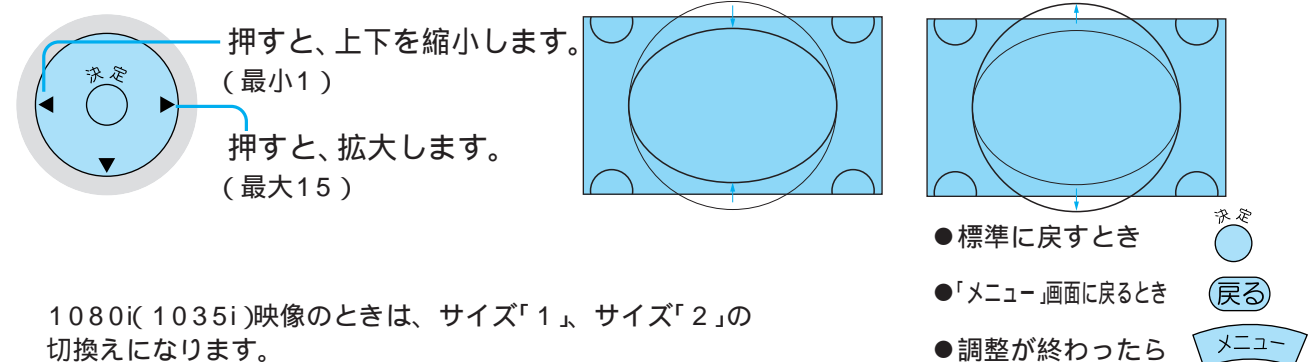
押すと、上下を縮小します。（最小1）

押すと、拡大します。（最大15）

●標準に戻すとき→

●「メニュー」画面に戻るとき→ 戻る

●調整が終わったら→ メニュー

※1080i（1035i）映像のときは、サイズ「1」、サイズ「2」の切換えになります。

画面外にはみ出た映像を見る

ズーム1・ズーム2字・ジャスト 画面、およびワイドクリアビジョン映像のとき

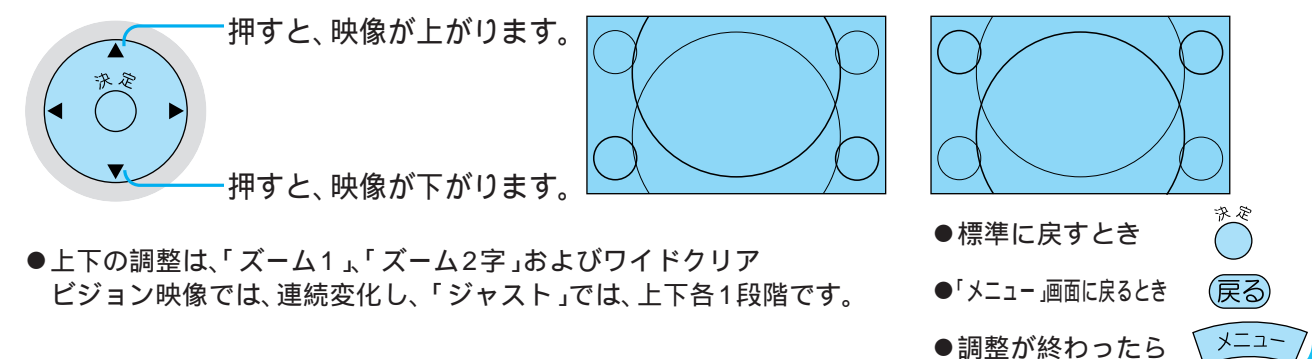
押すと、映像が上がります。

押すと、映像が下がります。

●上下の調整は、「ズーム1」、「ズーム2字」およびワイドクリアビジョン映像では、連続変化し、「ジャスト」では、上下各1段階です。

●標準に戻すとき→

●「メニュー」画面に戻るとき→

●調整が終わったら→

ご注意

●このテレビは、各種の画面モード切換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

●テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切換え機能（ズーム等）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

●ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

お知らせ

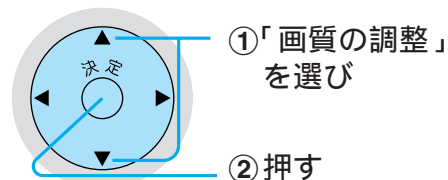
●本機背面の「モニター出力」端子からの信号は画面サイズや位置を調整しても変わりません。

最適な画質を選ぼう

「映像メニュー」

まず、「画質の調整」画面にする

●12ページの手順で「調整」メニューにしたあと、次の操作をしてください

①「画質の調整」を選び
②押す

「画質の調整」画面

画質の調整	1／2ページ
標準	
映像メニュー	ダイナミック
ピクチャー	＋30
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	＋10

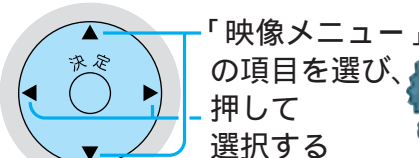
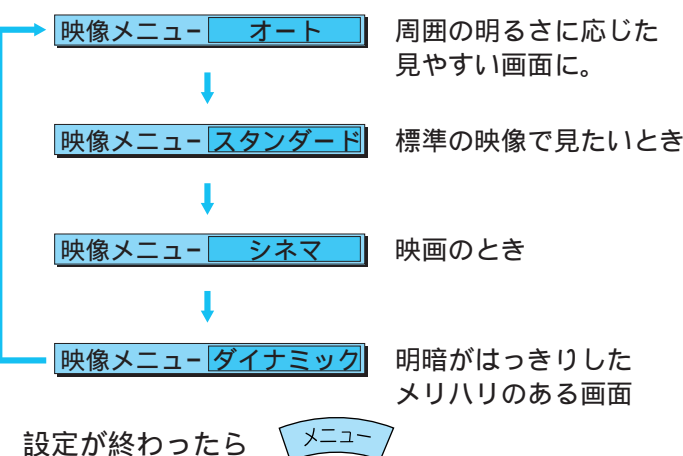
最適な映像メニューを選ぶ

映像ソフトの明るさや、部屋の明るさに合った最適映像で楽しめます。
（ふだんは「オート」をおすすめします。）

「映像メニュー」の項目を選び、押して選択する

画質の調整	1／2ページ
標準	
映像メニュー	ダイナミック
ピクチャー	＋30
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	＋10

映像メニュー　オート　周囲の明るさに応じた見やすい画面に。
映像メニュー　スタンダード　標準の映像で見たいとき
映像メニュー　シネマ　映画のとき
映像メニュー　ダイナミック　明暗がはっきりしたメリハリのある画面

■設定が終わったら→ メニュー

お知らせ

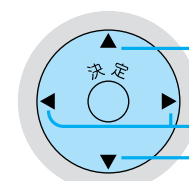
●ゲームモード中（☞19ページ）は 映像メニュー　ゲーム になります。
● 映像メニュー　オート で画面の明るさが変化し、見づらいときは、他の映像メニューでご覧ください。

お好みの画質にしよう

「映像メニュー」の内容をお好みの画質に調整したいとき

1 36ページの手順で調整したい「映像メニュー」を選ぶ

例 映像メニュー「スタンダード」のとき

2 お好みに調整する

押して、項目を選択する
押して、調整する

項　目

ピクチャー
部屋の明るさに合わせた濃淡、明るさに

黒レベル
夜の画面や髪の毛などを見やすく

色の濃さ
やや、うすめの色に

色あい
肌色をきれいに

シャープネス
シャープな映像に

色温度
お好みの色調に
（低：暖色、高：寒色）

画質の調整	1／2ページ
標準	
映像メニュー	ダイナミック
ピクチャー	＋30
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	＋10

画質の調整	2／2ページ
色温度	低　中　高
テクニカル	切　入

●「画質の調整」画面は2ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

テクニカル
映像メニュー「スタンダード」、「シネマ」のとき、テクニカル「切」、「入」が切換わります。

テクニカル　切　入
さらにきめ細かく、プロ級に調整した映像がご覧になれます。（☞38ページ）

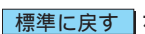
テクニカル　切　入
今選んでいる映像メニューの画質になります。

■設定を標準に戻したいときは

▲▼で 標準に戻す を選び を押す。

■設定が終わったら→ メニュー

お知らせ

●調整値は色差（又は衛星デジタル）の525i、525p、1080i、750pそれ以外の映像ごとに、さらに映像メニュー（オート、スタンダード、シネマ、ダイナミック、[ゲーム]）ごとに記憶します。
●「ピクチャー」を明るい映像で上げても変化しません。また暗い映像で下げても変化しません。

画質をプロ級に調整しよう

「テクニカル」

ビデオなどの映像が不自然に見えるとき 「3次元Y／C分離」

一層きめ細かな調整をする（テクニカル調整）

1 37ページの手順で「テクニカル」を「入」にする

2 押して、「テクニカル」画面にする

3 押して、各項目を選び

例 白文字補正を選んだとき

押して、調整する

●通常画面に戻すとき→ メニュー

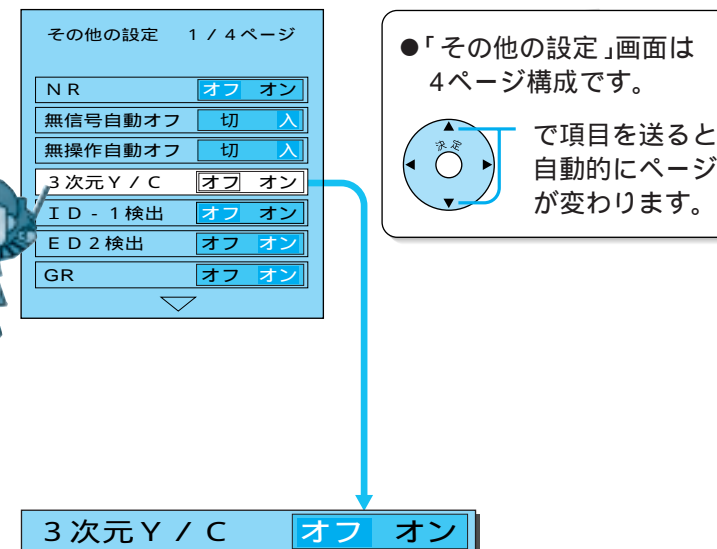
●「画質の調整」画面に戻すとき→ ▲▼で「VMゲイン」より上、または「色温度調整」より下を選ぶ

●標準に戻すとき→ ▲▼ で 標準に戻す を選び 決定 を押す。

項　目	内　容	調　整　範　囲
VMゲイン	縦線の輪郭の強調度合を調整します。	0（補正無し）～ 15（補正強）
黒　伸　長	中間より暗い部分の階調変化を調整します。	
白文字補正	白い文字などの白さを強調します。	
色温度調整	映像メニューごとに選択している色温度を、さらに微調整します。	－7（色温度低）～ 7（色温度高） 〈赤っぽい〉　〈青っぽい〉

ビデオなどの映像が不自然に見えるとき

12ページの手順で「その他の設定」画面にしたあと、次の操作をしてください

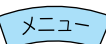
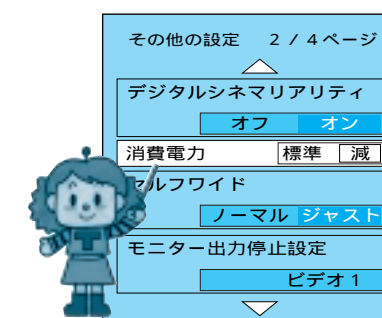
■通常画面に戻すとき→ メニュー

お知らせ

●「3次元 Y／C分離」は衛星デジタル放送、D-VHS、色差ビデオ1～2のときは選べません。

映像のざらつき感を少なくする「NR」

明るさをひかえめにして楽しむ「消費電力」

まず、12ページの手順で「その他の設定」画面にする。

まず、12ページの手順で「その他の設定」画面にする。

お知らせ

● NRの「オフ」・「オン」は地上波放送、衛星デジタル放送（またはD-VHS)、ビデオ1〜4、色差ビデオ1〜2、ゲームごとに記憶します。

お知らせ

● 映像メニューが「シネマ」のときや、ゲームモードのときは、消費電力「減」の効果が少なくなります。
● 「減」、「標準」は電源を「切」、「入」しても記憶します。

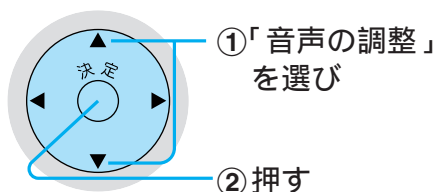
最適な音質を選ぼう

「音声メニュー」

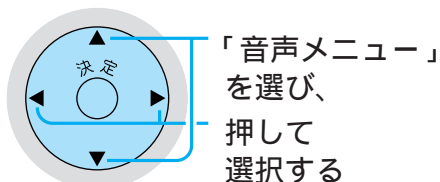
まず、「音声の調整」画面にする

12ページの手順で「調整」メニューにしたあと、次の操作をしてください

①「音声の調整」を選び

②押す

音声の調整	
標準	
音声メニュー	ダイナミック
バス	＋ 6
トレブル	＋ 6
バランス	＋ 0
サラウンド	オフ
イコライザー	オフ オン

最適な音声メニューを選ぶ

「音声メニュー」を選び、押して選択する

音声の調整	
標準	
音声メニュー	ダイナミック
バス	＋ 6
トレブル	＋ 6
バランス	＋ 0
サラウンド	オフ
イコライザー	オフ オン

- 音声メニュー　オート：小さな音・大きな音を聞きやすい音量に自動調整
- 音声メニュー　スタンダード：送られてくるそのままの音
- 音声メニュー　ダイナミック：メリハリ感を強調した音に
- 音声メニュー　快聴：音の高域部分（4kHz付近）を強調

少し聞こえにくくなったと思われる高齢の方へのおすすめ機能です。

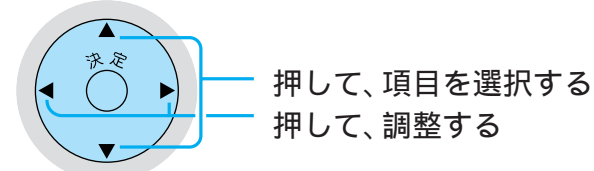
■設定が終わったら→

「音声メニュー」の内容をお好みの音質に調整したいとき

1 42ページの手順で調整したい「音声メニュー」を選ぶ

2 お好みに調整する

押して、項目を選択する

押して、調整する

例 音声メニュー「スタンダード」のとき

- **バス**：低音を調整するとき
- **トレブル**：高音を調整するとき
- **バランス**：左右の音量を調整するとき
- **イコライザー**：スピーカーの性能を最大限にします（ふだんは「オン」で）
- **サラウンド**：コンサートホールの臨場感を楽しむとき

「サラウンド」を「オン」にすると

ステレオ音声やソフト再生のとき　サラウンド ワイド

モノラル音声のとき　サラウンド モノラル

になります

■項目を単独で調整したいときは

▲▼を押して、項目を選び◀▶で調整する

■設定を標準に戻したいときは

▲▼で 標準に戻す を選び 決定 を押す

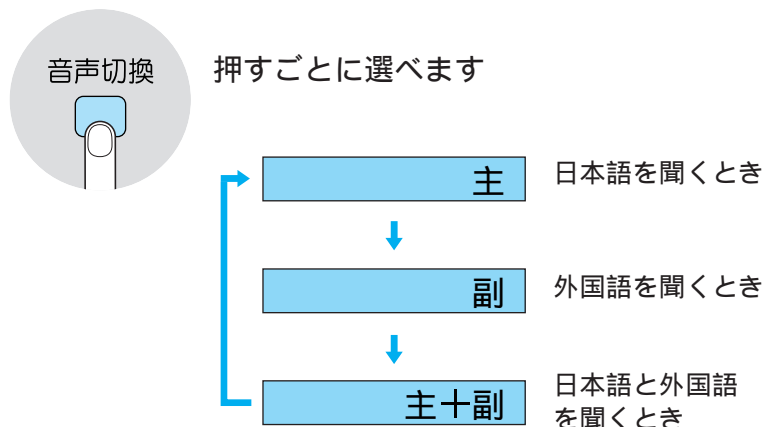
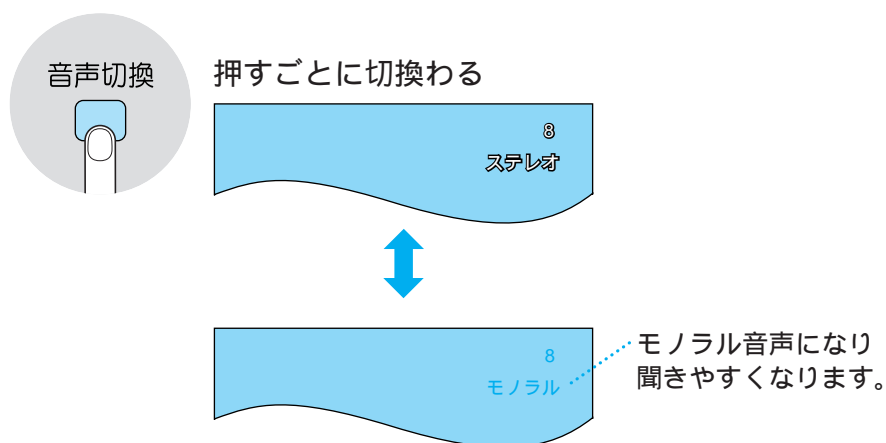
■設定が終わったら→

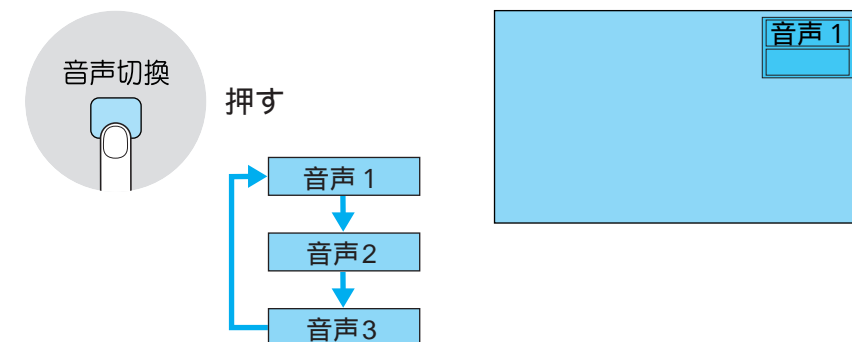
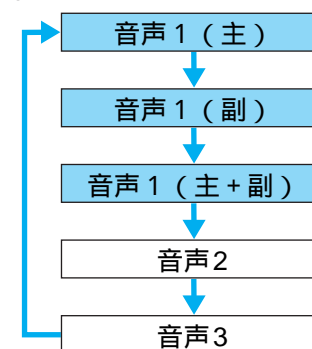
お知らせ

- ゲームモード中（☞19ページ）は 音声メニュー ゲーム になります。
- 音声メニュー（オート、快聴）は聞きとりにくい小さな音や、急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。（音量ボタンで調整した数字はそのまま。）

お知らせ

- 「バス」「トレブル」「バランス」「サラウンド」は、音声メニューごとに記憶します。
- 2ヵ国語（二重）放送で「主＋副」音声のときはサラウンドは「オフ」になります。
- 「イコライザー」は「左画面/・」端子にヘッドホンを接続しているときは「オフ」になります。

音声多重放送を聞く

衛星デジタル放送の音声信号を切換えるとき

番組により、音声の信号を切換えて楽しむことができます。
切換え可能な信号の内容は番組により異なります。
また切換えた信号が有料な場合もあります。

● 番組が複数の音声で放送されているとき、切換えができます。
● 切換えた音声が二重音声の場合は下図のように切換わります。

（例）音声1が二重音声の場合

二重音声について

二重音声には2種類あります。
● 二ヵ国語放送
主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。）
● 音声多重放送
主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

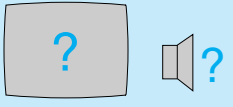
お知らせ

● ステレオ放送は地上放送の場合のみ、モノラルに切換えができます。

2ヶ国語（二重）放送のとき
● 地上波（VHF／UHF）放送のとき電源を「切」「入」したときは「主」に戻ります。
● 放送によっては「主」で原語を、「副」で日本語を送る場合があります。
● 外部入力時は、接続機器側で切換えてください。ただし、i.LINK接続のD-VHSビデオデッキでデジタル録画した衛星デジタル放送の場合は本機で切換えてください。

お知らせ

● 有料番組を購入するときは、画面の表示に従って操作してください。

故障かな!?

テレビ放送のとき（VHF・UHF）

症状	原因と処置	ページ
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●リモコンで電源が入らない場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？	— 18
リモコンが操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受光部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？	C編 4 —
映像が揺れる 映像が不鮮明 色模様が出たり、色が消える	●アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？ ●アンテナ線は正しく接続されていますか？ ●ビデオを使用し、テレビ側で選局するときビデオ本体の「テレビ／ビデオ」切換は、「テレビ」側になっていますか？	— C編 50 —
映像が2重3重に見える	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波を受けていませんか？ ●GR（ゴーストリダクション）は「オン」になっていますか？	— — C編 17
画面にはん点が出たり、画面が揺れる 画面の四隅に色がつく（色ムラ）	●地磁気や外部（自動車や電車、高圧線、ネオン、モーター、着磁した鉄骨、鉄製の雨戸など）からの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？一度電源を切り、約20分後に電源を入れてみるか、本機の設置場所を変えてみてください。それでも効果がない場合は別途防磁処置が必要です。	—
電源を入れたとき、暗い部屋では画面周辺が一瞬光って見える	●ブラウン管の構造上、電源を入れたときに高電圧発生により瞬間、蛍光部の一部が動作するためで性能その他に影響はありません。	—
部分的に色あいが悪い、色がつく	●白い服などの明るい映像が静止していると、その部分に色がつくことがあり、明るい画面がなくなれば消えます。	—
画面の両端や柱、障子の桟が曲がって見える	●受信するチャンネルや、画面の明るさの変化によって曲がって見えることがあります。	—
ビデオで選局すると一瞬、黒い帯が出る	●チャンネルを切換えたときに発生するノイズによるものです。	—

症状	原因と処置	ページ
セルフワイドのとき画面のサイズが時々変わる	●ソフトによっては自動的に「ズーム」になる場合でも最初暗いシーンのときは、しばらく「ズーム」にならない場合があります。 ●4：3映像でも上下が暗いシーンでは「ズーム」になる場合があります。	— 32
映像が少し傾く	●地磁気の影響が考えられます。(設置方向が南向きでは右下がり、北向きは左下がり) →地磁気補正をしてみてください。	C編 21
チャンネル番号が画面から消えない	●画面表示ボタンを押してみてください。 ビデオ入力に切換えたときは、ビデオの映像がないと消えません。	28
テレビから時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。	—
画面の上下に映像のない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができます。	33
ズーム、ジャストにしたとき画面の上または下が欠ける	●画面位置調整をずらしたままになっていませんか？ →画面位置の調整をしてください。	34

故障かな!?

衛星（BS／110度CS）デジタル放送のとき

症状	原因と処置	ページ
電源をオン（受像）にしたときや選局操作したときに「アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。」と表示が出る	●BS-IF入力端子に接続されているアンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していませんか。 →電源をオフにして、異常個所を調べ原因を取り除いてください。処置後は電源をオン（受像）にしたときに「アンテナとの接続に不具合があります。…」と表示されないことを確認してください。 ●「衛星アンテナ設定」で「衛星アンテナ電源」の設定が間違っていませんか。 →電源をオフにしてからBS-IF入力端子に接続されているケーブルを抜き、電源をオン（受像）にして「衛星アンテナ電源」の設定を確認してください。	C編 44、51
映像も音も出ない ? ?	●「衛星アンテナ設定」は正しく設定や調整ができていますか。 →「衛星アンテナ設定」を正しく設定や調整してください。	C編 44
映像や音声が出なくなったり または時々出なくなる 映像が静止したり または時々静止する	●アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。 →「衛星アンテナ設定」で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。	C編 44
	●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星放送は、雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	—
有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。	C編 52
	●有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 →視聴契約手続きをしてください。	—
	●電話回線の接続や設定は正しいですか。 →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。	C編 36

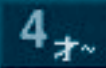
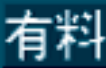
症状	原因と処置	ページ
予約が実行されない	●「視聴」で予約して、電源がオフ（または機能待機）になっていませんか。 →「視聴」で予約した場合、電源をオフ（または機能待機）にしていると予約が実行されません。	A編 23
画面に「購入できませんでした。」などが表示され購入または予約ができない状態が続く	●電話回線が正しく接続されていますか。 →電話回線を正しく接続してください。	C編 53
	●「電話設定」が間違っていませんか。 →「電話設定」を正しく設定してください。	C編 36
	●B-CASカードが正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。	C編 52
チャンネル番号などが画面から消えない	●画面表示ボタンを押して、画面表示が出る状態に設定していませんか。 →チャンネル番号などを消しておきたいときは、もう一度画面表示ボタンを押してください。	28、A編 12
字幕や文字スーパーが出ない	●メニュー画面などが表示されていませんか。 →メニューや操作説明画面などを消してください。 ●衛星デジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか。 →衛星デジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」に設定してください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 →字幕の場合、字幕のアイコン（シンボルマーク）が表示された番組を視聴してください。	A編 43
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	●一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—

故障かな!?

衛星（BS／110度CS）デジタル放送のとき（つづき）

症状	原因と処置	ページ
電話機にノイズ（雑音）が入る	●一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	—
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	●本機と衛星アンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよい衛星デジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	—
急に画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	—
操作できなくなった場合は…	●受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、本体の電源ボタンで、一度電源を切り、再度入れてください。	—

接続機器の操作をするとき

症状	原因と処置	ページ
Irシステムで録画機器の録画予約ができない	●Irシステムケーブルは正しく設置できていますか。 →Irシステムケーブルを正しく接続、設置してください。	C編 54
	●「Irシステム」の設定は正しいですか。 →「Irシステム」の設定を正しく行ってください。	C編 58
	●録画機器は正しく準備できていますか。 →録画機器の電源や、ビデオカセットなどは必ず確認してください。	—
i.LINK対応機器が操作できない	●本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。 →本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキ2台までです。	—
	●i.LINK接続設定で「使用する」に設定されていますか。 →「使用しない」に設定していると操作できません。「使用する」に設定してください。	A編 54

本機を使用していないとき

症状	原因と処置	ページ
テレビを使用していないのに、内部から「カチッ」と音がする	●衛星デジタル放送の番組情報などを送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。	—
	●衛星デジタル放送を予約録画した時など、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。	—
リモコンで電源を「切」にしても、機能待機ランプ「橙」が点灯したまま	●i.LINK待機の設定が「する」になっている。	C編 63
	●予約録画が実行されている。 ●有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報を取得するため、自動的に機能待機状態（橙ランプが点灯）になる場合があります。	A編 30

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって表示画面の情報をお知らせします。
主なアイコンとその内容は次のとおりです。

	アイコン	内　　容	アイコン	内　　容
番組情報関連	テレビ	衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）の番組	ラジオ	衛星ラジオ放送の番組
	データ	衛星データ放送の番組	臨時	臨時ニュースなど予定外の番組
	+ⓓ テレビ	衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組に合わせた衛星データ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組	ⓓ テレビ	衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
	+ⓓ ラジオ	衛星ラジオ放送番組で番組に合わせた衛星データ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組	ⓓ ラジオ	衛星ラジオ放送番組で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
	信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組	16:9 1125i	番組の映像信号情報（上：アスペクト比、下：信号方式）
	主	二重音声信号があり「主」を選択している場合	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合
	モノラル	モノラル音声の番組	主+副	二重音声信号があり「主＋副」を選択している場合
	ステレオ	ステレオ音声の番組	有料	有料の信号を含む番組（ペイ・パー・ビュー番組）
	デジタル ×COPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	無料	無料の番組
	アナログ ×COPY	アナログコピーガードがかかっている番組	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
	デジタル 1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組	字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報がふくまれている番組
	デジタル ×出力	i.LINK端子からデジタル信号を出力しない番組	視聴	「視聴」で予約している番組
	アナログ ×出力	モニター出力端子から映像・音声信号を出力しない番組	録画	「録画」で予約している番組
		本機が電話回線を使用中の場合	20才~	視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4～20才まであります）
	予	予約している番組		

	アイコン	内　　容	アイコン	内　　容
メール関連		お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）		お客様が既に読まれたメール（既読メール）
視聴制限関連	4才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。	有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連	視聴	予約方式が「視聴」の予約	録画	予約方式が「録画」の予約
	録画 Ir	「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約	録画 D-VHS	D-VHSビデオデッキで設定した「録画」の予約
	録画 HDR	ハードディスクビデオレコーダーで設定した「録画」の予約	録画 i.LINK	外部のi-LINK機器から設定されている予約
	重複	予約時間が重なっており優先順位が低い予約	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
	済	予約の実行が予定通り終了した予約	済 メール	予約の実行に問題が起こった予約（メールで問題内容を確認できます。（☞A編：47ページ））
	実行中	現在、予約を実行している予約	¥	有料の番組（ペイ・パー・ビューの番組）
	リレー	イベントリレー予約が実行された予約（☞A編：29ページ）		
電話発信記録	i.LINK	i.LINK接続した機器から本機を通じて電話発信を行った		

● 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内　　容
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できませんでした。	購入記録が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。(☞C編：36、53ページ)
受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。	有料番組を購入しなかった。再度、購入操作を行ってください。
現在､このチャンネルは放送を休止しています。	放送を休止しているチャンネルを選んでいます。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示もできない場合もあります。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機専用のB-CASカードを正しく挿入してください。(☞C編：52ページ)
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか、衛星アンテナ設定でアンテナ電源の設定が間違っていないか確認してください。(☞C編：44、50ページ)
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。

仕様

このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体

品　番		TH-36D20（36型）	TH-32D20（32型）	TH-28D20（28型）
種　類		BSデジタルハイビジョンテレビ		
使用電源		AC100V　50／60Hz		
消費電力		254W	250W	235W
		本体電源「切」時　約0.08W、リモコンで電源「切」時　約0.2W（電源ランプ橙色時　約19W）		
年間消費電力量		296kWh／年	290kWh／年	278kWh／年
受信チャンネル		VHF　ch1～12／UHF　ch13～62／CATV　c13～c38／BSデジタル　000～999 110度CSデジタル　000～999		
音声実用最大出力		14W(左：7W＋右：7W)JEITA		
スピーカー		●左・右　：12cm×8cm だ円型2コ、3.5cm 丸型2コ		左・右　：8cm 丸型2コ
ブラウン管		36型	32型	28型
		アスペクト比16：9		
画面寸法		幅　75.0cm 高さ　42.2cm 対角　86.0cm	幅　66.2cm 高さ　37.3cm 対角　76.0cm	幅　57.5cm 高さ　32.4cm 対角　66.0cm
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～4〔S2映像：輝度・色信号分離(75Ω)　映像：1V [p-p](75Ω)／音声：左・右　0.5V [rms]〕 ●モニター出力〔S2映像：輝度・色信号分離(75Ω)　映像：1V [p-p](75Ω)／音声：左・右　0.5V [rms]〕 お知らせ ●モニター出力のS2映像……「フル映像」出力のときはDC約5Vを重畳、「ワイドクリアビジョン映像」出力のときはDC約2Vを重畳		
	コンポーネント(色差)ビデオ関連	D4映像〔Y：1V [p-p](75Ω)、PB/CB：0.7V [p-p](75Ω)、PR/CR：0.7V [p-p](75Ω)〕 音声：左・右　0.5V [rms] ※ 入力（525i [480i]、525p [480p]、1125i [1080i]、750p[720p]）自動切換式		
	衛星関連	●BS-IF入力（75Ω）兼BSアンテナ用電源（DC15V）出力		
	その他	●光デジタル音声出力端子：－18dBm 660nm JEITA CP-1201準拠 ●モジュラー端子(電話回線)：2400bps、MNP4（着呼機能なし） ●i.LINK端子 S200：IEEE1394準拠 ●Irシステム（Irシステムケーブル［付属品］用） ●ヘッドホン／イヤホン（16～32Ω推奨）2系統		
外形寸法		幅　92.6cm 高さ　65.1cm 奥行　58.4cm	幅　82.7cm 高さ　57.9cm 奥行　53.5cm	幅　74.5cm 高さ　54.3cm 奥行　48.6cm
質　量		80.5kg	60.0kg	48.0kg
キャビネット材質		スチロール樹脂成型		

●年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
●テレビの型(36/32/28型)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

リモコン（品番:EUR7610Y10）	使用電源	DC3V(単4形乾電池2コ)	リモコン操作距離	約7m以内（テレビ正面距離）
	質　量	約160g（乾電池含）		

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

キャビネットやブラウン管表面の清掃は柔らかい布で

指紋など油脂類の汚れ、ひどい汚れは水でうすめた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

洗剤を直接テレビにかけない

水滴がブラウン管面を伝わって内部に入ると、故障の原因になります。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。
（キャビネットの変質の原因）

お知らせ

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ブラウン管の表面は特殊な加工をしています

固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますのでご注意を。

● ブラウン管面に触れると弱い静電気を感じますが、人体に影響はありません。

設置されるとき

直射日光を避け、熱器具から離す

キャビネットの変形や故障の原因になります。

壁などから10cm以上はあける

空気の対流で壁などにほこりの付着を少なくします。

見る距離と部屋の明るさは

画面の縦の長さの3倍程度、また新聞の読める明るさで。

機器相互のかんしょうに注意

重さによる変形や、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音などを避ける。

接続は電源を“切”にしてから

各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機器、ビデオディスク機器、オーディオアンプなど）

テレビ台のご使用は

当社製推奨テレビ台のご使用を。他の台をご使用の場合は本機底面の寸法より小さいと不安定となり、またキャビネットが歪んで故障の原因になります。

アンテナは定期的な点検を

風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

良好な画面で見るために

アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

ご使用になるとき

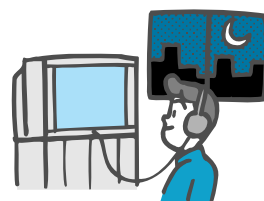
磁気を近づけない

色の乱れや画面の揺れ、または、調整した記録が消える。

（電気時計、スピーカー、磁石を使ったおもちゃ、磁気応用健康器具など）

外部スピーカーは防磁型を

色ムラなど画面への影響を避けるため。

適度の音量で隣り近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなど生活環境を守りましょう。

移動や向きを変えるときは電源を切る

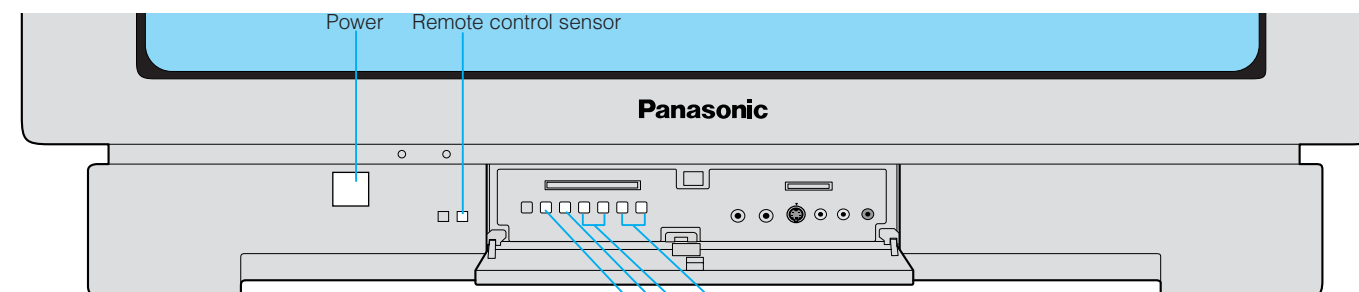
● そのまま動かすと、画面に色ムラが発生します。電源は約20分後に入れてください。
● テレビ台に乗せたまま動かすと床に傷がつきます。必ず本体をおろしてから行ってください。

液もれが生じたとき（リモコンの電池）

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れる。もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

How to Use (Basic Operations)

Power　Remote control sensor

Panasonic

First, push the Power to turn on.

Operate your Remote Control pointed to the Remote control sensor.
(Within about 7meters in front of the TV set.)

If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.

- TV & CATV & BS & CS Channel selectors
- Sound Volume controllers
- Input signal & Broadcast selector
- Mode of Picture conversion

1 Turning ON/OFF

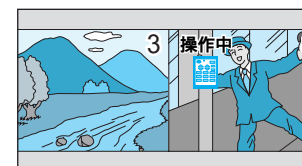
2 Control the sound volume

3 Select a channel

You can watch different programs separately on the right and left screens.

● To change the channel in the left side of the screen:
➜Press the channel select buttons.

● To change the channel in the right side of the screen:
➜Press the 右画面操作 button. “**操作中**” will appear on the screen to indicate that the right side of the screen is selected.
Press the channel select buttons while this display is appearing.

● To return operation to the previous screen.
➜Press the 2画面 button.

You can select an aspect ratio yourself according to your preferences.

Mode of Picture conversion（**画面モード**）

Self Wide（セルフワイド）
The on-screen indication “**セルフワイド**” is displayed. Automatically Set to the wide screen.
When the program is in wide Clear Vision, the screen changes to the zoomed size to let you enjoy higher definition pictures.

Normal（ノーマル）

Just（ジャスト）
Horizontally stretched a little at the center and gradually getting wider at both extremities.

Full（フル）
Horizontally widened with the mid-screen in the center.

Zoom2（ズーム2字）
Subtitles will be displayed in case of pictures with subtitles.

Zoom1（ズーム1）
The entire picture area is enlarged with the mid-screen in the center.

総合索引

保証とサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
（ただしブラウン管は2年間です。）

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

- 46～51ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	BSデジタル ハイビジョンテレビ
品　番	TH-
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（バナはサンロクゴ日）
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ﾉ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ﾉ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(0839)86-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0101

索　引

英　字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ　行　ページ

た　行　ページ

な　行　ページ

は　行　ページ

ま　行　ページ

や　行　ページ

ら　行　ページ

S0202-1023B

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部
〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

Panasonic　BSデジタルハイビジョンテレビ　取扱説明書（設置／接続と各種の設定）

Panasonic

BSデジタルハイビジョンテレビ
取扱説明書

品番 TH-36D20（36型）
TH-32D20（32型）
TH-28D20（28型）

110度CSデジタル対応

設置／接続と設定　Connection編

はじめてこのテレビを使うとき、機器の接続や各種の設定などはこの冊子

● この取扱説明書は、36型（TH-36D20）と32型（TH-32D20）と28型（TH-28D20）共用です。

TQBA0281

電源を入れる前に
テレビを視聴するための設定　設定画面の出しかた　受信チャンネルの設定　各機能の設定
衛星デジタルを視聴するための設定　設定画面の出しかた　電話設定　地域設定　衛星チャンネルの設定　衛星アンテナの設定　その他
外部機器の接続　接続　接続後の設定

もくじ

●この説明書と別冊の「テレビの使い方」、「衛星デジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用のまえに、「テレビの使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
●説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は表紙に書いてあります。

設置／接続と設定（C編）

Connectionの「C」です
読む順番を意味するものではありません。

■はじめて本機を設置するとき
■外部機器を接続したい
■設置場所を変えたい
■各種の設定を変更したい

テレビの使い方（B編）

Basicの「B」です
読む順番を意味するものではありません。

■ふつうのテレビとして使いたい
■画質や音質を調整したい
■タイマーで電源を切りたい
■2画面の機能を使いたい
■ワイド画面の使い方が知りたい
■思い通りにならないとき／故障かな？と思うとき

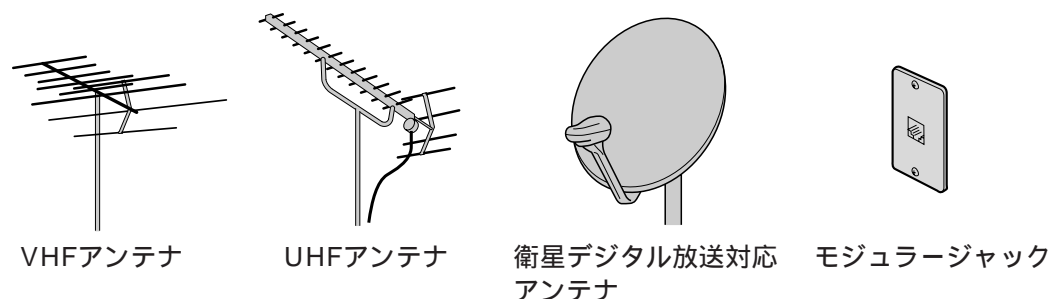
衛星デジタルの応用／機器操作（A編）

Applicationの「A」です
読む順番を意味するものではありません。

■番組表を見たい
■番組を予約したい
■番組を検索したい
■有料番組が見たい
■視聴条件の設定について
■i.LINKについて
■D-VHSビデオデッキを使いたい

視聴するまでの流れ

❶ アンテナや電話回線は正しく接続されていますか (☞50、53ページ)

VHFアンテナ　UHFアンテナ　※衛星デジタル放送対応アンテナ　モジュラージャック

※110度CSデジタル放送を受信する場合、110度CSデジタル対応の衛星アンテナが必要です。

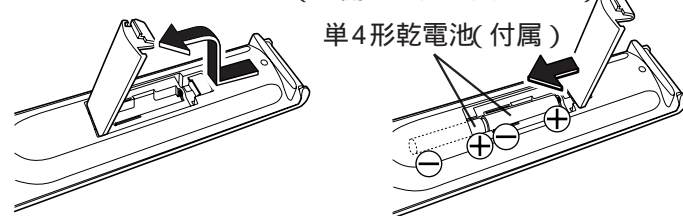
❷ ビデオなどは正しく接続されていますか

ビデオカメラ	☞ B編：20ページ
ゲーム機	☞ B編：19ページ
録画機器	☞ 55ページ
D-VHSビデオデッキ	☞ 56ページ
オーディオ機器	☞ 57ページ

❸ B-CASカードを挿入する (☞52ページ)

❹ リモコンに電池を入れてください

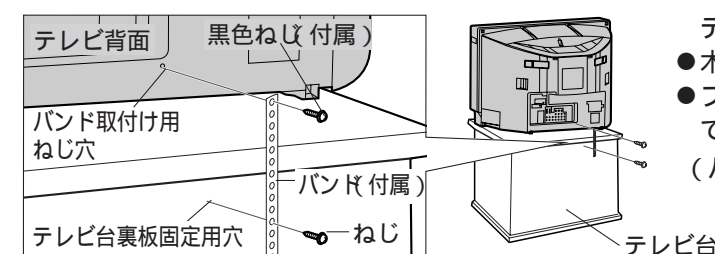
❶ふたをあけ

❷電池を入れ、ふたをしめる
(⊖側から先に入れます)

電池の破裂や液もれを防ぐため
- 種類の違うものや新・旧を混ぜたり、充電式(Ni-Cd)電池は使わない。
- 電池は充電できません。
- 可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたり、分解したりしない。
- 消耗した電池は入れたままにしない。

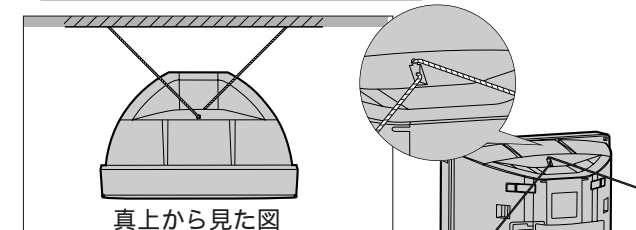
お願い
- リモコンに液状のものをかけないように。
- リモコンを落とさないように。

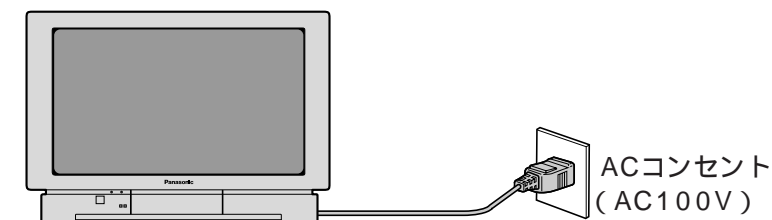
❺ 安全確保のため転倒防止をしてください

地震の場合や、テレビに登ったり、揺すったりすると倒れる恐れがあります。
- 転倒防止部品に同封の「説明書」をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。

テレビ台に固定するには

※テレビ台が
- 木製の場合は付属のワッシャー一体ねじで、
- プラスチック製の場合は、裏板固定用のねじで共締めする。

(バンドの向きは、台の種類により少し傾きます。)

壁面に固定するには

- じょうぶなひもやクサリなどで壁や柱など堅牢部にしっかり固定してください。

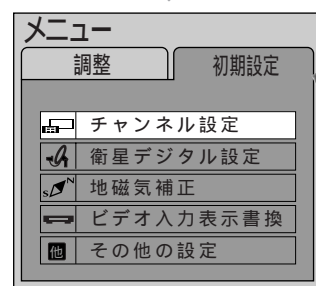
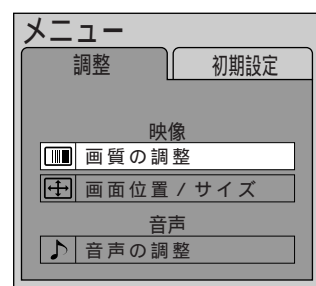
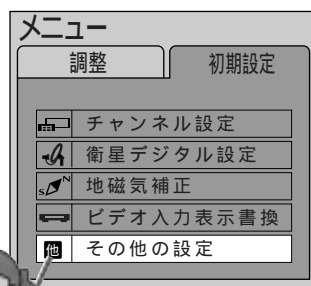
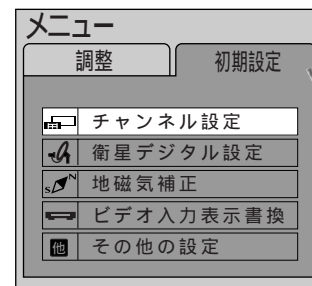
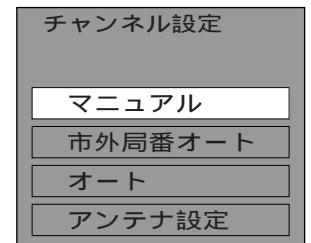
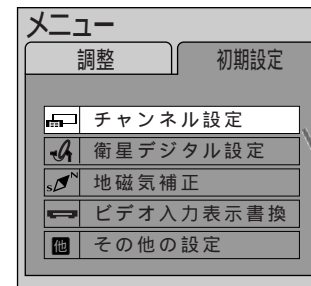
❻ 電源プラグは差し込まれていますか

❼ 電源を「入」にし、各種設定をしてください

- 各ページのイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

「初期設定」メニュー／「その他の設定」画面を出すとき

「メニュー」画面は、本機の各設定や、調整を行うための入り口です。
また、「その他の設定」画面や「チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

「チャンネル設定」画面を出すとき

チャンネル設定について

VHF（1～12）は、工場出荷時に設定済みです。従って、次の場合に設定してください。

- **UHF放送が受信できる地域。**
- **CATVや地域共聴、マンションなど。また、共同受信でテレビチャンネルが変換されていて、ご希望のチャンネルが受信できない場合。**
- **転宅（引っ越し）でチャンネルが異なる場合。**

「チャンネル設定」の種類（3種類あります）

「市外局番オート」設定（☞10ページ）

自動的に「市外局番チャンネル一覧表」（18～19ページ）の放送チャンネルを設定します。
また、設定されたチャンネルがご使用になる地域で実際に受信できるかを自動的に調べます。
（オートサーチを約2分間行います。）

- VHF／UHF放送（1～62ch）、CATV（C13～C39）の順に、放送の有無を調べます。
- 「市外局番チャンネル一覧表」に記載されている放送局が、実際には受信できなかったときは、自動的にそのチャンネルがスキップ設定されます。（飛びこし選局☞15ページ）
- 「市外局番チャンネル一覧表」に記載されていない放送局が、新たに受信できたときは、空きチャンネルに追加設定します。

例 大阪府（06）でオート設定をする場合
京都テレビが受信できず、新たにNHK教育（26チャンネル）が受信できたとき。

リモコンのボタン番号
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネル
テレビ画面に表示されるチャンネル

リモコン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放送局名	NHK教育大阪	NHK総合大阪	テレビ大阪	毎日放送		ABCテレビ	京都テレビ	関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育大阪
チャンネル	26	2	19	4		6	34	8	36	10		12
表示	26	2	19	4		6	0	8	36	10		12

電波が弱かったなどで受信できなかった放送
スキップ（飛びこし）選局となり表示チャンネルが「0」に設定されます。

「オート」設定（☞12ページ）

オート設定を選ぶと、実際に受信可能な局だけを調べて、リモコンのボタン 1 から順番にチャンネル設定します。お住まいの地域の「市外局番」と「実際に受信できる放送局」が一致しない場合に便利です。

「マニュアル」設定（☞14ページ）

お好みに合わせて、1チャンネルずつお客様ご自身で設定できます。

お知らせ

オートサーチは…

- 電波の状態によっては、きれいに受信できるチャンネルを飛ばしたり、ノイズ画面のチャンネルを設定することがあります。
  このときは、マニュアル設定で、そのチャンネルの登録や削除を行ってください。

設定操作はリモコン、本体のどちらでも可能ですが、設定の途中でリモコン操作を本体操作に変えることはできません。（その逆もできません。）
※ここではリモコンで設定する場合の説明をしています。

マニュアル設定画面について

市外局番オート設定をする

まず、
- テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。
- 6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

❶

押して、「市外局番オート」の項目を選び中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定
- マニュアル
- 市外局番オート
- オート
- アンテナ設定

⬇

チャンネル設定

チャンネル設定を行います
お住まいの地域の市外局番を
入力してください。

市外局番　－－－－－－

❷

押して、市外局番を入力する

チャンネル設定

チャンネル設定を行います
お住まいの地域の市外局番を
入力してください。

市外局番　０６－－－－

押して、番号を入力し

押して、次の桁に移動する

●市外局番一覧表は（☞18ページ）

❸

入力した市外局番を確認し、中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定（オートサーチ）
オートサーチ中です
チャンネル　１２
終了はメニューボタン

⬇ 2～3分後

チャンネル設定（確認／変更）　１／７ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

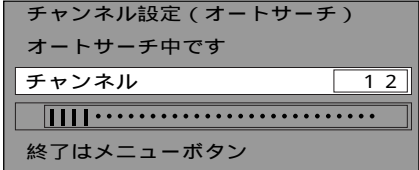
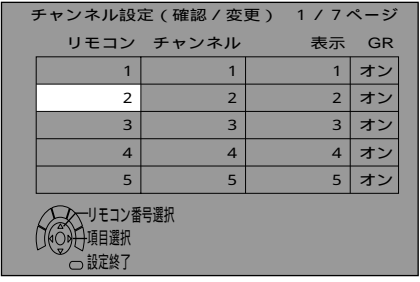
リモコン番号選択
項目選択
設定終了

❹

押して、設定内容を確認する

チャンネル設定（確認／変更）　１／７ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択
項目選択
設定終了

■変更したい設定があるときは

を押して変更する

●マニュアル設定（☞14ページ）と同様の方法で設定できます。

❺

設定内容を確認したら押す

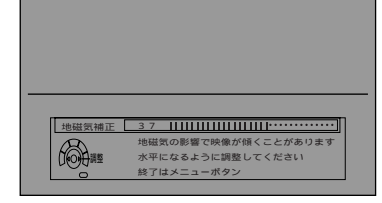
チャンネル設定（確認／変更）　１／７ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択
項目選択
設定終了

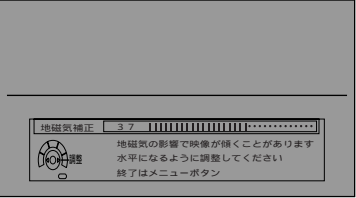
⬇

戻るを押すと「地磁気補正」の画面になります。
21ページの❷、❸の手順で設定してください。

地磁気補正　３７
地磁気の影響で映像が傾くことがあります
水平になるように調整してください
終了はメニューボタン

お知らせ
- 市外局番は、リモコンの衛星デジタル選局ボタン（⓪～⑨）でも入力できます。

お知らせ
- オートサーチを途中で中止するときは、メニューを押す。この場合、チャンネルは市外局番一覧表（☞18ページ）の設定となります。

オート設定をする

まず、
●テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。
●6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

お知らせ

●オートサーチを途中で中止するときは メニュー を押す。この場合、チャンネルは設定されません。

マニュアル設定をする

メモ 表示は次のようなときに書き換えると便利です。
- ●マンションなどの共同受信で放送と画面の表示が一致しないとき。
- ●順送り選局のときに放送のないチャンネル（ノイズ画面）が出ないようにしたいとき。
  （●「表示」を「スキップ0」に設定すると、本体やリモコンのチャンネル ∧・∨ ボタンの操作でそのチャンネルをスキップ（飛びこし）して選局します。）

まず、
- ●テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。
- ●6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

❶

押して、「マニュアル」の項目を選び中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定
- マニュアル
- 市外局番オート
- オート
- アンテナ設定

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択
項目選択
設定終了

❷

押して、設定したいリモコンの番号を選ぶ

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択
項目選択
設定終了

例 リモコンの「3」を選ぶ

「リモコン」の項目は
1〜12－予備－1〜予備－23
の順に変化します。
（自動的にページ送りします。）

押し続けると早く変化します。

※チャンネル ∧・∨ ボタンでも操作できます。

❸

押して、「チャンネル」の項目を選び

押して、設定する

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19		オン
4	4		オン
5	5		オン

変更
項目選択
設定終了

例「19」チャンネルを受信

「チャンネル」は
1〜62－C13〜C39
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

❹

押して、「表示」の項目を選び

押して、設定する

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19	3	オン
4	4	4	オン
5	5	スキップ0	オン

変更
項目選択
設定終了

例「3」に書き換える

「表示」は選局したとき画面に表示する番号です。
スキップ0〜99－C13〜C39－VTR－表示なし－BS-1〜BS-15－VTR1〜VTR9
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

- ■放送のないチャンネルを飛びこし選局するときは表示を「スキップ0」にします。
- ■続けて他のチャンネルも設定するときは手順❷〜❹の操作をくり返してください。

❺

設定内容を確認したら押す

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19	3	オン
4	4	4	オン
5	5	スキップ0	オン

変更
項目選択
設定終了

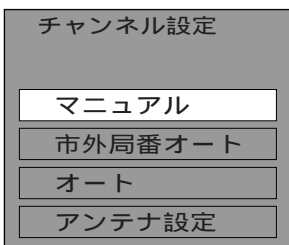
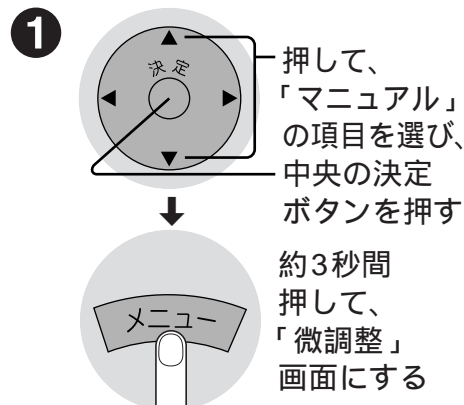
戻る を押すと「地磁気補正」の画面になります。
21ページの❷、❸の手順で設定してください。

お知らせ

予備－1〜予備－23について
リモコンのボタンだけで足りないときの予備です。
予備－1〜予備－23に設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネル ∧・∨ ボタンで選んでください。

受信チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV受信地域、マンションの共同受信システムなどで、調整を少しずらしたほうが見やすくなるときに調整します。

まず、
- 微調整したいチャンネルを選ぶ。
- 6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューにする。

❶ 押して、「マニュアル」の項目を選び、中央の決定ボタンを押す

約3秒間押して、「微調整」画面にする

チャンネル設定
- マニュアル
- 市外局番オート
- オート
- アンテナ設定

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

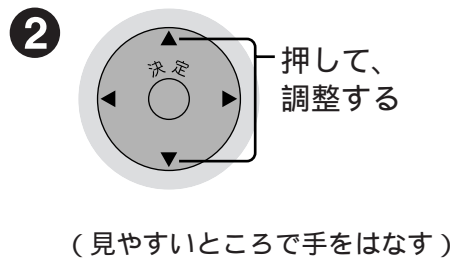
リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択
項目選択
設定終了

微　調　整	0

❷ 押して、調整する

（見やすいところで手をはなす）

微　調　整	＋　14

約10秒間、ボタン操作をしないと❶の画面に戻ります。

■「微調整」を表示中に メニュー を押すと❶の画面に戻ります。

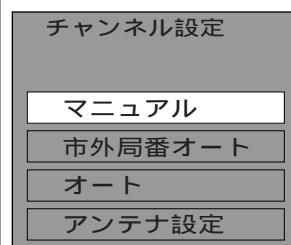
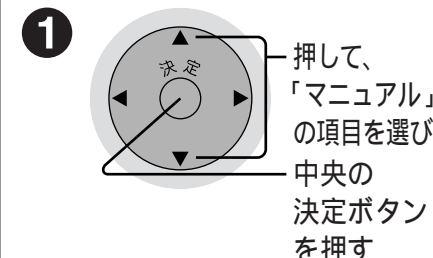
■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

（戻る ボタンを押すと地磁気補正画面になります。）

ゴーストを目立たなくしたいとき

テレビ電波のゴースト（2重、3重の映像）があるチャンネルをGR「オン」に設定すると、ゴーストの軽減された映像がお楽しみいただけます。

まず、6、7ページの操作で「チャンネル設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

❶ 押して、「マニュアル」の項目を選び中央の決定ボタンを押す

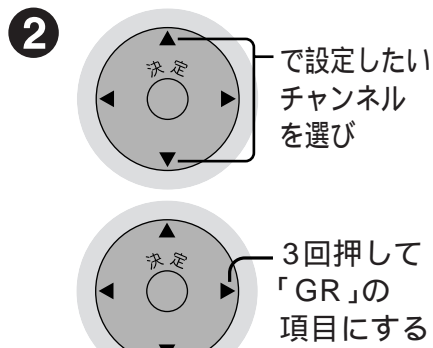
チャンネル設定
- マニュアル
- 市外局番オート
- オート
- アンテナ設定

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン

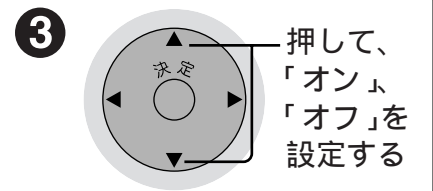
リモコン番号選択
項目選択
設定終了

❷ で設定したいチャンネルを選び

3回押して「GR」の項目にする

チャンネル設定（マニュアル）　1／7ページ

リモコン	チャンネル	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オフ
4	4	4	オン
5	5	5	オン

リモコン番号選択
項目選択
設定終了

❸ 押して、「オン」、「オフ」を設定する

「オン」……ゴーストのあるチャンネルのとき

「オフ」……ゴーストの目立たないチャンネルのとき

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

（戻る ボタンを押すと地磁気補正画面になります。）

お知らせ

- ゴースト除去に効果があるのは、放送局からの電波（「ゴースト除去基準信号」が含まれた放送）を受像するときです。ビデオの再生画像などには効果がありません。
- ゴースト除去は選局して約3秒後に大きなゴーストを軽減させ、その後残ったゴーストを順次軽減します。
- 電波が弱い場合、大きなゴーストを軽減させたとき新たなゴーストがつく場合がありますが徐々に軽減されます。
- アンテナの設置・調整時は、GR「オフ」にしてください。
- 画面表示ボタンを押して「GRオフ」または「GCR信号なし」と表示された場合はGR機能は動作しません。
- 次のような場合、GR「オフ」でご覧ください（ゴースト除去の効果が十分に得られないことがあります）。
  - ・アンテナが正確に設置・調整されてないとき（室内アンテナなど）
  - ・過大なゴーストのとき（ゴーストが残ります。）
  - ・飛行機に反射しているゴーストなど変化しているゴーストのとき
  - ・多数（10波以上）のゴーストがあるとき
- 衛星デジタル放送はGR設定できません。

市外局番チャンネル一覧表

市外局番入力チャンネル設定で入力された市外局番は、以下に記載された地域に変換され、変換された地域の放送局の組み合わせが設定されます。

■表の見かた

放送局名	表示CH	受信CH
NHK総合	1	1

■受信チャンネル
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネル

■表示チャンネル
テレビ画面に表示されるチャンネル

（※）愛媛県では下記の表以外に「愛媛朝日テレビ」が「リモコン」の「予備-1」に入ります。
松山　：受信CH・25、表示CH・25
新居浜：受信CH・14、表示CH・14

お知らせ

- 地域によっては新たな開局などで受信できる局が下表と異なる場合があります。
- 市外局番は変更される場合がありますが変更になった地域も下記の市外局番を入力してください。

都道府県	都市	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・表示チャンネル・受信チャンネル																																			
			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
			放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH	放送局名	表示CH	受信CH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1				NHK総合	3	3	テレビ北海道	17	17	札幌テレビ	5	5							北海道文化	27	27				北海道テレビ	35	35				NHK教育	12	12
	旭川	0166				NHK教育	2	2				テレビ北海道	33	33							札幌テレビ	7	7	北海道文化	37	37	NHK総合	9	9	北海道テレビ	39	39	北海道放送	11	11			
	北見	0157				NHK教育	2	2													札幌テレビ	7	7	北海道文化	59	59	NHK総合	9	9	北海道テレビ	61	61	北海道放送	53	53			
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34							NHK総合	4	4				北海道放送	6	6				北海道文化	32	32				札幌テレビ	10	10				NHK教育	12	12
	釧路	0154				NHK教育	2	2				テレビ北海道	29	29							札幌テレビ	7	7	北海道文化	41	41	NHK総合	9	9	北海道テレビ	39	39	北海道放送	11	11			
	室蘭	0143				NHK教育	2	2				テレビ北海道	29	29							札幌テレビ	7	7	北海道文化	41	41	NHK総合	9	9	北海道テレビ	39	39	北海道放送	11	11			
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	北海道文化	27	27	北海道テレビ	35	35	NHK総合	4	4				北海道放送	6	6										NHK教育	10	10				札幌テレビ	12	12
青森	青森	0177	青森放送	1	1				NHK総合	3	3				NHK教育	5	5							北海道文化	27	27				青森朝日	34	34	北海道テレビ	35	35	青森テレビ	38	38
	八戸	0178										青森朝日	31	31							NHK教育	7	7				NHK総合	9	9				青森放送	11	11	青森テレビ	33	33
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	めんこい	33	33	テレビ岩手	35	35	NHK総合	4	4	岩手朝日	31	31	岩手放送	6	6	宮城テレビ	34	34	NHK教育	8	8				東日本放送	32	32				仙台放送	12	12
宮城	仙台	022	東北放送	1	1				NHK総合	3	3				NHK教育	5	5				東日本放送	32	32				宮城テレビ	34	34							仙台放送	12	12
秋田	秋田	018				NHK教育	2	2							秋田朝日	31	31										NHK総合	9	9				秋田放送	11	11	秋田テレビ	37	37
	大館	0186	青森放送	1	1							NHK総合	4	4	秋田朝日	59	59	秋田放送	6	6				NHK教育	8	8										秋田テレビ	57	57
山形	山形	023										NHK教育	4	4	さくらんぼ	30	30	テレビユー山形	36	36				NHK総合	8	8				山形放送	10	10				山形テレビ	38	38
	鶴岡	0235	山形放送	1	1				NHK総合	3	3				さくらんぼ	24	24	NHK教育	6	6				テレビユー山形	22	22										山形テレビ	39	39
福島	福島	024	東北放送	1	1	NHK教育	2	2				テレビユー福島	31	31				福島中央	33	33	東日本放送	32	32	宮城テレビ	34	34	NHK総合	9	9	福島放送	35	35	福島テレビ	11	11	仙台放送	12	12
	会津若松	0242	NHK総合	1	1				NHK教育	3	3	テレビユー福島	47	47				福島テレビ	6	6	東日本放送	32	32	福島中央	37	37	宮城テレビ	34	34	福島放送	41	41				仙台放送	12	12
	いわき	0246				テレビユー福島	32	32				NHK総合	4	4				福島中央	34	34				福島テレビ	8	8				NHK教育	10	10				福島放送	36	36
茨城	水戸	029	NHK総合	1	44	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	46	日本テレビ	4	42	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	40				フジテレビ	8	38	千葉テレビ	46	39	テレビ朝日	10	36				テレビ東京	12	32
栃木	宇都宮	028	NHK総合	1	29	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	27	日本テレビ	4	25	とちぎテレビ	31	31	TBSテレビ	6	23				フジテレビ	8	21				テレビ朝日	10	19				テレビ東京	12	17
群馬	前橋	027	NHK総合	1	52	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	50	日本テレビ	4	54	群馬テレビ	48	48	TBSテレビ	6	56	放送大学	16	40	フジテレビ	8	58	テレビ埼玉	38	38	テレビ朝日	10	60				テレビ東京	12	62
埼玉	浦和	048	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	テレビ埼玉	38	38	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	群馬テレビ	48	48	テレビ東京	12	12
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	テレビ埼玉	38	38	テレビ東京	12	12
東京	東京	03	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8	千葉テレビ	46	46	テレビ朝日	10	10	テレビ埼玉	38	38	テレビ東京	12	12
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	東京メトロポリタン	14	14	NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	放送大学	16	16	TBSテレビ	6	6	TVKテレビ	42	42	フジテレビ	8	8				テレビ朝日	10	10				テレビ東京	12	12
新潟	新潟	025							新潟テレビ21	21	21	テレビ新潟	29	29	新潟放送	5	5							NHK総合	8	8				新潟総合	35	35				NHK教育	12	12
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	北陸放送	6	6	NHK総合	3	3	石川テレビ	37	37				チューリップ	32	32										NHK教育	10	10				富山テレビ	34	34
石川	金沢	076	北日本放送	1	1				富山テレビ	34	34	NHK総合	4	4				北陸放送	6	6	北陸朝日	25	25	NHK教育	8	8				テレビ金沢	33	33				石川テレビ	37	37
福井	福井	0776							NHK教育	3	3							北陸放送	6	6							NHK総合	9	9				福井放送	11	11	福井テレビ	39	39
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1				NHK教育	3	3	日本テレビ	4	4	山梨放送	5	5	テレビ山梨	37	37	TBSテレビ	6	6	フジテレビ	8	8				テレビ朝日	10	10				テレビ東京	12	12
長野	長野	026				NHK総合	2	2				長野朝日	20	20				テレビ信州	30	30							NHK教育	9	9	長野放送	38	38	信越放送	11	11			
	飯田	0265	長野朝日	44	44				NHK教育	3	3	NHK総合	4	4				信越放送	6	6				テレビ信州	42	42				長野放送	40	40						
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1				NHK総合	3	39				中部日本放送	5	5	テレビ愛知	25	25	岐阜放送	37	37	三重テレビ	33	33	NHK教育	9	9				名古屋テレビ	11	11	中京テレビ	35	35
静岡	静岡	054				NHK教育	2	2				静岡第一	31	31				静岡朝日	33	33							NHK総合	9	9				静岡放送	11	11	テレビ静岡	35	35
	浜松	053	東海テレビ	1	1	静岡第一	30	30				NHK総合	4	4	中部日本放送	5	5	静岡放送	6	6	テレビ愛知	25	25	NHK教育	8	8				静岡朝日	28	28				テレビ静岡	34	34
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1				NHK総合	3	3				中部日本放送	5	5	岐阜放送	37	37	中京テレビ	35	35	三重テレビ	33	33	NHK教育	9	9				名古屋テレビ	11	11	テレビ愛知	25	25
三重	津	059	東海テレビ	1	1	テレビ愛知	25	25	NHK総合	3	31	毎日放送	4	4	中部日本放送	5	5	朝日放送	6	6	三重テレビ	33	33	関西テレビ	8	8	NHK教育	9	9	読売テレビ	10	10	名古屋テレビ	11	11	中京テレビ	35	35
滋賀	大津	077				NHK総合	28	28				毎日放送	4	36				朝日放送	6	38	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	40	びわ湖放送	30	30	読売テレビ	10	42				NHK教育	46	46
京都	京都	075				NHK総合	2	32	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4				朝日放送	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10				NHK教育	12	12
大阪	大阪	06				NHK総合	2	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4				朝日放送	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10				NHK教育	12	12
兵庫	神戸	078				NHK総合	2	28	サンテレビ	36	36	毎日放送	4	18	テレビ大阪	19	19	朝日放送	6	20				関西テレビ	8	22				読売テレビ	10	24				NHK教育	12	26
奈良	奈良	0742				NHK総合	2	2	テレビ大阪	19	19	毎日放送	4	4	NHK奈良	51	51	朝日放送	6	6	京都テレビ	34	34	関西テレビ	8	8	サンテレビ	36	36	読売テレビ	10	10	奈良テレビ	55	55	NHK教育	12	12
和歌山	和歌山	073				NHK総合	2	32				毎日放送	4	42	テレビ和歌山	30	30	朝日放送	6	44				関西テレビ	8	46				読売テレビ	10	48				NHK教育	12	26
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1				NHK総合	3	3	NHK教育	4	4																山陰放送	22	22				山陰中央	24	24
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30													NHK総合	6	6				山陰中央	34	34				山陰放送	10	10				NHK教育	12	12
	浜田	0855				NHK総合	2	2	日本海テレビ	54	54				山陰放送	5	5							山陰中央	58	58	NHK教育	9	9									
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	テレビせとうち	23	23	NHK教育	3	3				NHK総合	5	5				瀬戸内海放送	25	25				西日本放送	9	9				山陽放送	11	11			
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31				NHK総合	3	3	中国放送	4	4							NHK教育	7	7				広島ホーム	35	35							広島テレビ	12	12
	福山	0849	テレビ新広島	54	54				NHK教育	3	3				NHK総合	5	5				中国放送	7	7				広島ホーム	57	57				広島テレビ	11	11			
山口	山口	083	NHK教育	1	1	九州朝日	2	2	テレビQ	23	23	山口朝日	28	28	大分放送	5	5				テレビ山口	38	38	RKB毎日	8	8	NHK総合	9	9	テレビ西日本	10	10	山口放送	11	11	福岡放送	35	35
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	テレビ大阪	19	19	NHK総合	3	3	毎日放送	4	4	テレビ和歌山	55	55	朝日放送	6	6	サンテレビ	36	36	関西テレビ	8	8				読売テレビ	10	10				NHK教育	12	38
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19				NHK教育	39	39	毎日放送	4	4	NHK総合	37	37	朝日放送	6	6	瀬戸内海放送	33	33	関西テレビ	8	8	西日本放送	9	9	読売テレビ	10	10	山陽放送	29	29	岡山放送	31	31
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	NHK教育	2	2	広島テレビ	12	12	広島ホーム	35	35	テレビ新広島	31	31	NHK総合	6	6	瀬戸内海放送	33	33	あいテレビ	29	29	西日本放送	9	9	南海放送	10	10	山陽放送	11	11	愛媛放送	37	37
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	NHK総合	2	2	広島テレビ	12	12	NHK教育	4	4	テレビ新広島	31	31	南海放送	6	6	瀬戸内海放送	33	33	あいテレビ	27	27	西日本放送	9	9	広島ホーム	35	35	山陽放送	11	11	愛媛放送	36	36
高知	高知	0888										NHK総合	4	4				NHK教育	6	6				高知放送	8	8				テレビ高知	38	38	高知サンサン	40	40			
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	サガテレビ	36	36	NHK総合	3	3	RKB毎日	4	4	テレビQ	19	19	NHK教育	6	6							テレビ西日本	9	9				熊本放送	11	11	福岡放送	37	37
	北九州	093				九州朝日	2	2	福岡放送	35	35	サガテレビ	36	36	テレビQ	23	23	NHK総合	6	6				RKB毎日	8	8				テレビ西日本	10	10	熊本放送	11	11	NHK教育	12	12
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	NHK教育	40	40	福岡放送	52	52	サガテレビ	36	36	テレビQ	14	14	テレビ熊本	34	34	長崎放送	5	5	RKB毎日	48	48	NHK総合	38	38	テレビ西日本	60	60	熊本放送	11	11	テレビ長崎	37	37
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	九州朝日	57	57	NHK総合	3	3	RKB毎日	4	4	長崎放送	5	5	テレビ熊本	34	34	長崎国際	25	25	テレビ西日本	9	9	長崎文化	27	27	熊本放送	11	11	テレビ長崎	37	37	熊本県民	22	22
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	NHK教育	2	2	熊本朝日	16	16	熊本県民	22	22	長崎放送	5	5	テレビ熊本	34	34	テレビ長崎	37	37	サガテレビ	36	36	NHK総合	9	9	テレビQ	19	19	熊本放送	11	11	RKB毎日	4	4
大分	大分	097	九州朝日	1	1				NHK総合	3	3	RKB毎日	4	4	大分放送	5	5	南海放送	10	10	テレビ大分	36	36	福岡放送	37	37	大分朝日	24	24	テレビQ	19	19	テレビ西日本	9	9	NHK教育	12	12
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1				テレビ宮崎	35	35										鹿児島放送	32	32	NHK総合	8	8	鹿児島テレビ	38	38	宮崎放送	10	10				NHK教育	12	12
	延岡	0982				NHK教育	2	2				NHK総合	4	4				宮崎放送	6	6				テレビ宮崎	39	39												
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	テレビ熊本	34	34	NHK総合	3	3	テレビ宮崎	35	35	NHK教育	5	5	宮崎放送	10	10	鹿児島放送	32	32	熊本県民	22	22	鹿児島テレビ	38	38	熊本朝日	16	16	鹿児島読売	30	30			
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	テレビ熊本	34	34				鹿児島放送	23	23				鹿児島テレビ	35	35	熊本県民	22	22	NHK総合	8	8	熊本朝日	16	16	南日本放送	10	10	熊本放送	11	11	NHK教育	12	12
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	NHK総合	2	2																沖縄テレビ	8	8				琉球放送	10	10				NHK教育	12	12

平成13年12月現在

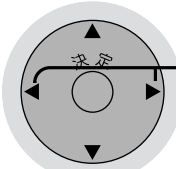
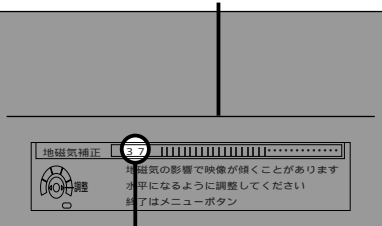
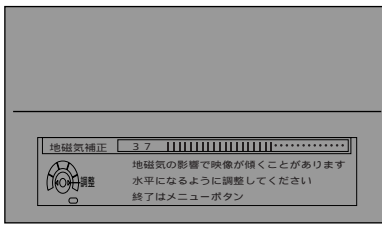
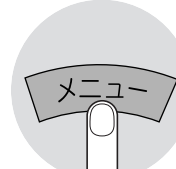
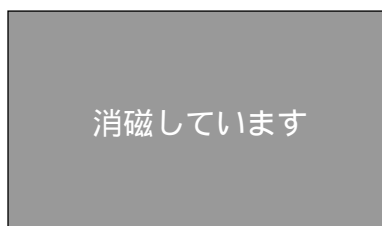
自動で拡大画面にしたくないとき

「セルフワイド」機能で、4：3の普通の映像をそのまま見るときに設定します。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

映像の傾きの調整 「地磁気補正」

本機の設置場所を変えたときなど、地磁気の影響で映像が少し傾いたときに調整します。

まず、①電源を「切」にし、テレビの設置場所を決める。②電源を入れて、テレビ画面にする。③約20分後6ページの操作で「初期設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

画面の向き	調整値の目安
北	10 付近
東・西	31 付近
南	50 付近

❸

押して、
設定を
終了する

消磁しています

- 「カチッ」と音がして上の表示が出ます。（一瞬画面が乱れます）
- もう一度「カチッ」と音がして表示が消えます。（設定終了）

約5秒後

お知らせ

「その他の設定」画面は4ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

ビデオなどを接続するとき

「モニター出力停止設定」
ビデオ入力1～4、色差ビデオ1～2およびi.LINK端子に接続した機器の映像・音声を、モニター出力させない設定です。

まず、 6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ

- 1台のビデオに例えば「ビデオ入力1」と「モニター出力」を接続するときはビデオ１に設定してください。
- i.LINK端子にi.LINK機器を接続しているときは、「ビデオ1～4」「色差ビデオ1、2」以外にi.LINK機器も設定できます。

コンポーネントビデオ入力に525p（順次走査）信号を入力時の設定 「525p色マトリックス」

コンポーネントビデオ入力端子に接続した機器の出力が525p（480p）方式の場合、接続する機器の色が自然な色あいになるほうに設定します。

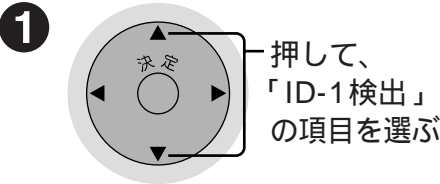
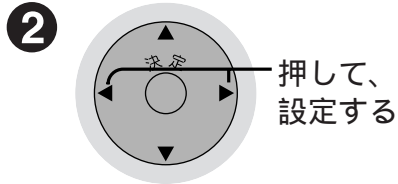
まず、 6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

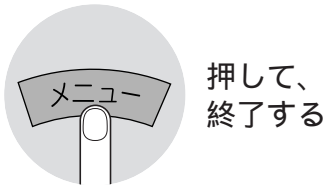
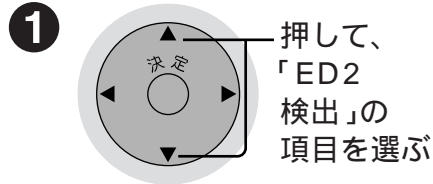
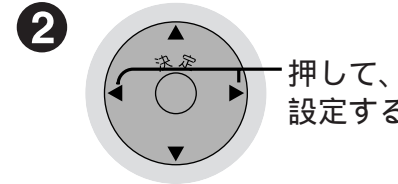
お知らせ

「525p色マトリックス」は1125i（1080i）や、525i（480i）、750p（720p）出力の機器を接続する場合には関係ありません。

ビデオ入力などのとき、自動的に画面サイズを切換える「ID-1検出」

ビデオ入力（1〜4）の映像信号や、ビデオ入力（1〜4）のS2映像信号、コンポーネントビデオ入力（1〜2）の525i（480i）又は525p（480p）信号に、画面サイズの識別信号がある場合、画面サイズを自動的に切換えます。

まず、 6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、自動的に画面サイズを切換える「ED2検出」

まず、 6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ

- ED2検出「オン」設定時（☞25ページ）も、ID-1検出が優先されます。
- 1画面のとき、ID-1検出が働いて画面サイズが変わると フル または ワイド と画面表示します。
- 2画面でご覧のときは左右どちらもID-1検出が働きます。

お知らせ

- ED2検出が働いて画面サイズが変わると ワイド と画面表示します。
- 2画面でご覧のときはED2検出は働きません。
- 「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると、ワイド にはなりません。このときは 画面モード ボタンを1回押して「セルフワイド」にしてください。

ビデオ入力の表示を書き換える

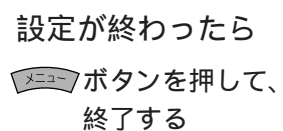
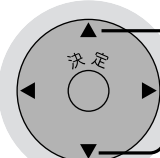
ビデオやゲーム機などの接続に合わせて、ビデオ入力の表示を書き換えることができます。

まず、 6ページの手順で「初期設定」メニューを出し、次の操作で設定します。

例 ビデオ3を「DVD」に書き換えるとき

■「ゲーム」に設定したときは
- テレビゲームに適した映像、音声に自動調整します。
- テレビゲームを楽しむときは（☞B編：19ページ）

■設定が終わったら

メニューボタンを押して、終了する

お知らせ
- 表示書換えで DVD や デジタルチューナー を選ぶと、各入力に合わせて、見やすい映像に自動調整します。

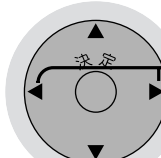
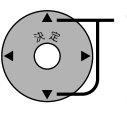
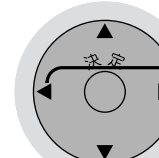
テレビの電波が強過ぎる地域などで

映像が不安定になるとき

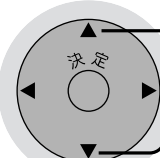
テレビの電波が強すぎて映像が不安定になるときはアッテネーターを「オン」にします。

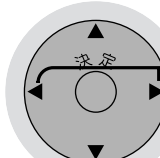
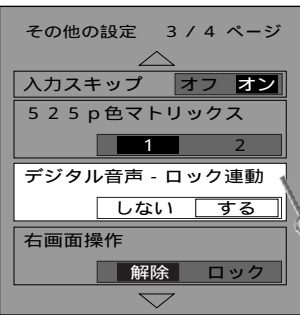
まず、 6、7ページの操作で「チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ
- アッテネーター「オフ」、「オン」は地上波放送（UHF／VHF）の場合のみ有効です。（衛星デジタル放送には関係ありません）

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生する「デジタルシネマリアリティ」

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

接続の無い外部入力をスキップする「入力スキップ」

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ

● 「デジタルシネマリアリティ」を「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された再生映像がより高画質にご覧になれます。
●再生映像を「オン」でご覧になると、不自然な映像になる場合があります。この場合は「オフ」でご覧ください。

デジタル音声-ロック連動の設定

予約録画で光デジタル音声端子からの録音中に本機のチャンネルを変えても、音声が確実に録音できるように設定できます。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

❶ 押して、「デジタル音声ーロック連動」の項目を選ぶ

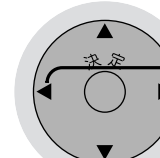
●「その他の設定」画面は4ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

❷ 押して、設定する

「する」……予約録画が実行されているとき、予約録画の番組の音声を出力
「しない」…現在選局中の音声を出力

押して、終了する

BS DIGITAL表示を点灯させないとき

本体前面のBS DIGITALマークのランプを点けるか消すかの設定ができます。

まず、6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

❶ 押して、「BS DIGITAL表示」の項目を選ぶ

●「その他の設定」画面は4ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

❷ 押して、設定する

「する」……BSデジタル放送受信時、本体前面のBS DIGITALマークが点灯します。
「しない」…常にBS DIGITALマークは点灯しません。

押して、終了する

お知らせ

- デジタル音声出力の設定（☞62ページ）を「PCM」にしてご使用ください。（デジタル音声出力を「自動」に設定していると、3ch以上のステレオ放送ではAAC出力になります。）
- 衛星デジタル放送の番組により、録音できない場合があります。事前に番組内容を確認してください。（☞A編：13ページ）
- 予約録画とは予約設定で予約方式を「録画」に設定する予約です。（☞A編：22ページ）

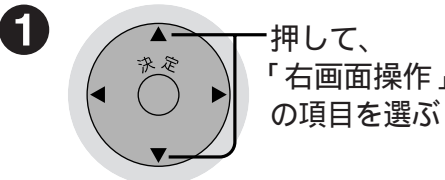
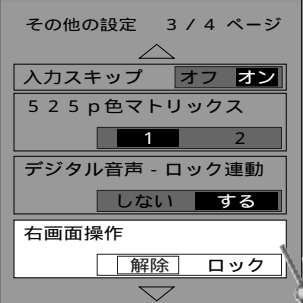
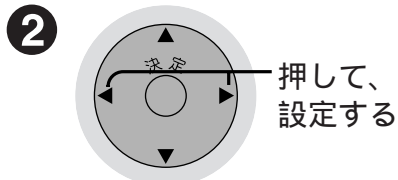
2画面で

右画面の操作を優先させたいとき

「右画面操作」

まず、 6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

❶ 押して、「右画面操作」の項目を選ぶ

❷

右画面操作
解除　ロック

「解除」　…右画面操作中に約10秒操作がないと、自動的に右画面操作モードを解除します。
「ロック」…右画面操作ボタンを再度押すまで、右画面操作モードを続けます。

押して、終了する

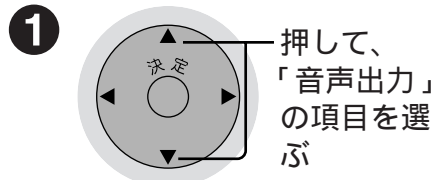
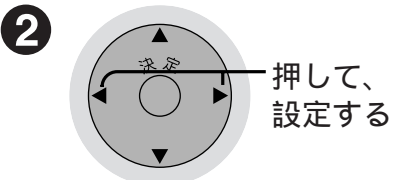
●「その他の設定」画面は4ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ

● 右画面操作「ロック」に設定して右画面操作中でも、メニューボタンなどを押して右画面操作アイコンが消えた場合は、操作対象が左画面に切換わります。

2画面で

音声を聞きたい画面を切換える「音声出力」

まず、 6ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。

お知らせ

● 1画面のときは、設定できません。
●「音声出力」の設定に関係なく、映像メニューや音声メニューは常に左画面の設定のものになります。
● 電源を「切」「入」したり、2画面から1画面にすると、設定は「左音声」に戻ります。
● 音声出力の設定を「右音声」に設定中、本機背面のモニター出力からは、右画面の音声を出力します。

「衛星デジタル設定」画面を出すとき

「衛星デジタル設定」画面は、衛星デジタルの各設定や、調整を行うための入り口です。
また、「衛星初期設定」画面や「衛星チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

「衛星デジタル設定」画面を出す

「衛星初期設定」画面／「衛星チャンネル設定」画面を出すとき

「衛星初期設定」画面を出す

「衛星チャンネル設定」画面を出す

❹

押して、「衛星チャンネル設定」を選び

中央の決定ボタンを押して、「チャンネル設定ネットワーク選択」画面にする

押して、「BS」「CS1」「CS2」を選び、

中央の決定ボタンを押して、「衛星チャンネル設定」画面にする

例 BSを選ぶ

●「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

●「衛星初期設定」画面は2ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ

●「衛星初期設定」画面の2／2ページに「受信設定」の項目がありますが、この設定は衛星デジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。設定を変更すると衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

次ページへ続く

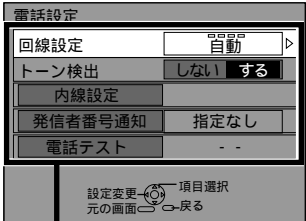
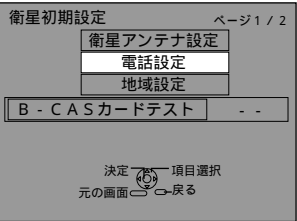
電話設定

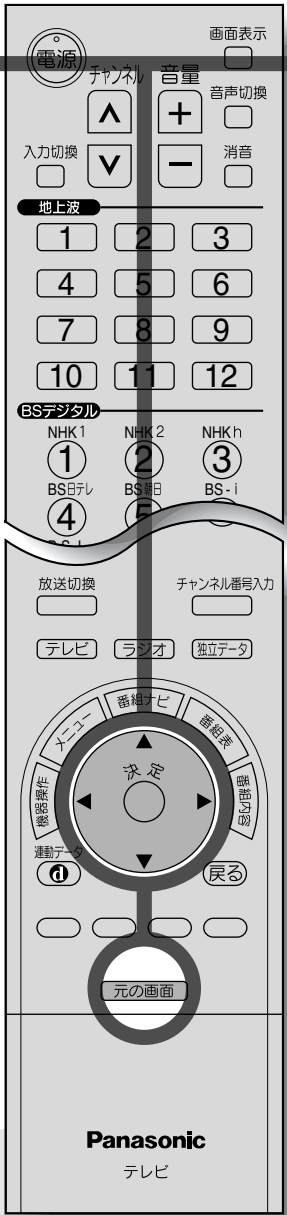
衛星デジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われるため、必ず電話回線の接続（☞53ページ）をしたうえ、電話設定を行ってください。

まず、 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

電話設定画面の出しかた

押して、「電話設定」を選び、

中央の決定ボタンを押して決定する

回線設定 ----▷37ページ
トーン検出の設定 ----▷37ページ
内線設定 ----▷38ページ
発信者番号通知 ----▷39ページ
電話テスト ----▷39ページ

● 各項目の設定、テストを行ってください。

回線設定

本機に接続された電話回線に合わせて設定を行います。工場出荷時は「自動」に設定されています。

「回線設定」を選び、

切換える

自　動 …「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。

プッシュ … プッシュ回線を使用している場合に設定してください。

ダイヤル20 … 20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

ダイヤル10 … 10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

トーン検出の設定

トーン検出は本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。工場出荷時は「する」に設定されています。

「トーン検出」を選び、

切換える

する … 通常はこの設定でご使用ください。

しない … 受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

お知らせ

● 1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

次のような症状がでるときは

電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

● 本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る
この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

● 電話機にノイズ（雑音）が入る
この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

お知らせ

● 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。

● 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。

● ターミナルアダプターのアナログポートに接続するときは、回線設定は「プッシュ」にしてください。

● 接続する回線によっては、回線設定「自動」ではうまく働かない場合があります。そのような場合には、接続する電話回線に合わせて設定してください。

お知らせ

●「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。

● 回線設定が「自動」に設定されているときは、トーン検出は「する」に固定されます。

電話設定（つづき）

発信者番号通知

本機が電話をかける際にお使いの「電話番号」を相手に通知するか否かを設定します。

「発信者番号通知」を選び、切換える

- 指定なし … 登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号通知を通知するか否かは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。
- 通知する … 登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。
- 通知しない … 登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

電話テスト

「電話設定」が正しく設定されているか否かを確認します。テストには1分程度の時間がかかる場合があります。

「電話テスト」を選び、中央の決定ボタンを押す

● 電話テストが開始されます。

電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

- OK … 正常終了しました。
- NG … 不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
- テスト中 … テスト中です。
- ーー … テストをしていない状態です。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

お知らせ

- すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は❷の手順で何も入力せずに 決定 ボタンを押し、❸の手順で◀▶ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンで1つ前の画面に戻せます。

お知らせ

- 電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
- 電話テストで回線接続中は接続先までの電話料金がかかる場合があります。

地域設定

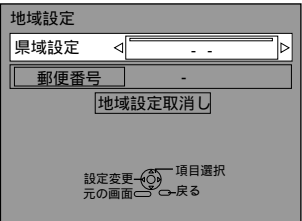
「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

まず、 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

県域設定

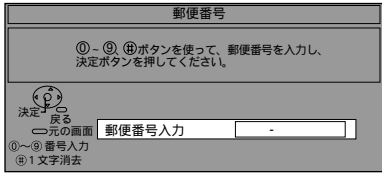
お住まいの都道府県を設定します。

お願い

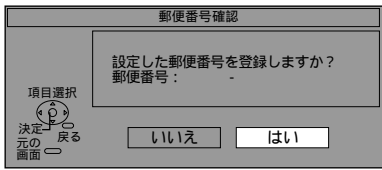
- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号（7桁）を設定します。

❶ 「郵便番号」を選び、中央の決定ボタンを押す

❷ 7桁の郵便番号を入力し、

中央の決定ボタンを押す

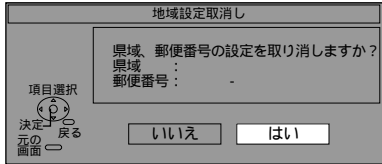
- ＃ ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取消すことができます。

❸ 登録確認画面の はい または いいえ を選び、押す

はい …入力した郵便番号が登録されます。

いいえ …入力した郵便番号が取消され「地域設定」画面に戻ります。

地域設定取消し

設定した「県域設定」と「郵便番号」を工場出荷時に戻します。

❶ 「地域設定取消し」を選び、中央の決定ボタンを押す

❷ 確認画面の はい または いいえ を選び、中央の決定ボタンを押す

はい …「県域設定」と「郵便番号」の設定値を工場出荷状態に戻します。

いいえ …「地域設定」画面に戻ります。

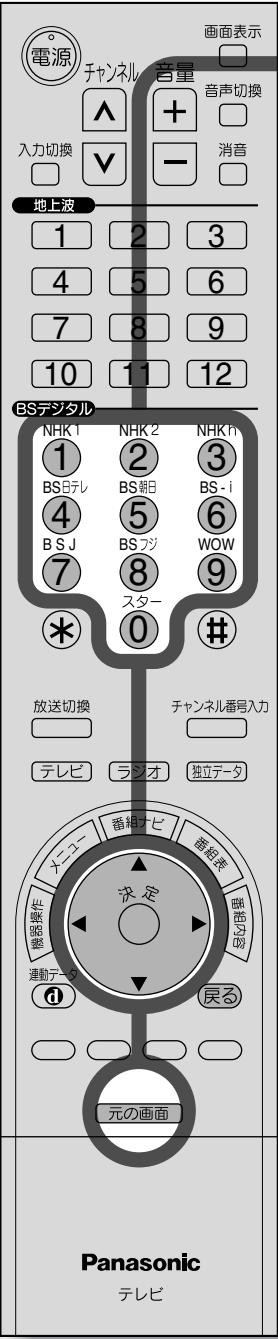
お知らせ

設定が終わったら

- 戻る ボタンを押す → 1つ前の画面に戻ります。
- 元の画面 ボタンを押す → 設定画面が消えます。

衛星チャンネルの設定

リモコンの数字ボタンで選局できるプリセット選局のチャンネルをお好みのチャンネルに設定できます。

まず、 34、35ページの操作で「衛星チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

（例）⑤ ボタンにBSデジタルの102チャンネルを設定する場合

❶ 押して、設定したいリモコン番号を選び、「CH」の項目を選ぶ

❷ 押して、チャンネル番号を選ぶ

■続けて設定したい場合

押して、「リモコン」の項目を選び手順❶から操作する

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す（設定終了）

- 「チャンネル設定」画面が消えます。

お知らせ

- プリセット選局についてはB編：22ページをご覧ください。
- チャンネル番号は、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力しても選べます。
- 「リモコン」項目の11～30に設定したチャンネルは、選局対象の設定を「お好み」にした場合に順送り選局ができます。（☞A編：42ページ）

衛星アンテナ設定

**本機から衛星アンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」／「オフ」を設定します。
工場出荷時は「オフ」に設定されています。
また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。**

まず、 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

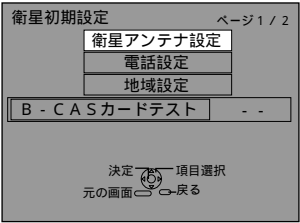
❶

押して「衛星アンテナ設定」を選び、

中央の決定ボタンを押す

衛星初期設定　ページ1／2
衛星アンテナ設定
電話設定
地域設定
B－CASカードテスト　－－
決定　項目選択
元の画面　戻る

衛星アンテナ設定
アンテナ電源　オフ　オン
説明
設定変更
元の画面　戻る
アンテナレベル
BS Digital 受信中　現在 62　最大 68

❷

押して切換える

アンテナ電源　オフ　オン

オン … 個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。

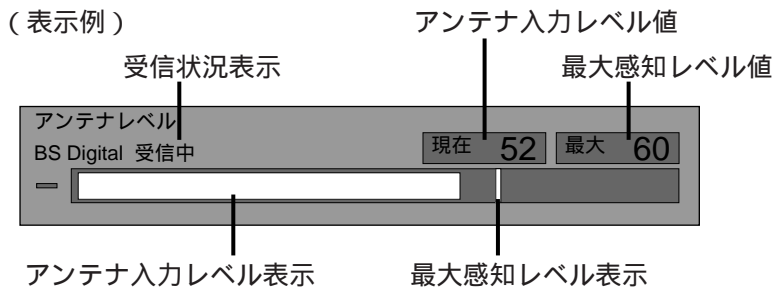
オフ … マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

■設定が終わったら

メニュー ボタンを押す

アンテナ入力レベルの確認と調整

「衛星アンテナ設定」画面で現在選局しているチャンネルのアンテナ入力レベルの確認ができます。
アンテナ入力レベル表示を見ながら衛星アンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選局し、調整してください。
アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital受信中」「SKY PerfecTV!受信中」などと表示されます。表示が出ている状態でアンテナ入力レベル表示が最大になる向きをさがし、その向きにアンテナを固定してください。

（表示例）

最大感知レベル表示 最大感知レベル値	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
アンテナ入力レベル表示 アンテナ入力レベル値	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
受信状況表示	BS・110度CSデジタル放送を受信すると「○○○○○受信中」※と表示されます。

※○○○○○は放送によって異なります。

お知らせ

● 引き続き「電話設定」を行う場合は36ページをご覧ください。

お願い

● アンテナの仰角・方位角の調整方法は衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
● アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。
● 受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ再度、アンテナを調整してください。

お知らせ

● アンテナの最大入力レベルは、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。
● 110度CSデジタル放送を受信してアンテナ調整を行った場合、それでBSデジタル放送も受信できます。
（改めてBSデジタル放送を受信してBS用に調整する必要はありません。）

受信設定／設定項目リセット

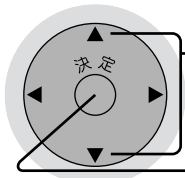
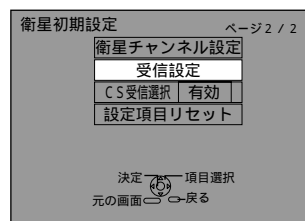
CS受信選択／B-CASカードテスト

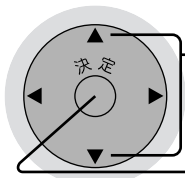
まず、 34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

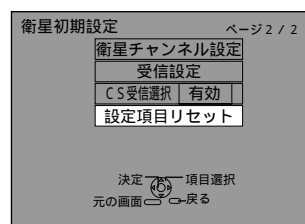
受信設定

押して、
「受信設定」を選び、

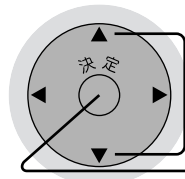
中央の決定ボタンを押す

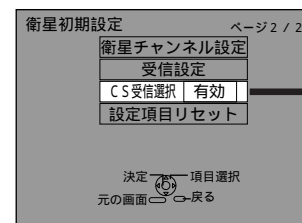
衛星初期設定　ページ2／2
衛星チャンネル設定
受信設定
CS受信選択　有効
設定項目リセット
決定　項目選択
元の画面　戻る

「受信設定」画面での設定は、衛星デジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更すると衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

設定項目リセット

押して、
「設定項目リセット」を選び、

中央の決定ボタンを押す

「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」の設定値を工場出荷値に戻します。
正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。

CS受信選択

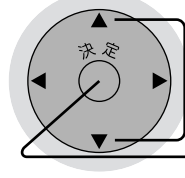
本機で110度ＣＳデジタル放送を受信するかどうかを設定します。

押して、
「CS受信選択」を選び、

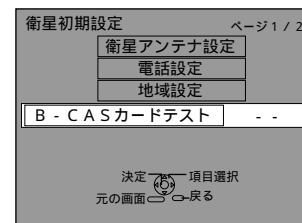
中央の決定ボタンを押して、
設定画面にする

◀▶で「有効」「無効」を選び、中央の決定ボタンを押す。

有効 …110度CSデジタル放送の受信機能が有効になります。
（通常は、こちらでお使いください。）

無効 …110度CSデジタル関連の機能が無効になります。
BSデジタル放送のみをご覧になる場合に設定すると、使わないCS関連の機能が表示されなくて便利です。

B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。
本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。

押して、
「B-CASカードテスト」を選び、

中央の決定ボタンを押す

B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。

OK …正常に動作しています。

NG …正常に動作していません。
B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。
（☞52ページ）

テスト中 …テスト中です。

－－ …テストをしていない状態です。

■「B-CASカードテスト」が終わったら

元の画面 ボタンを押す

お願い ● B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。

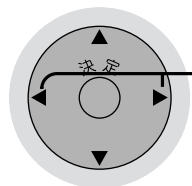
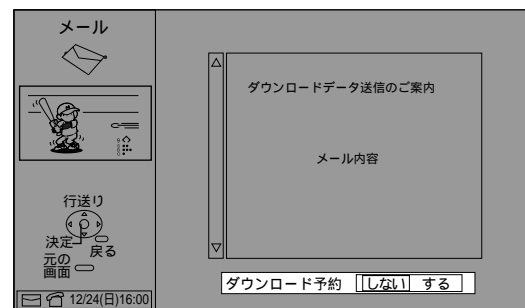
ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。
1つは、機能向上などの重要なダウンロード、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの選択ができるダウンロードです。

- 重要なダウンロード情報が届いた場合、右頁の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、電源オフ（機能待機）状態時に自動的にダウンロードが行われます。
- お客様が選択するダウンロード情報や、「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合に重要なダウンロード情報が届いた場合、ダウンロード予約選択メールが届きます。

下記の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

「ダウンロード予約選択メール」画面での設定方法

まず、A編：47ページの手順でダウンロード予約のメールを確認する。

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択することにより、ダウンロード予約が設定され、電源オフ（機能待機）状態時に、自動的にダウンロードを行います。

しない、する を選ぶ

ダウンロード予約選択メール

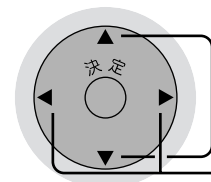
しない …ダウンロードを行わない場合に選びます。
する …ダウンロードを行う場合に選びます。

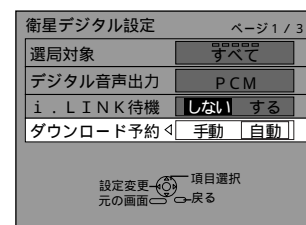
■ 戻る ボタンでメールの一覧画面に戻る。

ダウンロード予約の自動／手動の設定

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールで「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。工場出荷時は「自動」に設定されています。

まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

❶

押して「ダウンロード予約」を選び

「自動」「手動」を切換える

●「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

自動 …重要なダウンロード情報が届けば、電源オフ（機能待機）状態時に自動的にダウンロードを行います。（ふだんはこちらでご使用ください。）

手動 …ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。（本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的には受けられなくなりますのでご注意ください。）

❷ 元の画面 ボタンを押す（設定終了）

- 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届くことがあります。（☞A編：47ページ）
- ダウンロードは、悪天候の時などに失敗する場合があります。この場合、ダウンロード失敗のメールが届きます。（☞A編：47ページ）

アンテナ線の接続

アンテナ線を加工する

同軸ケーブル（別売）を加工する

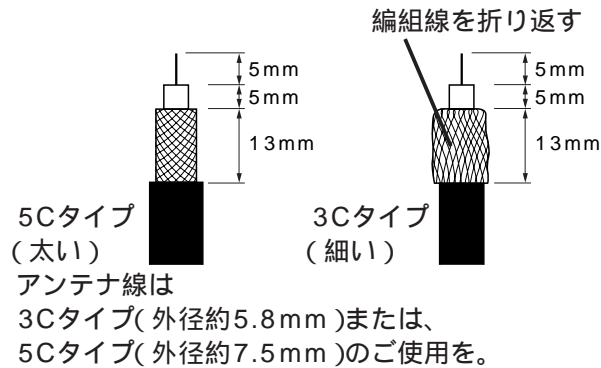
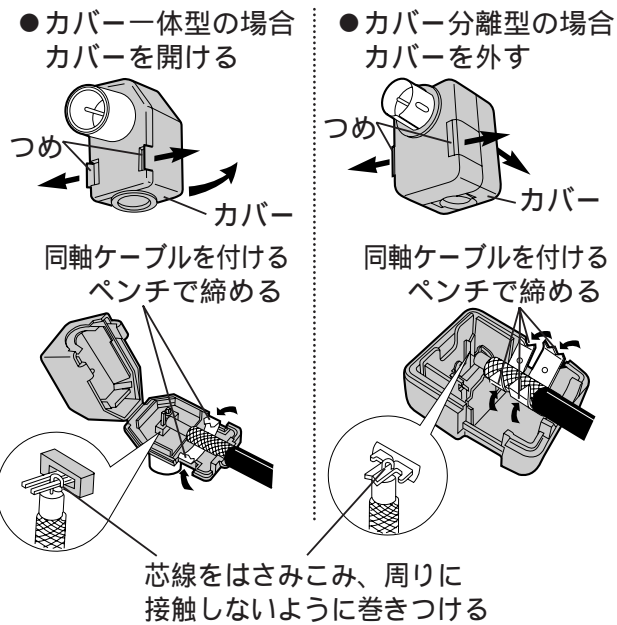
アンテナ線は
3Cタイプ（外径約5.8mm）または、
5Cタイプ（外径約7.5mm）のご使用を。

アンテナプラグ（付属）に取り付ける

●カバー一体型の場合
①カバーを開ける

●カバー分離型の場合
①カバーを外す

つめ
カバー

②同軸ケーブルを付ける
ペンチで締める

芯線をはさみこみ、周りに接触しないように巻きつける

F型接栓（別売）を取り付ける

ケーブルの太さに応じたF型接栓（別売）を使用ください。

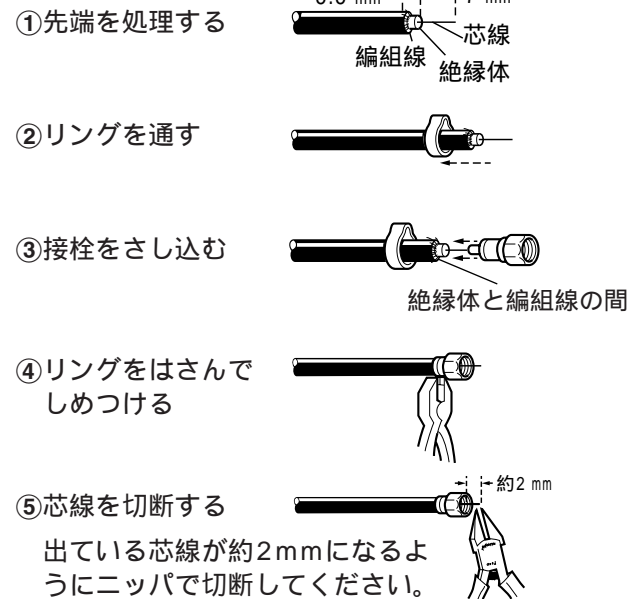
①先端を処理する

②リングを通す

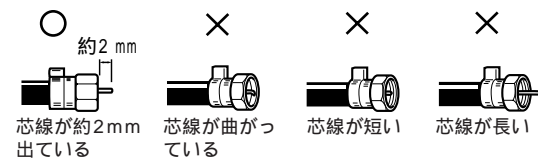
③接栓をさし込む

絶縁体と編組線の間

④リングをはさんでしめつける

⑤芯線を切断する
出ている芯線が約2mmになるようにニッパで切断してください。

約2 mm

お願い

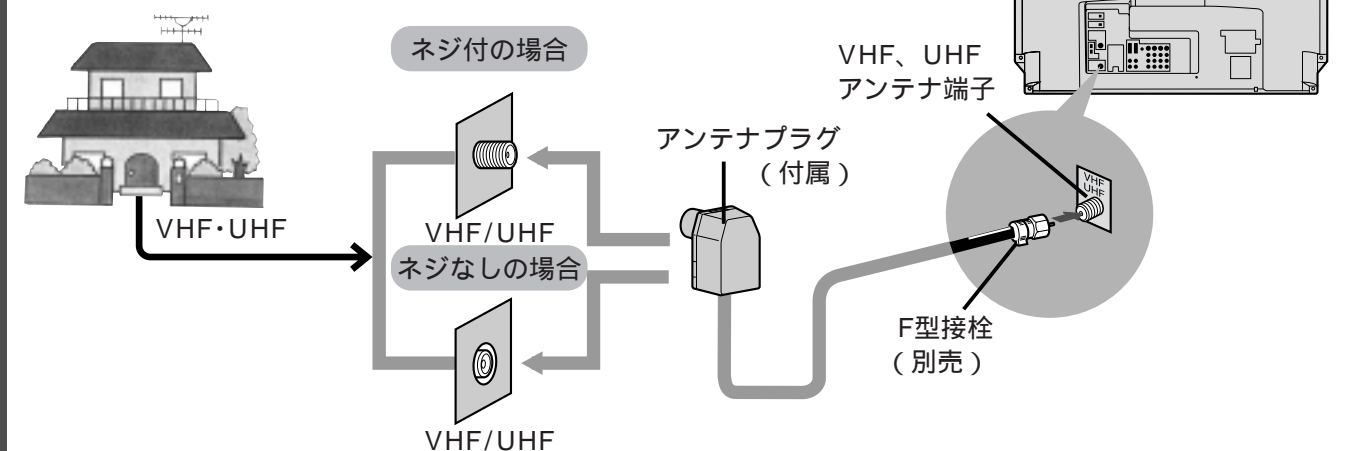
ケーブルの先端処理をする場合、芯線に傷をつけないようにしてください。芯線と編組線が接触（タッチ）しないようにしてください。また、先端が曲がっていたり、短かったりしますと接触不良の原因となります。長すぎると、コンバーター部の破損につながる可能性があります。芯線が接栓より約2 mm飛び出す状態に加工してください。

お知らせ

- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。
  ※電波が強すぎて映像が不安定になったり、FMラジオ放送の影響で映像・音声に妨害が入る場合は、お求めの販売店にご相談ください。
- ビデオなどをご使用の場合は、ビデオなどの取扱説明書もご覧ください。

本機が受信できる放送の種類

VHF	：1〜12チャンネル
UHF	：13〜62チャンネル
CATV	：C13〜C38チャンネル
BS／CS	：BS・110度CSデジタル放送（従来のアナログBS放送は受信できません。）

壁面にアンテナコンセントがある場合

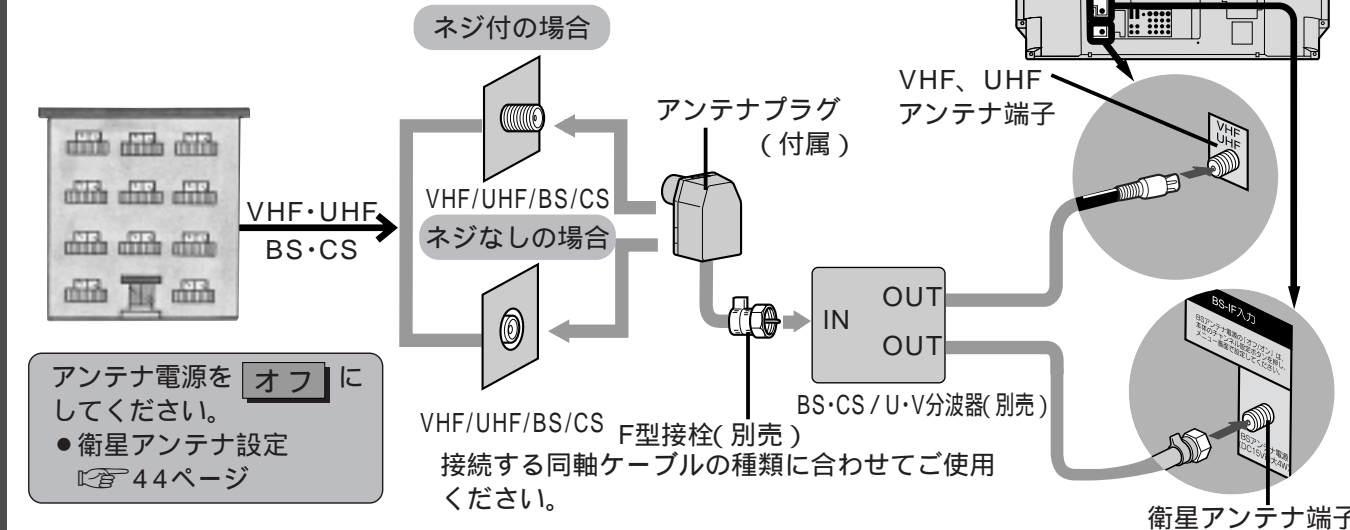
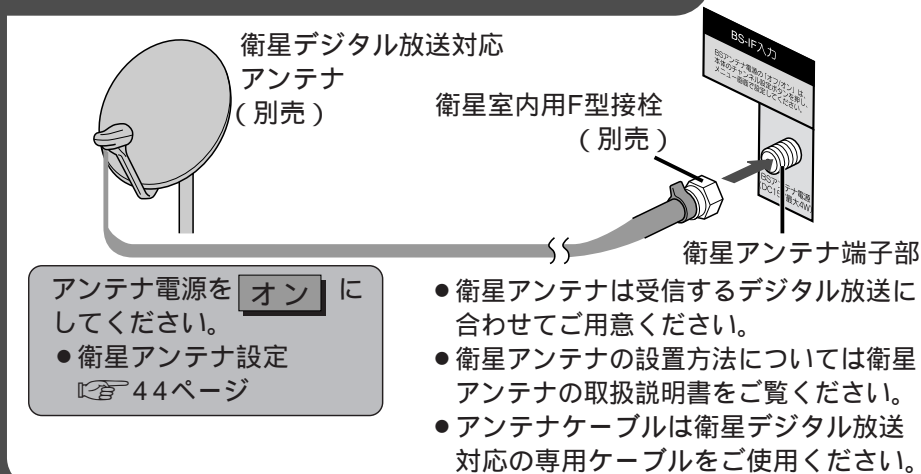
■アンテナ線がVHF/UHF混合の場合
（VHF、UHF別々の場合はアンテナ混合器が必要です。）

■マンションなどの共聴システムの場合
（VHF/UHF/BS/CS混合のとき）

アンテナ電源を **オフ** にしてください。
- 衛星アンテナ設定
☞44ページ

※接続する同軸ケーブルの種類に合わせてご使用ください。

衛星アンテナを個別に立てたとき

アンテナ電源を **オン** にしてください。
- 衛星アンテナ設定
☞44ページ

- 衛星アンテナは受信するデジタル放送に合わせてご用意ください。
- 衛星アンテナの設置方法については衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナケーブルは衛星デジタル放送対応の専用ケーブルをご使用ください。

CATVを受信する場合

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。

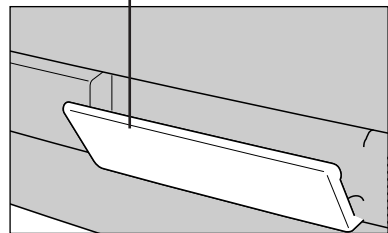
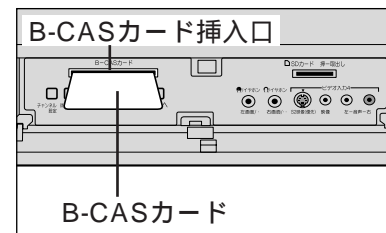
詳しくは、CATV会社にご相談ください。

B-CASカードの挿入

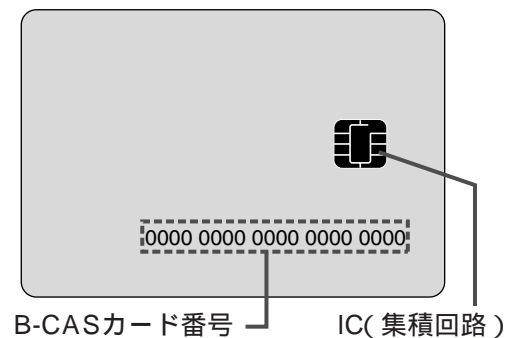
本機に付属のB-CASカードは、本機の電源ボタンで電源を切った状態で、下記の手順に従って挿入してください。

❶ 本機前面の扉を開ける

「△」部を押す。

❷ B-CASカードを挿入する

絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印を挿入口方向へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込む。

❸ 本機前面の扉を閉める

B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえB編裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- B-CASカードは左記手順をご覧のうえ、本機前面のB-CASカード挿入口に、正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。BSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

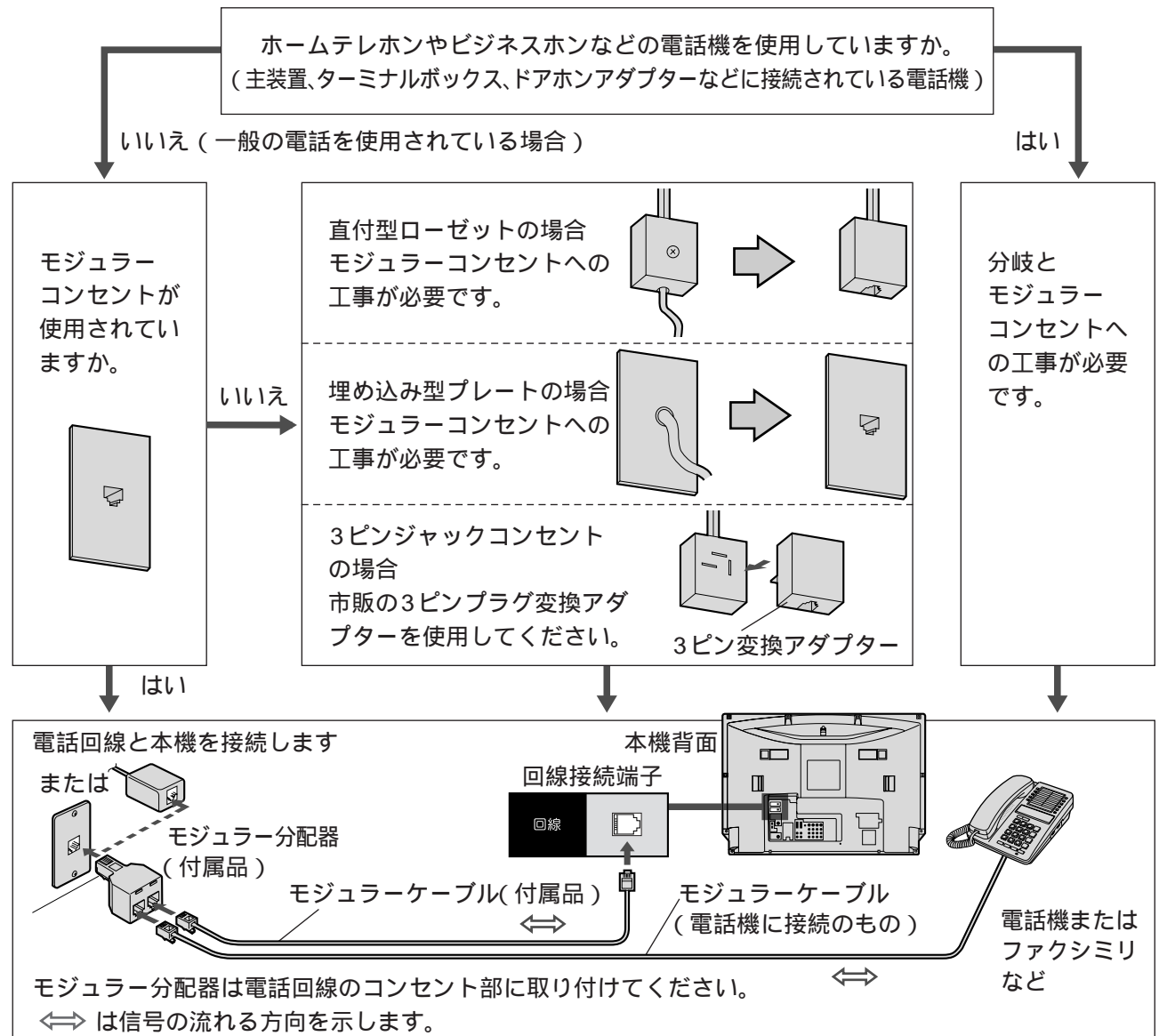
B-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本体の電源ボタンを「切」にしたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お願い

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

電話回線の接続

下記の手順に従って電話回線の接続形態を確認してから、本機との接続を行ってください。

■以下の電話回線には接続できません

- ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがある場合は接続できます。）
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。

お願い

- 電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。ご加入のNTT営業所または局番なしの116に工事のお問い合わせをしてください。
- モジュラー分配器は本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 付属のモジュラーケーブルは10 mあります。設置場所によってはモジュラーケーブルを壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮し配線処理をしてください。

お知らせ

- 付属のモジュラーケーブル(10 m)で長さが足りない場合は、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

Irシステムケーブルを接続する

Irシステムケーブルの接続

本機背面

D4映像　D4映像　Irシステム

左　音声　右

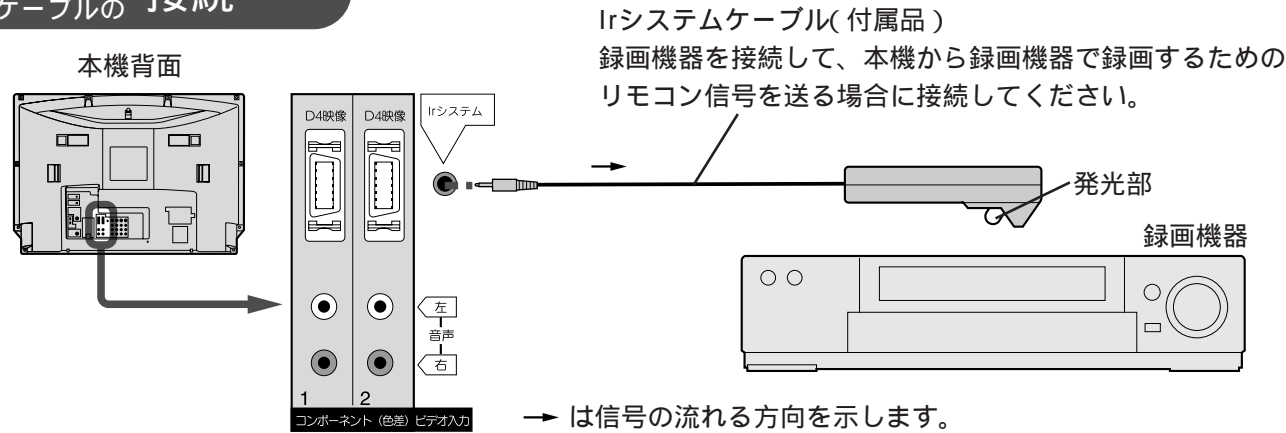
1　2

コンポーネント（色差）ビデオ入力

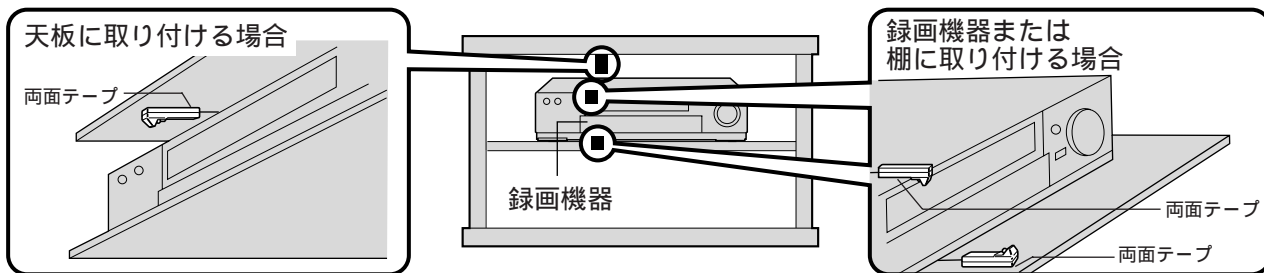
Irシステムケーブル（付属品）
録画機器を接続して、本機から録画機器で録画するためのリモコン信号を送る場合に接続してください。

発光部

録画機器

→ は信号の流れる方向を示します。

Irシステムケーブルの取り付け

本機背面のIrシステム端子に付属のIrシステムケーブルを接続し、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置すると、本機に接続された録画機器で、衛星デジタル放送の番組を簡単に録画できます。Irシステムを使用できるビデオデッキのメーカーは松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECです。また、当社製およびパイオニア製DVDレコーダーも使用できます。
（ただし、一部の商品によっては使用できない場合があります。）

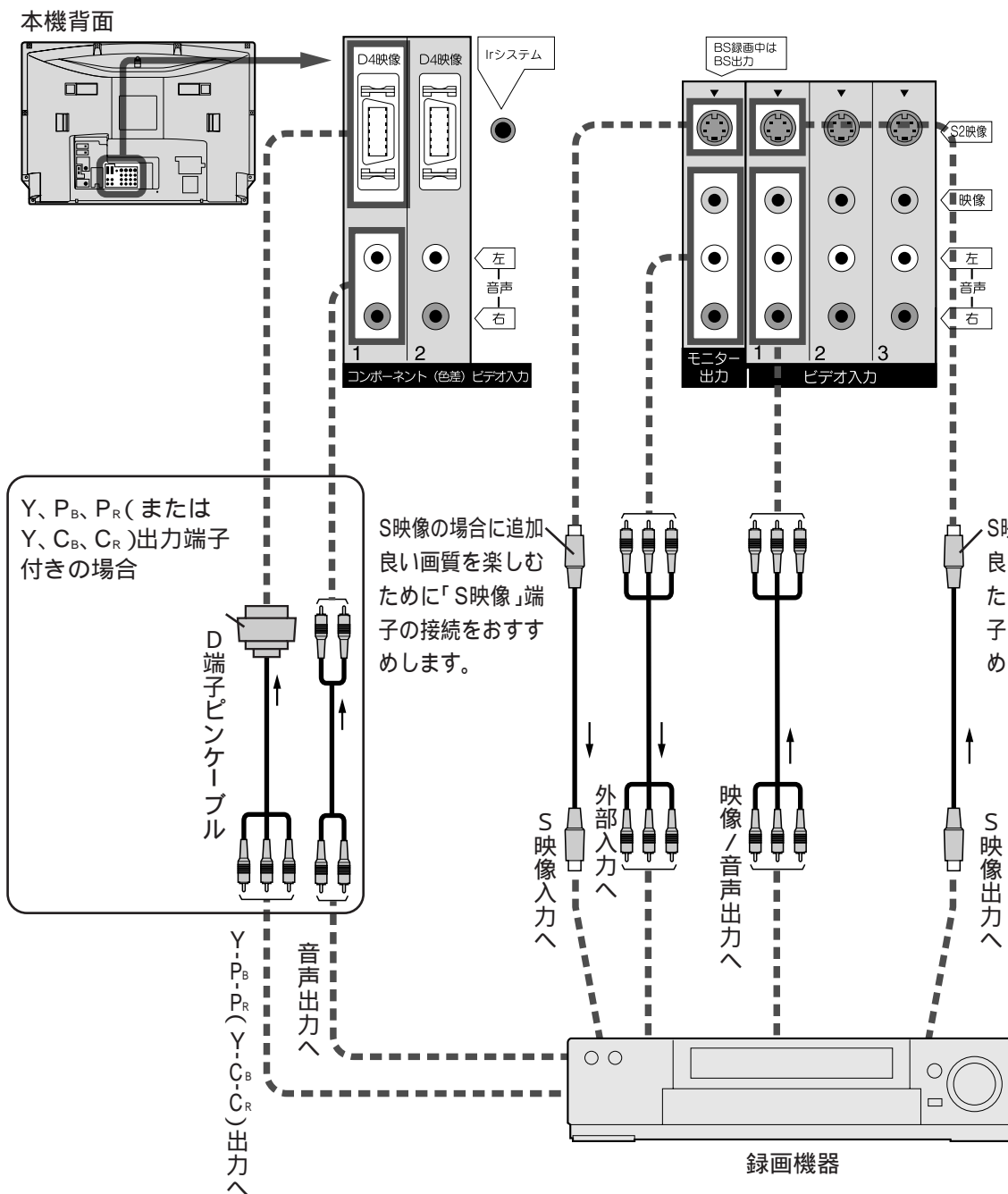
取り付け例…録画機器のリモコン受光部の位置を確認して取り付けてください。
（付属の両面テープを使用）

Irシステムを使用して、録画機器で録画をする場合は、58〜61ページの手順で事前に設定とテストが必要です。テスト時に録画機器が動作する位置を確認のうえ、Irシステムケーブルを取り付けてください。

お願い

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。

Irシステムとは

- Ir（Infrared（インフラレッド）：赤外線）で制御するシステムです。

録画機器を接続する

お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。（接続コード別売）
- →は、信号の流れを示しています。
- 録画機器の説明書も参照ください。

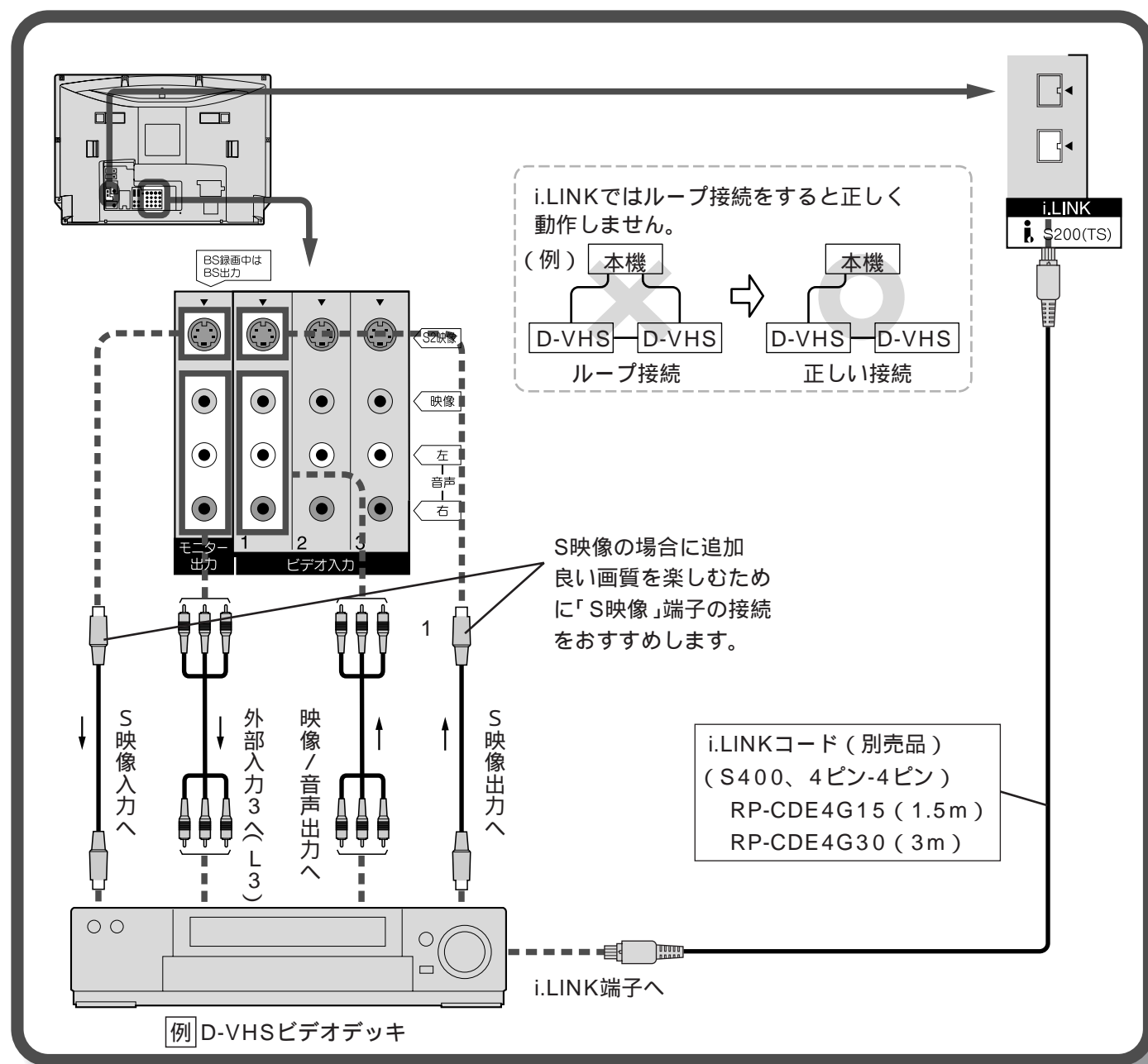
「連動予約」や「タイマー予約」（☞A編：26ページ）をするときは…

- Irシステムケーブルの接続（☞54ページ）と、「Irシステム設定」（☞58〜61ページ）を行ってください。
- 衛星デジタル放送を録画予約すると、リモコンで電源「切」のとき、機能待機ランプ〈橙〉が点灯します。
  （予約録画の開始時刻まで長時間かかるときは、最初<赤>ランプで予約時刻が近づいてから<橙>ランプになる場合もあります。）

※D端子ピンケーブルは別売品（RP-CVCDG15［1.5m］）をお求めください。

i.LINK対応の

D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーが接続できます。
i.LINK接続すると各接続機器へ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
i.LINKについては、A編：50ページをご覧ください。

※1：アナログ接続設定で接続した機器の入力を「ビデオ1」に設定してください。（☞64ページ）

お願い

- i.LINKコードは別売のS200対応以上の4ピンi.LINKコードをご使用ください。
- i.LINKコードはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- D-VHSビデオデッキの説明書も参照ください。

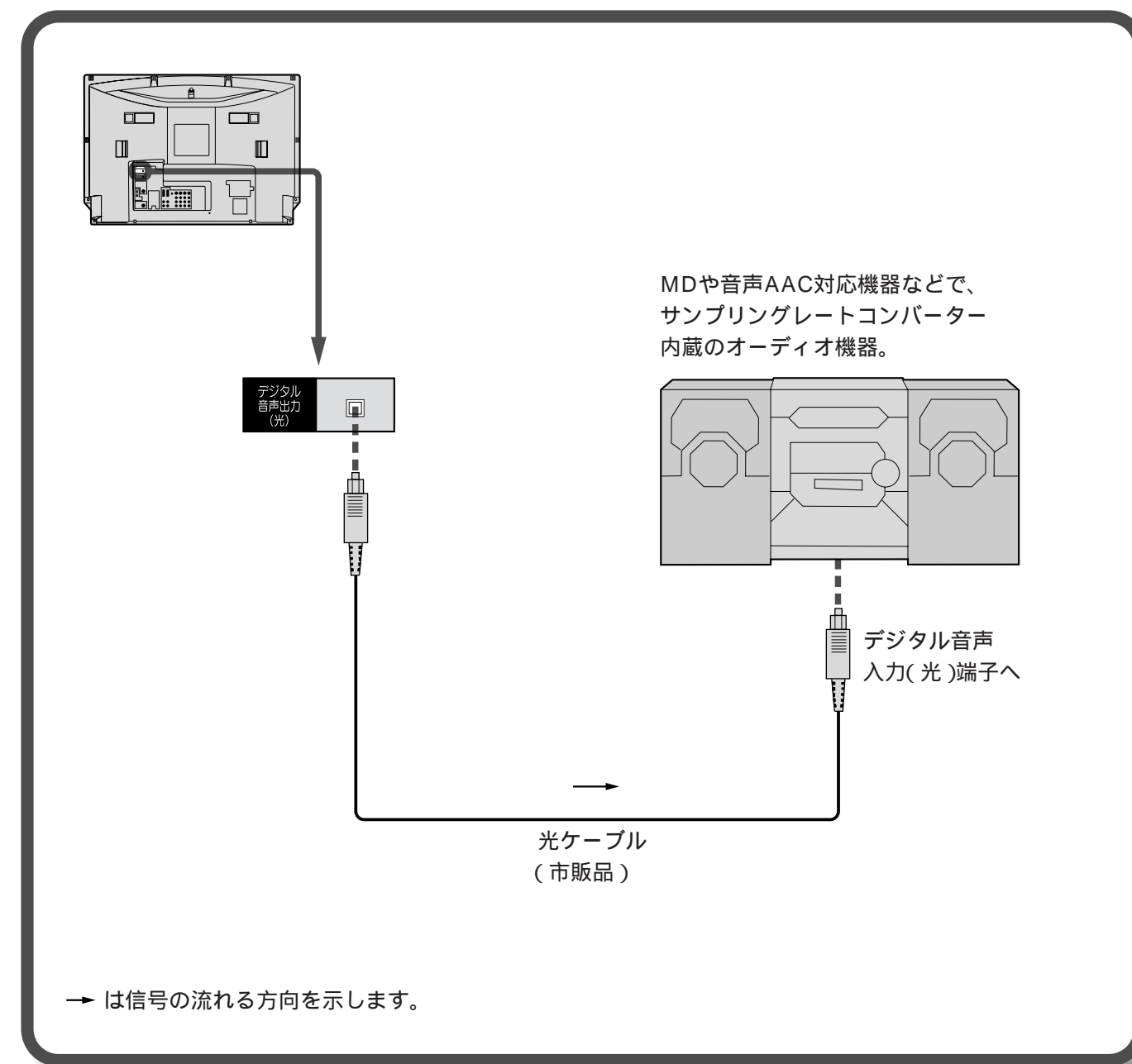
お知らせ

- i.LINK対応機器は、2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。

D-VHSビデオデッキとは

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。(衛星データ放送の情報もそのまま録画、再生できます。)また、従来のVHS方式での録画、再生も行えます。

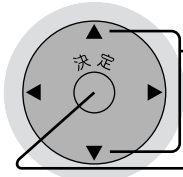
デジタル音声入力端子付きオーディオ機器

本機の光デジタル音声出力端子は、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。
また、本機はAACフォーマットに対応のため、AACフォーマット対応のオーディオ機器にも接続できます。
AACフォーマットをご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。（☞62ページ）

お願い

- 光デジタル音声出力端子を使用するときは端子に差し込まれているカバーを引っぱって取り外してください。
  本機の光デジタル音声出力端子は、衛星からの信号をそのまま出力していますので、送信されてくるサンプリング周波数に対応していないオーディオ機器は使用できません。(送信されるサンプリング周波数には、32kHz、44.1kHz、48kHzなどがあり、サンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器が必要です。)
- 接続はオーディオ機器の説明書も参照ください。
- SDメモリーカードの音楽再生の場合は、デジタル音声出力されません。

AAC（Advanced Audio Coding）とは

AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1／12にまで圧縮できます。また、5チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

Irシステムの設定

付属のIrシステムケーブルユニットを使用すると、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。
（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。）

「Irシステム設定」画面にする

❶ 押して切換える

❷ 押して、「Irシステム設定」を選び、中央の決定ボタンを押す

「Irシステム設定」画面

■設定が終わったら

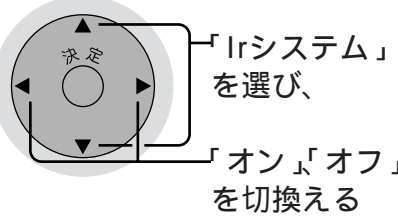
元の画面 ボタンを押す

<連動予約が設定可能な録画機器メーカー>
松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよび当社製、パイオニア製のDVDレコーダー
● タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付ビデオデッキおよび当社製DVDレコーダーのみに設定できます。
（連動予約、タイマー予約についてはA編：31ページをご覧ください。）

54ページに記載のIrシステムケーブルを正しく接続、設置し、下記のIrシステムの設定とテストを行ってください。

「Irシステム」の設定

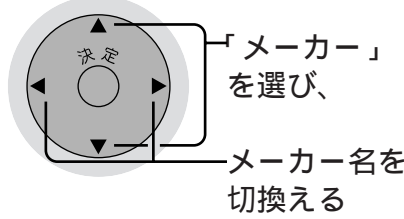
Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。工場出荷時は「オフ」に設定されています。

「Irシステム」を選び、
「オン」、「オフ」を切換える

オン …Irシステムを使用します。

オフ …Irシステムを使用しません。

「メーカー」の設定

本機に接続している録画機器メーカーを設定します。

「メーカー」を選び、
メーカー名を切換える

本機で設定できる録画機器メーカーは、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC、パイオニアです。（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。）
工場出荷時は「松下」に設定されています。

「リモコン種別」の設定

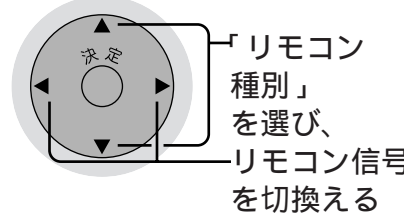
「メーカー」の設定をしても録画機器が動作しないとき、録画機器が動作するリモコン信号を切換えます。

「リモコン種別」を選び、
リモコン信号を切換える

お願い

● メーカーの設定が「松下」のとき、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する当社製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うかビデオデッキ側でタイマー予約の設定を行ってください。

お知らせ

● 既にIrシステムを使用し予約している場合は、Irシステムの設定変更はできません。

お知らせ

「Irシステム」の設定は…
● Irシステムを「オン」にした場合は、「メーカー」の設定、「リモコン種別」の設定、「外部入力」の設定を行い、テスト（☞61ページ）を行ってください。

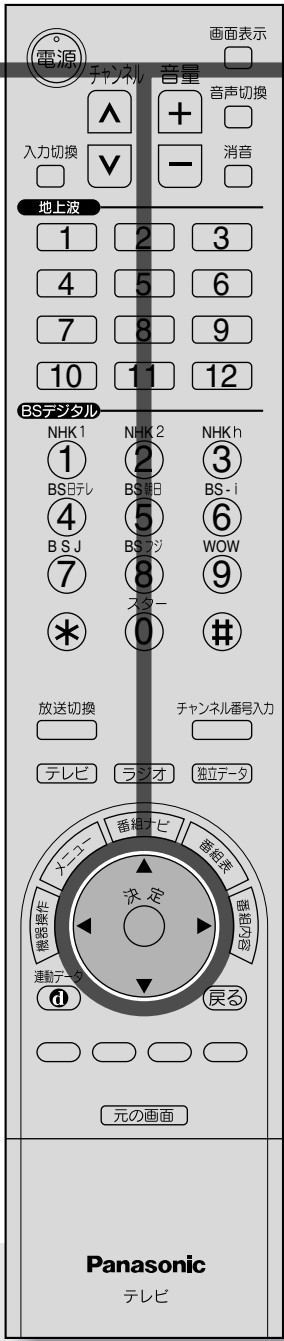
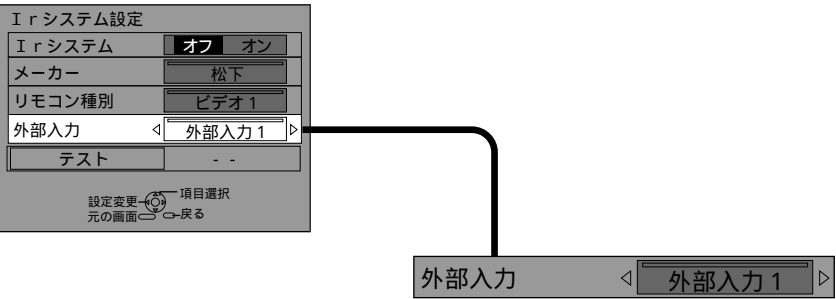
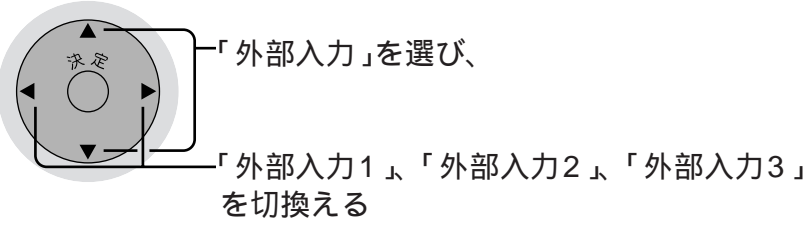
「リモコン種別」の設定は…
● 録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合があります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切換えて再度テストを行ってください。
工場出荷時は「ビデオ1」に設定されています。
● 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

Irシステムの設定

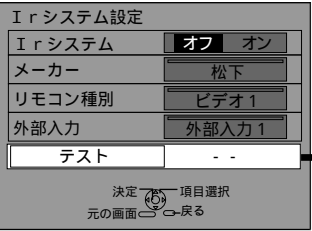
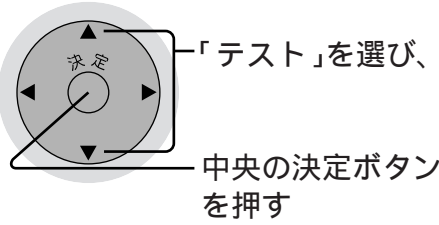
まず、 58ページの操作で「Irシステム設定」画面にし、次の操作で設定します。

「外部入力」の設定

当社製録画機器を接続し、タイマー予約をする場合に設定します。

- 58、59ページの設定で「メーカー」の設定を「松下」、かつ「リモコン種別」の設定が「ビデオ1」又は「ビデオ2」、「ビデオ3」「DVDレコーダー1～3」のときのみ設定できます。（工場出荷時は「外部入力1」に設定されています。）

テスト

58～60ページの設定後、次の操作で録画機器の動作を確認してください。

- 録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。
- テストを実行すると録画機器に電源「入」／「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」／「切」するかどうか確認してください。

- 「送信中」が表示され、電源「入」／「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。
- 送信を終了したい場合は、再度 決定 ボタンを押してください。

お願い

- 「外部入力」の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしても衛星デジタル放送の番組は録画できません。

お知らせ

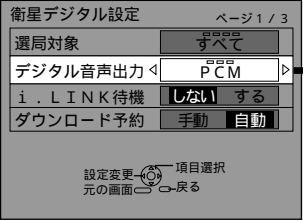
録画機器の電源が「入」／「切」しない場合は

① 録画機器が録画機器のリモコンで「入」／「切」できるか確認してください。
② Irシステムケーブルの接続と設置を確認してください。（☞54ページ）
③ リモコン信号が複数あるメーカーの場合、「リモコン種別」の設定を変えてみてください。

- 「テスト」のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。
- テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

デジタル音声出力の設定

本機の光デジタル音声出力端子は、AACフォーマットの音声データを出力することができます。AACフォーマット対応のオーディオ機器に接続すれば、AACフォーマット対応の番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。

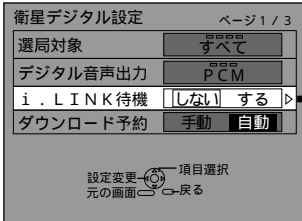
まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

PCM …AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。

AAC …AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。

自動 …AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切換えます。

i.LINK待機の設定

本機では電源オフのとき、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。
i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力の少なくなる「しない」に設定してください。

まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

しない …電源オフ時の消費電力を少なくします。電源オフにすると、電源表示ランプが赤色に点灯し映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやi.LINK信号の中継はできません。

する …電源オフにすると電源表示ランプが橙色に点灯し（「機能待機」状態になります）映像・音声などの信号出力を停止しますがi.LINK接続された機器からの制御は受け付けることができます。（i.LINK接続された機器から再生信号を受け付けると、本機の電源が自動的にオンになります。）

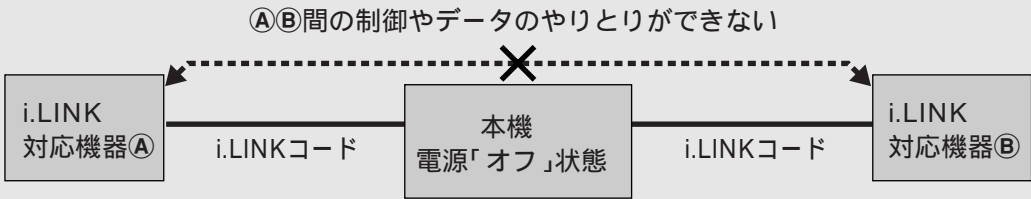
お知らせ

- 工場出荷時は「PCM」に設定されています。
- 地上波放送や、ビデオ入力1～4、コンポーネント（色差）ビデオ入力1、2に接続した外部機器を視聴中、光デジタル音声端子は本設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
- AAC対応アンプを接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをお勧めします。

お願い

- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定してください。または、モニター出力の音声端子をご使用ください。

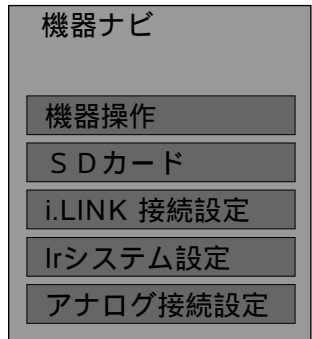
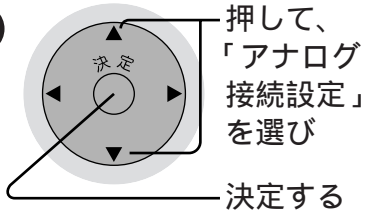
お願い

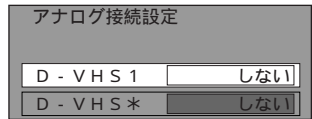
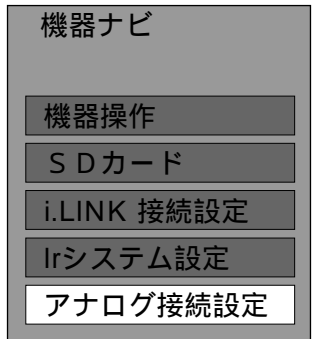
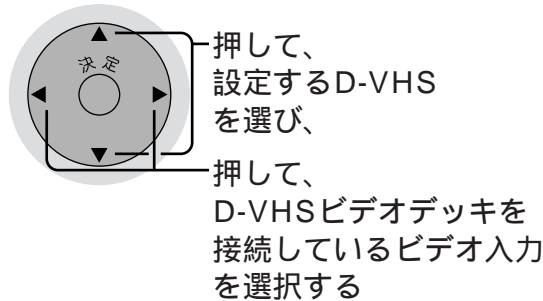
- 複数のi.LINK対応機器をi.LINKコードで接続した場合、「i.LINK待機」の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源オン（受像）時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。

アナログ接続設定

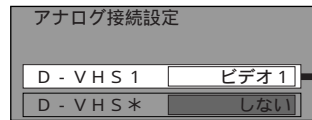
本機に接続したD-VHSビデオデッキの再生映像が、デジタルからアナログ（又はその逆）に切り換わったとき、本機の入力を切り換えずに、連続して視聴するための設定です。

D-VHSビデオデッキのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力（ビデオ入力1～4）をご確認のうえ、接続と同じ設定にしてください。

❶ 機器ナビ 押す

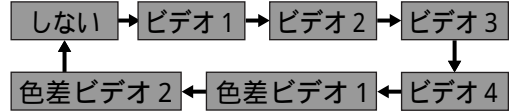
「機器ナビ画面」
機器ナビ
- 機器操作
- ＳＤカード
- i.LINK 接続設定
- Irシステム設定
- アナログ接続設定

❷ 押して、「アナログ接続設定」を選び 決定する

「アナログ接続設定」画面
アナログ接続設定
D－VHS１ しない
D－VHS＊ しない

● ＊印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。
（☞A編：54ページ）

❸ 押して、設定するD-VHSを選び、押して、D-VHSビデオデッキを接続しているビデオ入力を選択する

アナログ接続設定
D－VHS１ ビデオ１
D－VHS＊ しない

例 D-VHS1のアナログ接続をビデオ1に設定する場合

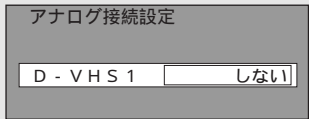
D－VHS１ ビデオ１

◀▶で切り換える

しない → ビデオ１ → ビデオ２ → ビデオ３ → ビデオ４ → 色差ビデオ１ → 色差ビデオ２ → しない

❹ 設定を終了する

■ 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。
■ 元の画面 を押すと設定画面が消えます。

お知らせ

● 接続機器が1台のみの場合は、「アナログ接続設定」画面の項目は1つだけになります。

お知らせ

● アナログ接続設定したビデオ入力は、入力切換ボタン操作時、スキップします。

例 D-VHS1を「ビデオ1」に設定した場合